

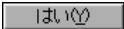
High Quality Fax Software

STARFAX[®] 2002

USERS MANUAL



■おことわり

- ・本書の内容の全部または一部を弊社に無断で転載、あるいは複製することは、法令に別段の定めのある他は、固く禁じられております。
- ・本書の内容は、改良のため、将来予告無く変更することがあります。
- ・本製品を使用した事によるお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品をご利用になるには、別掲の「ソフトウェア使用許諾条項」にご同意いただくことが必要です。インストール中に表示される許諾条項同意のダイアログで、をクリックし、インストールを継続した時点で、同条項へのご同意があったものとさせていただきます。

版權所有 平成13年メガソフト株式会社
(C)2001 by MEGASOFT Inc. All rights reserved.

■著作権について

製品に添付されているFAX情報サービスの電話帳データは、株式会社TOMOEの提供によるものです。

■商標について

STARFAX、筆美人、MEGASOFTは、メガソフト株式会社の登録商標です。

以下の商標名などは、各社の商標または登録商標です。

- ・ NEC、PC-9800、98NOTE：日本電気株式会社
- ・ Microsoft®、Windows®、Windows®NT®：米国MicrosoftCorporation
- ・ Outlook®、OutlookExpress：米国MicrosoftCorporation
- ・ Office：米国MicrosoftCorporation
- ・ Word、Excel：米国MicrosoftCorporation
- ・ 筆まめ：株式会社クレオ

その他、記載されている会社名、製品名などは各社の商標または登録商標です。

このたびは、STARFAX2002（以下「STARFAX」と表記）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、お手元のパーソナルコンピュータ（以下「パソコン」と呼ぶ）をファクシミリとしてお使いいただくためのアプリケーションです。

日本語 Microsoft®Windows®95/Windows®98/Windows®Me/Windows®NT®4.0/Windows®2000/Windows®XP®上で動作するアプリケーションで作成した文書、図、表などのファイルを電話回線やインターネットを通して、直接相手先のファクシミリ機やパソコンに送ることができます。

STARFAXには、以下の特長があります。

●パソコンで作成した文書をその場でFAX送信

パソコンで作成した文書をプリンタに印刷する感覚で、相手先のファクシミリ機に送ることができます。

FAXデータを相手先のファクシミリ機に送ると、紙の汚れやカスレ、ゆがみの無い鮮明な文書を届けることができ、プリンタで印刷してFAX作業を行う手間と時間が省けます。

●パソコンで受信文書の確認

FAXの受信にSTARFAXを利用すると、直接パソコンでFAXデータの確認ができ、用紙コストの削減が可能になります。

受信したFAXデータは、必要に応じて検索して再確認ができます。

また、受信したFAXデータにコメントをつけて返信することもできます。もちろん、プリンタで印刷することも可能です。

●インターネットを利用したFAX送受信

インターネットFAX機能を利用すると、FAXデータをインターネットメールとして送信ができます。

遠隔地や海外などと頻繁にFAX文書のやり取りを行う場合、双方でSTARFAXを使うと通信コストの削減が可能になります。

●ネットワーク上でも手軽に送信

イーサネット接続されたパソコンからダイレクトにFAX文書の送信が行えます。

FAXモデムをネットワーク上の複数のパソコンで共有するので、それぞれのパソコンにモデムや電話回線を接続する経費の節減が可能になります。

このユーザズマニュアルでは、STARFAXをパソコンにインストールする手順と操作手順について説明しています。

お使いになる前に「STEP 1 STARFAXの準備をしましょう」で機器構成や動作環境を確認してください。

また、STEP 1に記載の手順に従ってSTARFAXをインストールしてください。

■このユーザーズマニュアルについて

このユーザーズマニュアルでは、STARFAXをお使いいただくための基本的な操作手順について説明しています。

実際に操作を行いながら、STARFAXの基礎知識を身につけていただくことができます。

また、日常でSTARFAXを活用する具体的なヒントについて説明しています。

このユーザーズマニュアルは以下の構成になっています。

STEP 1. STARFAXを準備しましょう

STEP 2. STARFAXを使ってみましょう

STEP 3. STARFAXにはこんな機能もあります

STARFAXには、「モデムからの送信」、「インターネットFAX」、「FAXモデム共有機能」の3つのFAX送信方法がありますが、手順としてはほぼ同じです。

設定を正確にしておけば、送信の段階で、FAX番号を入力したSTARFAXステーション上のボタンを一つクリックするだけで変更することができます。

■ヘルプもご覧ください。

このユーザーズマニュアルには、基本的な送受信とそれに付随する情報を載せています。

あわせて、ヘルプファイルもご覧ください。

■仕様

FAX通信規格	G3 規格準拠
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 (通信相手の状態により自動的に減速)
モデム制御規格	Class1 (EIA-578) Class2 (Rockwell Class2 準拠: Windows98/95 のみ) Class2.0
通信機能	G3FAX の送受信 / インターネット FAX の送受信 MMR/MR/MH 圧縮に対応
送受信原稿サイズ	A3/B4/A4/B5 横 / A5 横 / ステートメント / レター / リーガル / タブロイド (ただし、相手機がそのサイズを受信できない場合は自動で縮小して送信、カラー原稿は A4 のみ)

■動作環境

対応OS	Windows95 (OSR2以上) / 98/Me	WindowsNT4.0 (Service Pack 4以上) / 2000/XP※
対応パソコン	上記OSが動作可能なDOS/Vパソコン、 NEC PC-NXシリーズ・PC9800シリーズ	
CPU	Pentium166MHz 以上。または、OSが必要とする以上のCPU (カラー FAX 利用には Pentium II 200MHz 以上)	
必要メモリ	32MB以上	64MB以上
カラーFAX利用時	64MB以上	96MB以上
ハードディスク	フルインストール時 約 60MB の空き容量が必要	
通信機器	Class1、Class2、Class2.0のいずれかに対応したFAX モデムまたは、携帯・PHS用 FAXアダプタが必要	
ディスプレイ	解像度: 640×480dpi以上 発色数: 3万2千色以上	
サウンドデバイス	音声ガイダンスを利用するには、サウンドカードおよびスピーカが必要	

※WindowsXPにはアプリケーションを起動したまま、ログオンユーザーを切り替える機能がありますが、この機能には対応していません。



VM Wareなどのエミュレーション環境上で対応OSを動作させた場合などは、動作環境に含みません。

CONTENTS

STEP 1 STARFAXの準備をしましょう

パソコンにインストールしましょう

- ・ハードウェアの確認 2
- ・STARFAX旧製品からのアップグレードインストール 6
- ・STARFAXのインストール 7

環境設定を行いましょ

- ・パソコン環境の設定をしましょ 12
- ・ローカルモデムの設定 16
- ・共通設定 18

STEP 2 STARFAXを使ってみましょ

こんなプログラムを使いましょ

- ・STARFAXでは、こんなプログラムを使いましょ 22

STARFAXで送信しましょ

- ・送信原稿の準備 26
- ・原稿を送信する 34
- ・送付状の使いましょ 40
- ・送信元情報の複数ユーザー登録 50

STARFAXで受信しましょ

- ・自動受信 54
- ・手動受信 56
- ・FAX情報サービスの利用 60

FAX原稿を表示しましょ

- ・受信原稿の表示 64
- ・受信原稿の印刷 66
- ・エージェントフォルダについて 68

電話帳を活用しましょ

- ・電話帳の詳細 74

STEP 3 STARFAXにはこんな機能もあります

機能拡張プログラム

- ・ STARFAXメニュー for Word 84
- ・ STARFAXメニュー for Excel 90
- ・ ページFAX 96
- ・ STARFAX自動転送 106

ユーティリティプログラム

- ・ 送付状エディタ 116
- ・ 電話帳コンバータ 124

インターネットFAX

- ・ 準備 130
- ・ STARFAX環境設定 136
- ・ 操作 142

FAXモデム共有

- ・ 準備 148
- ・ サーバーの設定 149
- ・ クライアントの設定 153

STARFAXのアンインストール.....156

トラブルシューティング

- ・ プリンタドライバ [MEGASOFTSTARFAX] 再登録方法.....160
- ・ サポートセンターに問い合わせの多い質問 190
- ・ メッセージリスト 216

STEP 1

STARFAXの準備をしましょう

パソコンにインストールしましょう

ハードウェアの確認

2
ページ

STARFAX旧製品からのアップグレードインストール

6
ページ

STARFAXのインストール

7
ページ

環境設定を行いましょう

12
ページ

インストールを開始しましょう

STARFAXシリーズをお使いになるのは初めてですか？

初めて

使用している

電話回線の変更（ADSLやフレッツISDNの導入）やハードウェア環境の変更がありますか？

ある

ない

ハードウェアの確認

2
ページ

をご覧ください

STARFAXのインストール

6
ページ

をご覧ください

ハードウェアの確認

動作環境の確認

STARFAXをご使用いただくための動作環境を確認しましょう。

Check 1 インストールするコンピュータは？

Windows®Me/98/95あるいは、Windows®XP/2000/NT®4.0が正
常に動作しているDOS/V互換機または、NEC PC-98シリーズ

Check 2 FAXモデム

ご使用のWindowsに対応し、(財)電気通信端末機器審査協
会(JATE)が認定した、Class 1、Class 2、Class2.0のFAX
モデム。コンピュータに内蔵されているタイプとシリアルで
接続する外付けタイプがあります。

Check 3 電話回線の種類は？

■NTTの一般加入回線(ADSL回線).....接続方法は、3ページ

一般回線に加入されている方です。ADSLでインターネット
接続をされている方も含みます。

■ISDN回線.....接続方法は、4ページ

INS64または、INS64Liteで契約されている方です。フレッツ
ISDNでインターネット接続をされている方も含みます。

■交換機を経由するFAXやモデム用の回線

交換機経由の回線のうち「SLT」や「SLIC」と呼ばれる回線
は、FAXモデムを接続するための回線ですので、そこにFAX
モデムを接続すれば、STARFAXをお使いになれます。

■携帯電話.....接続方法は、4ページ

携帯電話を使っでのFAX送受信には、特別な設定は必要あ
りません。通常のモデムと同じ手順で送受信できます。

■PHS.....接続方法は、4ページ

PHSの場合、FAX受信サービスが提供されていないので、
FAX送信のみでのご利用となります。NTT DoCoMo社製
PHSをご使用の場合、PTE経由での送信が必要となります。
また、ダイヤルの方法として「パルス」を設定する必要があ
ります。

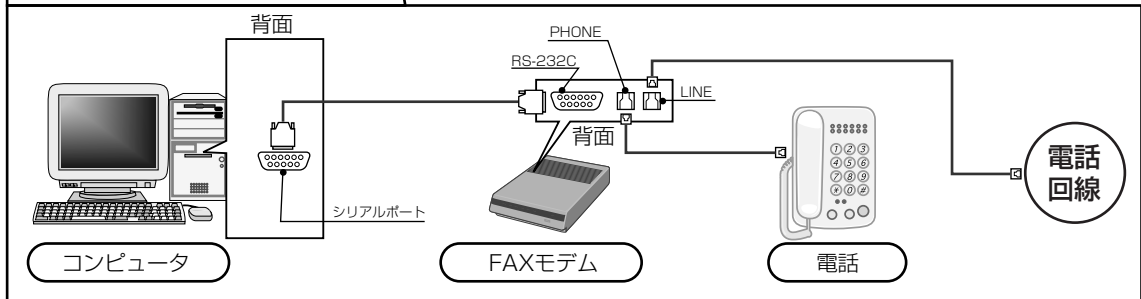


携帯電話・PHSをご利用の場合
は、カラーでのFAX通信はできま
せん。

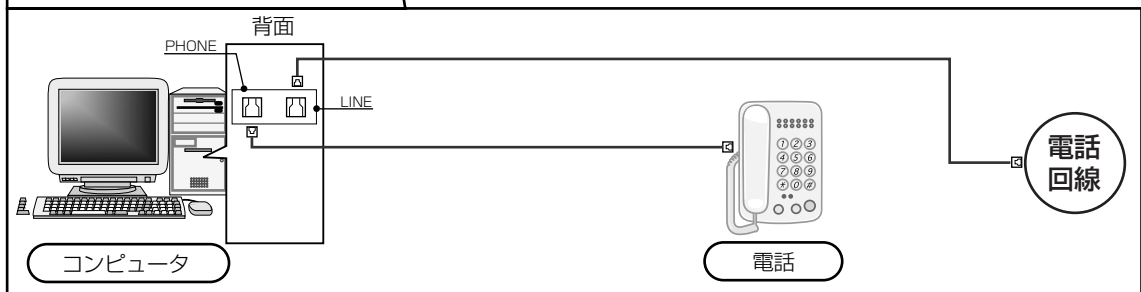
接続方法 一般回線の場合

■一般公衆回線をお使いの場合

外付けFAXモデムの場合

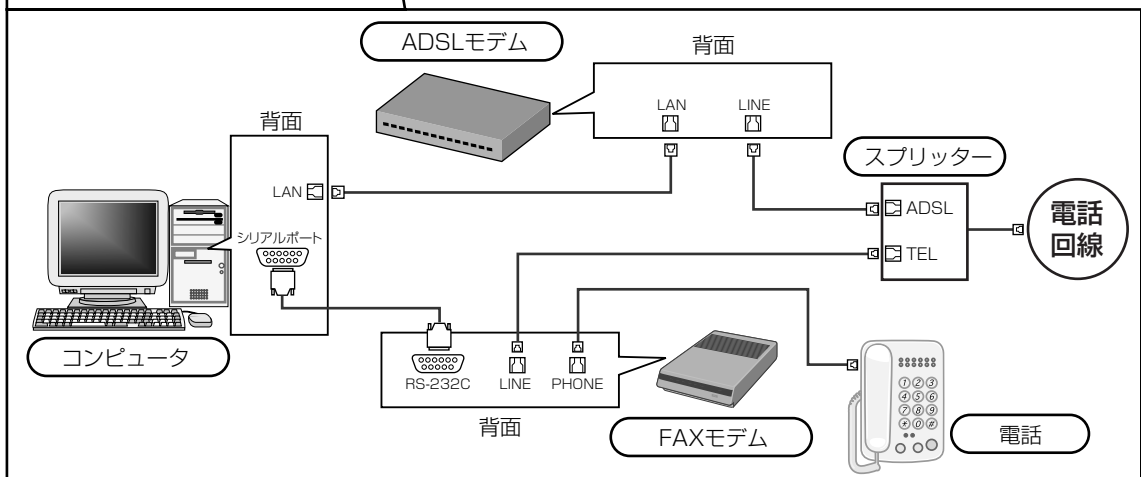


内蔵FAXモデムの場合



■ADSLの環境でお使いの場合

ADSLの場合

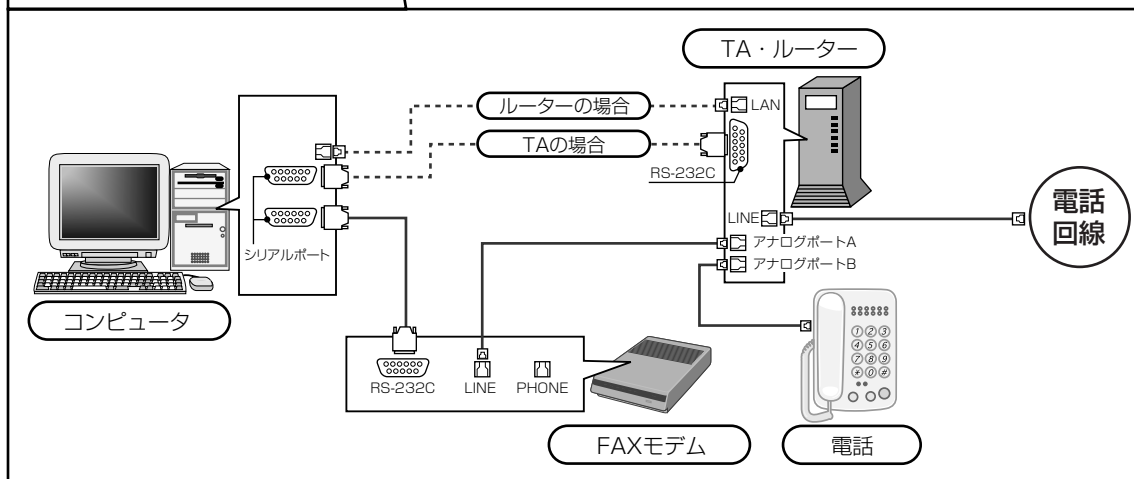


パソコンにインストールしましょう

接続方法 ISDN回線の場合

■ISDN（フレッツISDN）の環境でお使いの場合

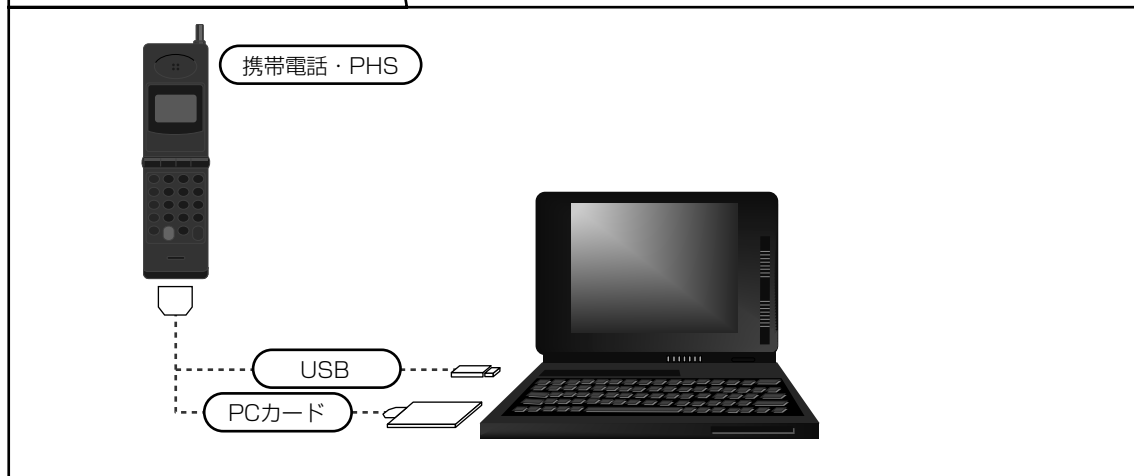
ISDNの場合



接続方法 携帯電話・PHSの場合

■モバイル環境でお使いの場合

携帯電話・PHSの場合



使用できない回線について

下記の回線でご使用の場合は、ご使用いただくことができません。

■ビジネスフォン用の回線

ビジネスフォン用の回線は、不在の設定・着信拒否・代理応答などの様々な機能を実現するために、一般加入回線と規格が異なり、FAXモデムを接続しても使用できないだけでなく、FAXモデムや交換機が故障する場合があります。

■常時接続・専用線の回線

インターネットを常時接続するための専用回線やCATVにFAXモデムを接続して使用することはできません。



回線に関するその他の注意事項

■キャッチフォンについて

FAXの送受信中は、キャッチフォン機能は使用しないでください。通信エラーの原因となります。

■ナンバーディスプレイについて

一部のナンバーディスプレイに対応していないFAXモデムをお使いの場合、正常にFAX受信ができないことがあります。

STARFAX旧製品からのアップグレードインストール

STARFAX旧製品をインストール済みのパソコンへSTARFAX2002をインストールする場合は、基本的に上書きインストールを行ってください。

STARFAX旧製品の電話帳や通信ログなどのデータはSTARFAX2002へ引き継がれます。

導入先の指定

STARFAX2002をインストールする際、インストールフォルダを指定する画面で、自動的にSTARFAX旧製品の導入先が表示されます。

同じインストールフォルダへインストールを実行する際、上書きしてよいかどうかの確認メッセージが表示されます。

☐ はい(Y) を選択した場合

旧製品にSTARFAX2002が上書きインストールされます。

☐ いいえ(N) を選択した場合

インストールフォルダを指定する画面にもどり、任意の導入先を指定する事ができます。



別の導入先を指定してSTARFAX2002をインストールした場合、STARFAX旧製品のプログラムは残りますが、STARFAX旧製品を使う事はできなくなります。

STARFAXのインストール

インストール操作方法



旧バージョンのSTARFAXがパソコンにインストールされている場合は、6ページ [STARFAX旧製品からのアップグレードインストール] をご覧ください。



パソコンのCD-ROMドライブにSTARFAX2002のCD-ROMをセットします。



インストールメニューが表示されます。



STARFAX 2002 をクリックします。



次へ(N) > をクリックします。



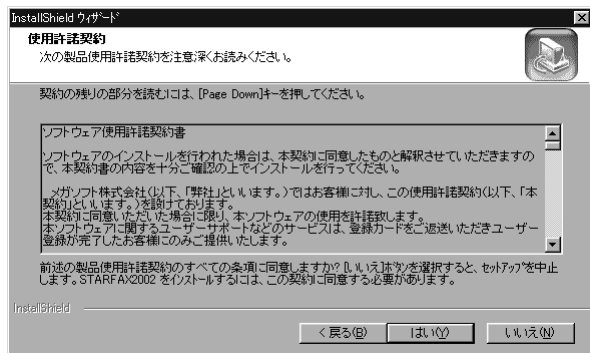
NTFSでフォーマットされている、Windows XP/NT/2000の環境にインストールする場合、Administratorsの権限でログインしてから、インストールを行ってください。



CD-ROMの自動挿入の通知をしない設定になっている場合は、このダイアログは表示されません。この場合は、CD-ROMドライブを開いて出てくるウィンドウの中にあるAutosel.exeを実行してください。

パソコンにインストールしましょう

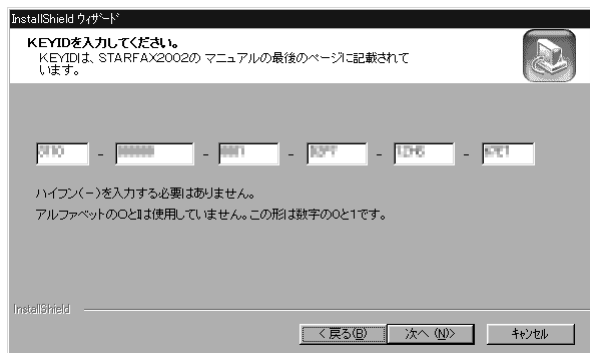
STEP 1



使用許諾契約をよくお読みください。使用承諾契約の内容に同意し、STARFAXのインストールを進める場合は、**はい(Y)** をクリックしてください。使用承諾契約の内容に同意できない場合、またはSTARFAXのインストールを中止する場合は、**いいえ(N)** をクリックしてください。



ここで「はい」をクリックし、インストールを進めた時点で、契約に同意したとみなします。



KEYIDを入力し、**次へ(N)>** をクリックします。



KEY IDには、アルファベットのO（オー）とI（アイ）は使用していません。この形のものは数字の0（ゼロ）と1（いち）です。



STARFAXのセットアップタイプの選択と、インストール先フォルダの確認をして、**次へ(N) >**をクリックします。

STARFAXのインストール先フォルダを変更する場合は、**参照(R)...**をクリックします。



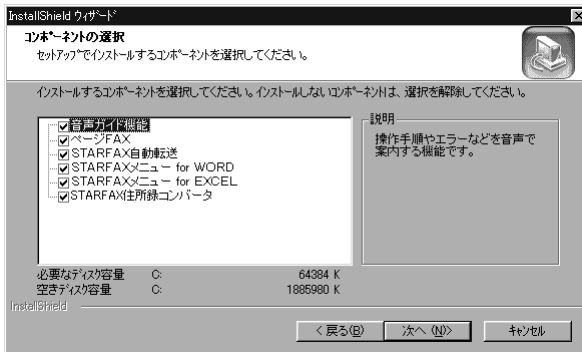
STARFAX旧製品がすでにパソコンにインストールされている場合、上書きインストールするかどうかの、確認メッセージが表示されます。



- セットアップタイプについて
通常は「標準」を選択します。
・ 標準：もっとも一般的なオプションでインストールします。
・ コンパクト：必要最小限のオプションでインストールします。
・ カスタム：任意にオプションを選択してインストールします。
- インストール先フォルダについて
デフォルトでは
Program Files\MEGASOFT\STARFAX2002
フォルダにインストールされます。



セットアップタイプで「カスタム」を選択された場合



オプションとしてインストール可能なコンポーネントが表示されます。

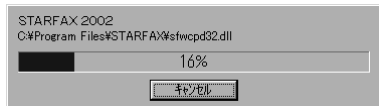


インストールしたいコンポーネント項目にチェックを入れ**次へ(N) >**をクリックします。

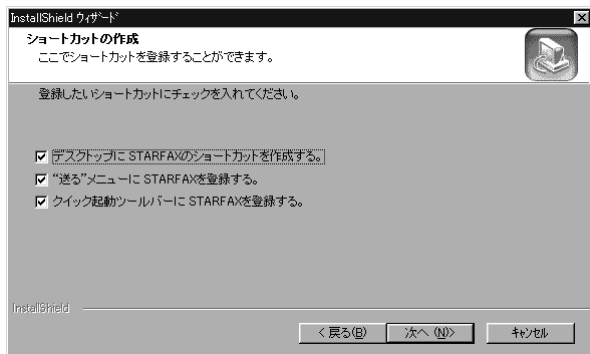


- コンポーネントについて
- ・ 音声ガイド機能：操作手順を音声で案内する機能です
 - ・ ページFAX：送付状のイメージで簡単なFAXを送信するときに使用します
 - ・ STARFAX自動転送：STARFAXで受信した原稿を、プリンタやFAXなど指定した先に転送するプログラムです
 - ・ STARFAXメニュー for Word：WordにSTARFAXから送信するためのメニューを追加します
 - ・ STARFAXメニュー for Excel：ExcelにSTARFAXから送信するためのメニューを追加します
 - ・ STARFAX住所録コンバータ：STARFAX 電話帳へ他の住所録ファイルをコンバートする機能です

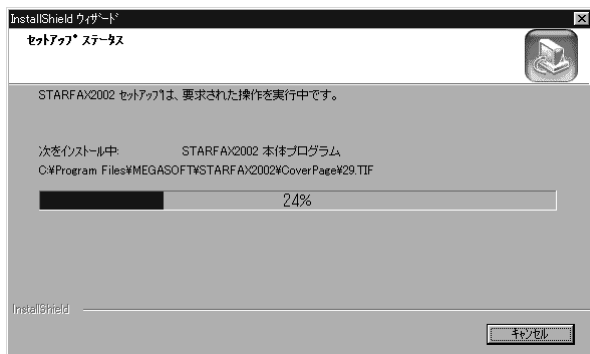
パソコンにインストールしましょう



インストールが開始されます。



登録したいショートカットにチェックを入れ、
「次へ (N)」をクリックします。

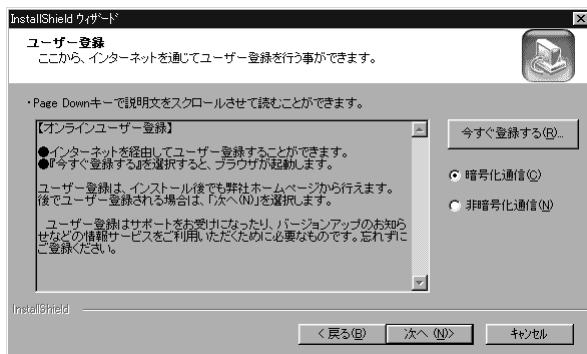


インストールが開始されます。



補足

STARFAX2002ではインストール時に自動的にプリンタドライバが登録されます。再登録する方法については、160ページ【プリンタドライバ【MEGASOFT STARFAX】再登録方法】をご覧ください



インターネットを通じてユーザー登録を行えます。



ここでユーザー登録を行わない場合は **次へ(N) >** をクリックします。



ユーザー登録は後でも行うことができます。



完了 をクリックして、インストールを完了します。



「すぐに環境設定を行う。」にチェックを入れておくと、自動的に環境設定に移ります。
環境設定をしていない場合は、最初にSTARFAXプログラムを起動した際、自動的に環境設定に移ります。

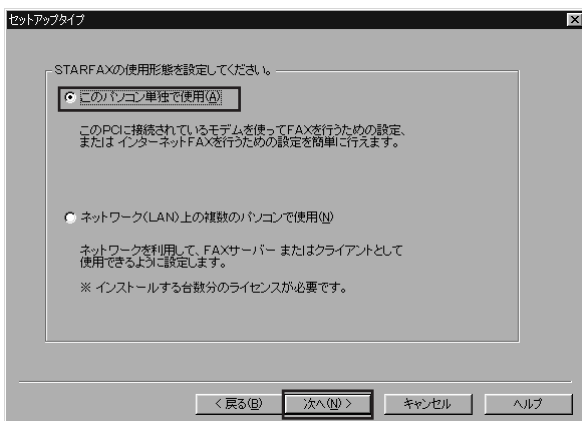
パソコン環境の選択をしましょ

インストールの完了画面で「すぐに環境設定を行う。」にチェックを入れておくと、自動的に環境設定に移ります。

また、環境設定をしていない場合は、最初にSTARFAXプログラムを起動した際、自動的に環境設定に移ります。



STARFAXの使用形態を設定します。



- ・このパソコン単体で使用
ローカルモデム、及びインターネットFAX使用時に選択します。
- ・ネットワーク（LAN）上の複数のパソコンで使用
FAXモデム共有設定使用時に選択します。

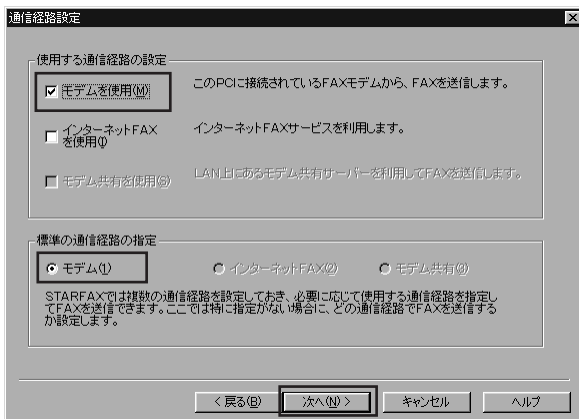
ここではローカルモデム（STARFAXをインストールするパソコンに直接接続されているFAXモデム）を使用する設定を説明します。



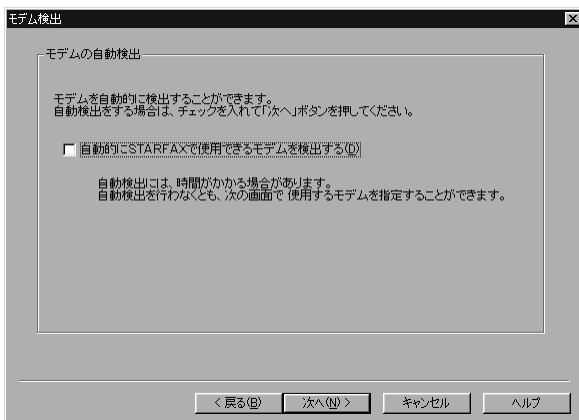
「このパソコン単独で使用」にチェックを入れ、
「次へ(N) >」をクリックします。



インターネットFAX使用時の設定は130ページをご覧ください。
FAXモデム共有使用時の設定は148ページをご覧ください。



「使用する通信経路の設定」の「モデムを使用」にチェックを入れ、「標準の通信経路の指定」の「モデム」を選択し、**「次へ」**をクリックします。



自動検出を行わなくても、後で手動選択することができます。

「自動的にSTARFAXで使用できるモデムを検出する」にチェックを入れておくと、パソコンに接続されているモデムを自動的に検出することができます。



「次へ」をクリックします。

環境設定を行いましょう

STEP 1

[モデム／ポートの選択]
パソコンに接続しているFAXモデムの機種を選択します。

[モデムテスト]
選択されているFAXモデムが利用可能が確認します。

[受信設定]
STARFAXステーションが起動しているときに自動受信を行う場合チェックを入れます。また自動受信までの呼出音の設定を行えます。



使用するモデムを選択し、**次へ >** をクリックします。



環境設定完了後、すぐにSTARFAXを起動する場合は**STARFAXを起動する**にチェックを入れておきます。



完了 をクリックします。

ローカルモデムの設定

通信経路として、パソコンに接続されている、もしくは内蔵されている、ローカルモデムを使用する場合は、このモデムの設定を行ってください。

これによって、ローカルモデムからFAXの送受信を行うことができるようになります。

通信経路の設定



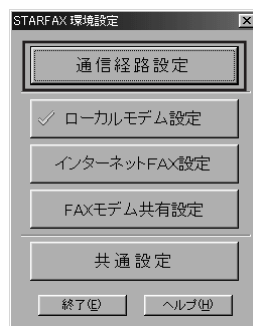
Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] - [STARFAX環境設定] を選択します。



通信経路設定 をクリックします。



「通信経路の設定」の「ローカルモデムを使用する」にチェックを入れ、「標準の通信経路設定」の「ローカルモデム」を選択します。



OK をクリックします。

モデムの設定



Windows [スタート] - [プログラム] - [STAR-FAX2002] - [STARFAX環境設定] を選択します。



☒ ローカルモデム設定 をクリックします。

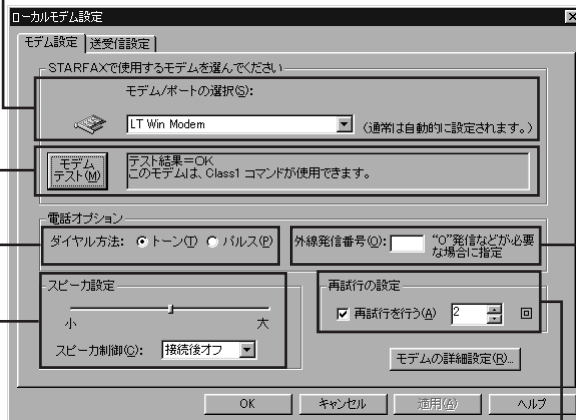


[モデムテスト]

選択されている FAX モデムが利用可能かどうか確認します。

[モデム / ポートの選択]

パソコンに接続している FAX モデムの種類を選択します。



[スピーカ設定]

FAX 通信時に FAX モデムから聞こえる音に関して設定します。

[ダイヤル方法]

FAX モデムに接続されている回線の種類に合わせて選択します。

[再試行の設定]

FAX 通信エラーの際、自動的に再試行する回数を設定します。

[外線発信番号]

外線発信番号が必要な回線に FAX モデムが接続されている場合に番号を入力します。



選択されたモデムが使用可能かどうか[テスト]を実行して確認しておく事をお勧めします。



[外線発信番号] 欄に、不必要な番号を入力すると送信先に正しくダイヤルできなくなります。
「0発信」などの外線発信番号が必要な場合は、空欄にしておきます。



NTT DoCoMo の PHS をご利用の場合、[ダイヤル方法] で [パルス] を選択してください。



マニュアルの画面上で選択されているモデムは例です。
実際にパソコンに接続されている FAX モデムを選択してください。



使用するモデムを選択し、 をクリックします。

共通設定

送信元情報の登録

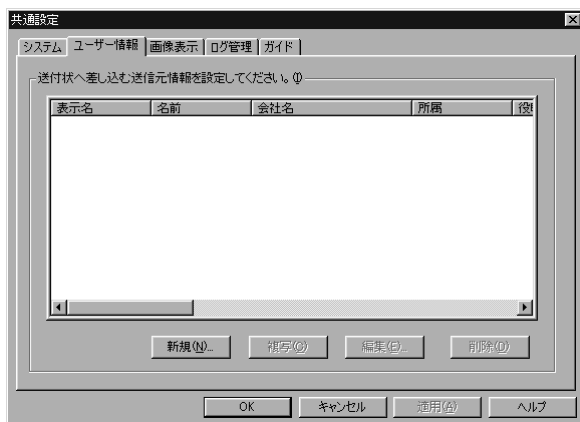
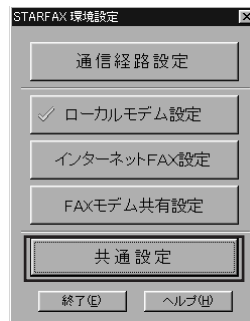
送付状に差し込む、送信元情報を登録しておきます。



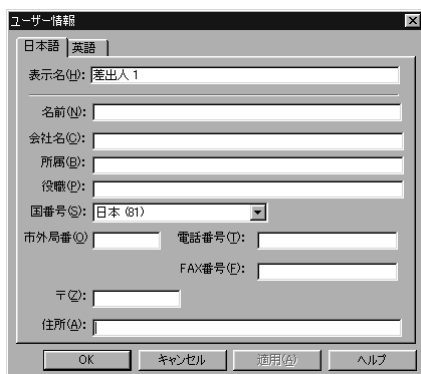
Windows [スタート] - [プログラム] - [STAR-FAX2002] - [STARFAX環境設定] を選択します。



[共通設定] をクリックします。



「ユーザー情報」タブを開き、 **新規(N)...** をクリックします。



新規の「ユーザー情報」ウィンドウが開きます。

ユーザー情報

日本語 | 英語

表示名(N): 差出人 1

名前(N): 増田 稔

会社名(C): メガソフト株式会社

所属(B): サポートセンター

役職(D):

国番号(S): 日本 (81)

市外局番(Q): 06 電話番号(T): 0396-2043

FAX番号(F): 0396-8894

〒(Q): 564-0063

住所(A): 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ



「表示名」は初期値で「差出人 1」が登録されていますが、任意に変更することができます。



送信元の情報を登録し、**適用(A)** **OK** をクリックします。

共通設定

システム | ユーザー情報 | 画像表示 | ログ管理 | ガイド

送付状へ差し込む送信元情報を設定してください。Q

表示名	名前	会社名	所属	役
差出人 1	増田 稔	メガソフト株式会社	サポートセンター	

新規(N) 複写(C) 編集(E) 削除(D)

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

送付状に差し込む、送信元情報が登録されます。



登録済みの送信元情報の内容を修正変更する場合は[編集]をクリックして、該当部分を書き換えます。登録済みの送信元情報を削除する場合は[削除]をクリックします。

STEP 2 STARFAXを使ってみましょう

こんなプログラムを使用します

22
ページ

STARFAXで送信しましょう

26
ページ

STARFAXで受信しましょう

54
ページ

FAX原稿を表示しましょう

64
ページ

電話帳を活用しましょう

74
ページ

■ STARFAXでは、こんなプログラムを使します

STARFAX2002をインストールすると、ショートカットが
[スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] に登録され
ます。

それらの名称と主な特徴は次の通りです。

[STARFAX2002] に登録されるショートカット群

● STARFAX ステーション



FAXの送受信を受け持つ、STARFAXのメインアプリケーションです。普通のファクシミリ機と同じ感覚で操作できるインターフェースを備えています。

● STARFAX ヘルプ



STARFAXをいっそうご活用いただくためのオンラインヘルプです。操作上の不明点などがありましたら本書とあわせてご活用ください。

● STARFAX 環境設定



STARFAXの各アプリケーションを起動することなく、通信経路やユーザー情報、STARFAXのオプションなどを設定可能です。

[STARFAX2002] – [STARFAX TOOLS] に登録されるショートカット群

●STARFAX マネージャ



通信ログや送付状、電話帳のデータを一覧表示して、STARFAXの効率的な運用・管理をサポートします。

●STARFAX サーバーマネージャ



FAXモデム共有機能の利用時に、サーバー側の通信をコントロールします。

●STARFAX バージョン情報



STARFAXのアプリケーションやモジュールのバージョン情報を表示します。

●STARFAX ビューア



やりとりしたFAX原稿を表示します。また、さまざまな編集機能を搭載していますので、FAX原稿の編集や手書きFAXにも適しています。

●STARFAXメニュー for Excel



編集中の文書を簡単にFAX送信できるSTARFAXメニューを、お使いのExcelに追加します。

●STARFAXメニュー for Word



編集中の文書を簡単にFAX送信できるSTARFAXメニューを、お使いのWordに追加します。

●STARFAX ライセンス登録



STARFAXに追加ライセンスを登録するプログラムです。モデム共有など、ネットワークでのSTARFAX運用時には、これで登録したライセンス数に応じて利用クライアント数を増やすことができます。

●STARFAX 自動転送



受信したFAXを別のファクシミリ機などに転送します。またFAX受信のメッセージを携帯電話やPHSに通知することもできます。

●STARFAX 送付状エディタ



送付状の作成・編集に使用します。

●インターネットFAXマネージャ



STARFAXステーションとMAPIとのパイプとなって、インターネットFAX機能をコントロールします。

●ページFAX



定型の送付状を利用した、FAX送信専用アプリケーションです。相手先と用件を入力して、送信ボタンをクリックするだけですばやく簡単に送信可能です。

●STARFAX住所録コンバータ



STARFAXのファイル形式（SFTファイル）以外で作成された住所録ファイルを、STARFAX電話帳にコンバートすることができます。



【STARFAX2002】のグループには、本書に掲載のない最新情報を紹介したドキュメントや弊社webページへのショートカットも登録されています。

STARFAX2002を操作される際には、あらかじめ目を通していただくことをお勧めいたします。

送信原稿の準備

ワープロやペイントソフトなどからの送信

通常使用しているアプリケーションで、送信原稿を作成、すぐに送信することができます。



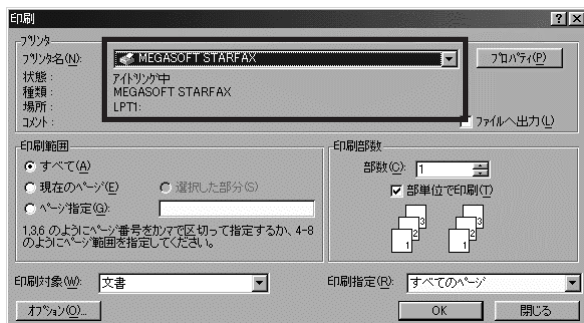
操作 アプリケーションを起動して、原稿を作成します。



操作 アプリケーションから印刷操作を行います。

プリンタ名としてMEGASOFT STARFAXを選びます。

下図は、Wordの場合です。



●カラーモードの選択



操作 ▶ プリンタ名の右横にある **フコパティ(P)** をクリックします。



操作 ▶ 「グラフィックス」タブの「カラーモード」で「モノクロ」か「カラー」を選択し、**適用(A)** をクリックします。



カラーFAX通信は、A4サイズ、200dpi×200dpiとなります。



操作 ▶ 印刷ダイアログの **OK** をクリックします。

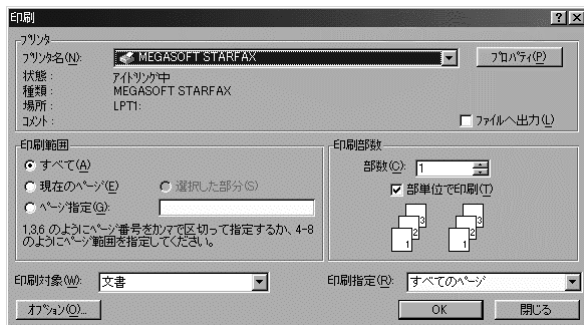
送信原稿のデータが作成され、自動的に「STARFAXステーション」が起動します。



送信については、34ページをご覧ください。
送付状については、40ページをご覧ください。

送信原稿の保存

作成された原稿をすぐに送信せずにSTARFAX用の送信原稿として保存しておくことができます。



操作 プリンタ名の右横にある **フロッピー(P)** をクリックします。



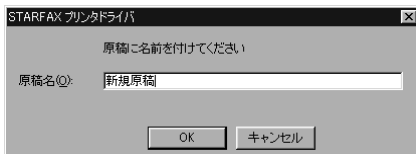
「オプション」タブの「送信原稿フォルダへ登録する」にチェックを入れ **適用(A)** **OK** をクリックします。



「印刷」に戻ったら **OK** をクリックします。



「STARFAXプリンタドライバ」で原稿の保存名を指定して **OK** をクリックします。



補足

「送信原稿フォルダに登録する」にチェックを入れると「STARFAXマネージャ」の「送信原稿」フォルダへ登録されます。



「STARFAXステーション」の「送信原稿」から選択することができます。



注意

作成されていた元原稿の保存先を移動したり削除した場合、STARFAX用の登録したリンクが切れて選択できなくなります。

ドラッグ&ドロップ送信

すでに作成して、保存されている原稿を送信する場合、ドラッグ&ドロップ機能を使用すると便利です。



エクスプローラなどで送信原稿が入っているフォルダを開きます。



STARFAXステーションを表示します。



原稿のファイルをSTARFAXステーションのトレイ部分にドラッグ&ドロップします。



- ・ドラッグ&ドロップ機能で送信する場合、送信原稿をセットするまでに時間がかかることがあります。
- ・すべてのファイルでドラッグ&ドロップ機能を使用して送信できるわけではありません。作成したアプリケーションがもつ、ファイル処理の機能によっては、ドラッグ&ドロップで送信できません。
- ・ドラッグ&ドロップ機能で送信ができないファイルの場合、ドラッグ&ドロップしても、送信原稿がセットされません。また、この場合、送信できないというエラーは出ません。



ドラッグ&ドロップ機能で送信する場合、アプリケーションによっては印刷のダイアログを表示するものがあります。この場合、印刷のダイアログのプリンタが「MEGASOFT STARFAX」となっていることを確認してから、[OK] ボタンをクリックしてください。



- ・印刷設定を変更する場合はドラッグ&ドロップを実行する前に変更しておきます。
- ・カラーFAX通信は、A4サイズ、200dpi×200dpiとなります。



送信については、34ページをご覧ください。
送付状については、40ページをご覧ください。

STARFAXビューアからの送信

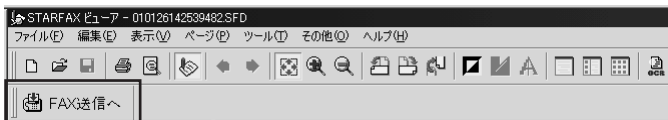
STARFAXビューアは、各種ツールを使用して、新たにFAX原稿を作成したり、オリジナルの印章を作成して押印するなど、すでにあるFAX原稿に編集を加えることが可能なプログラムです。



すでにあるFAX原稿をSTARFAXビューアで表示・編集したり、新規作成して原稿を用意します。



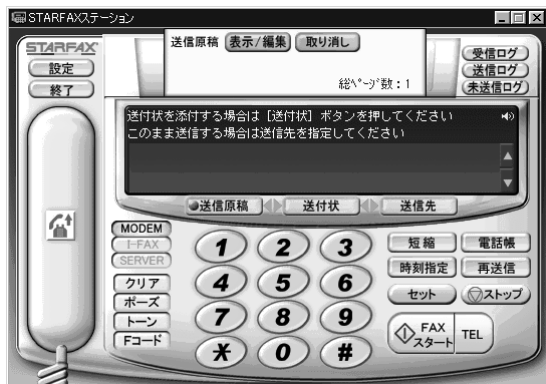
ツールバーの **FAX送信へ** をクリックします。



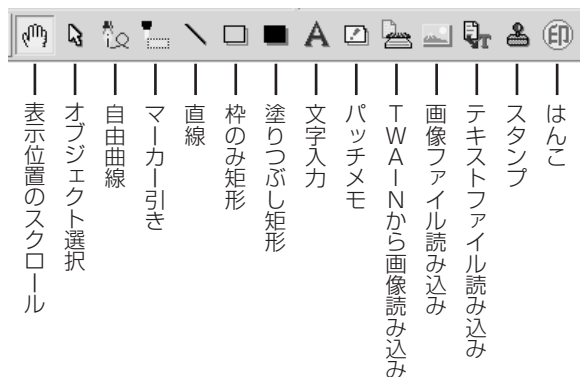
STARFAXで送信しましょう



「STARFAX ステーション」が起動します。



「STARFAX ビューア」のツール



送信については、34ページをご覧ください。
送付状については、40ページをご覧ください。

原稿を送信する

FAX番号を直接入力して送信する



STARFAXステーションが起動し、メッセージが「初期化中」から下記の図のメッセージに変わったことを確認してください。



・ PHSを使用してFAX送信する場合、PTE経由での送信が必要な機種があります。

例) NTT DoCoMoのPHSを使用する場合
PTE番号 * 相手先FAX番号 # 32

PTE番号や番号入力の形式は機種毎に違いますのでメーカーへご確認ください。



相手先のFAX番号を入力してください。





 をクリックすると、送信が開始されます。



電話通話中のFAX送信（手動送信）

FAXモデムに接続されている電話機を使用している場合で、通話中に送信する場合などに使用します。



相手とつながっている状態で原稿をセットし、FAX番号を未入力のまま、 をクリックします。



通信経路としてローカルモデムが選ばれているときだけ有効です。



他にもこんな送信方法があります。

- 電話帳を利用した送信については、36ページをご覧ください。
- 短縮ダイヤルを利用した送信については、78ページをご覧ください。
- 同報通信を利用した送信については、80ページをご覧ください。
- STARFAXメニュー for Wordを利用した送信については、84ページをご覧ください。
- STARFAXメニュー for Excelを利用した送信については、90ページをご覧ください。
- ページFAXを利用した送信については、96ページをご覧ください。

電話帳を利用する（電話帳の作成方法）

電話帳を利用した送信を行う場合は、電話帳を登録しておく必要があります。

電話帳の登録は、電話帳の画面から行います。電話帳の画面を表示させる方法は、次の2通りの方法があります。

●STARFAXステーションが起動している場合



STARFAXステーションが起動している場合 電話帳
をクリックします



●スタートからメニューで選ぶ場合



Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX 2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAXマネージャ] を起動します。
左側の「電話帳」フォルダをクリックします。

●電話帳の登録



STARFAXマネージャを電話帳の状態にして、現在表示されているリストの一つ下の空行にカーソルをあわせます。



【編集】メニューの【電話帳の編集】で空白の登録画面がでできます。



必要事項を記入してください。必ず市外局番とFAX番号を記入してください。ここに記入が無い場合、送信の時に「電話番号がありません」というエラーが出ます。



OK をクリックします。

これで、新規登録されます。



電話帳の詳細については、74ページをご覧ください。

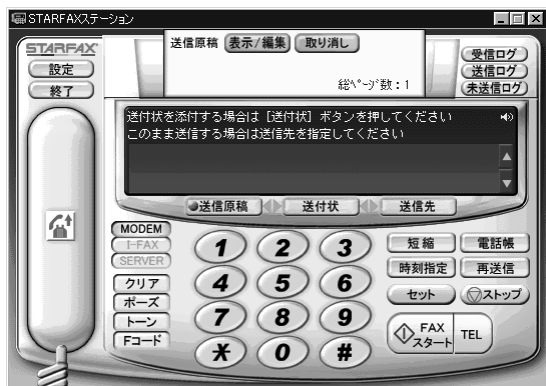


市外局番を空欄にしている場合、環境設定で登録されている所在地情報の「市外局番」が自動的にダイヤルされ、正しく送信できないことがあります。

電話帳を利用する（送信）



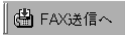
STARFAXステーションが起動し、メッセージが「初期化中」から下記の図のメッセージに変わったことを確認してください。

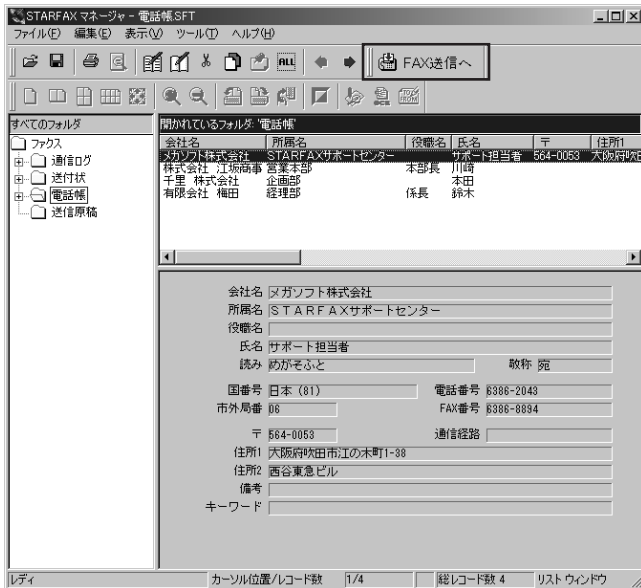


電話帳 をクリックします。





送信先を選択して  をクリックします。



STARFAXステーション画面に戻ります。このとき、ディスプレイに選択した相手の名前が表示されています。



 をクリックすると、送信が開始されます。



送付状の使い方

送付状の選択

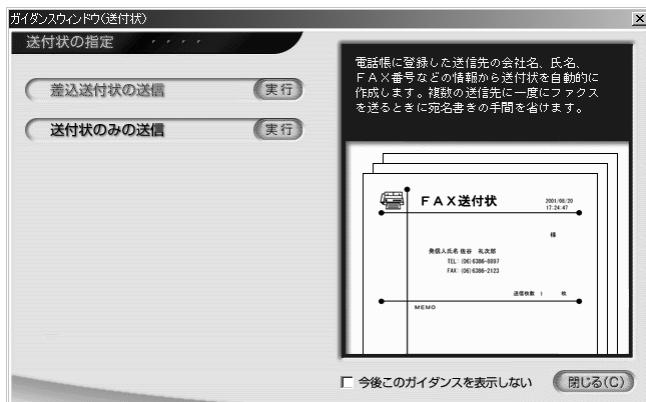
FAX原稿として相手先の社名や氏名などを差し込んだり、簡単なメモを記入した送付状（カバーシート）を送信するには、次のような操作をします。



「STARFAXステーション」の **送付状** をクリックします。



「ガイダンスを表示する」モード（初期設定）では以下の画面が表示されます。

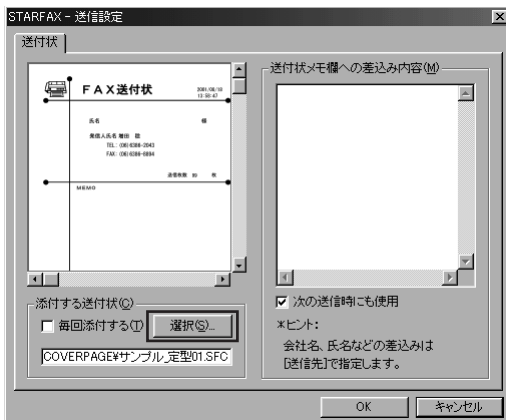


差込送付状の送信 **実行** をクリックします。



操作

選択(S)... をクリックします。



操作

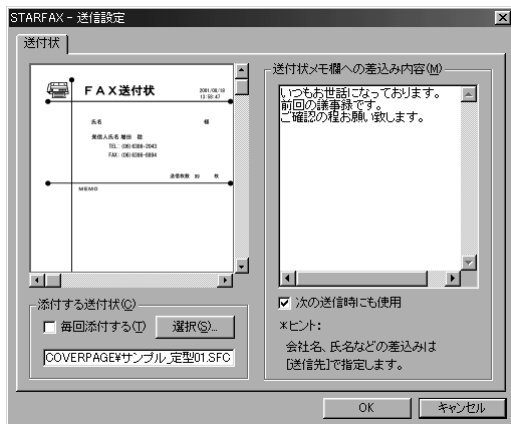
ファイルダイアログから、利用する送付状を選択します。



STARFAXで送信しましょう



メモ書きを追加したいときは、[送付状メモ欄への差し込み内容] に書き込みます。



OK をクリックすると、「STARFAXステーション」に戻ります。



補足

送付状単独での送信も可能です。また、送付状を新規に作ったり、すでにある送付状を編集することが可能です。「送付状エディタ」については116ページをご覧ください。

送付状への差し込み

送付状には、相手会社名や氏名、送信元の情報などが差し込めるタイプのものがあり、以下の操作で、送付状の各欄にそれらが差し込まれます。



操作 **電話帳** をクリックします。



送信する相手先を選択し、**FAX送信へ** をクリックします。



補足
相手先の指定はダブルクリックでも可能です。

STARFAXで送信しましょう



相手先がセットされ、電話帳に登録済みの情報が送付状に反映します。



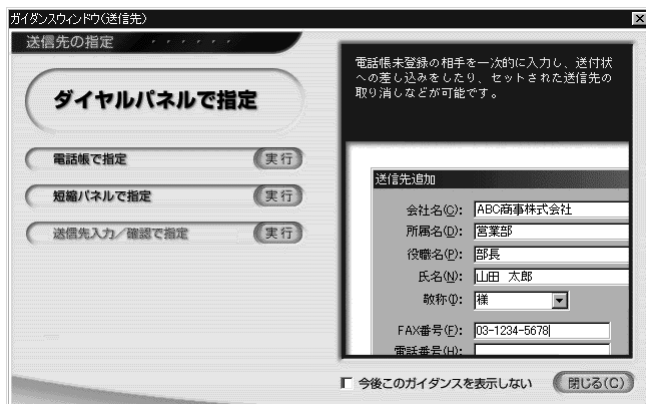
●電話帳への登録がない場合の差し込み



送付状を選択した後、**送信先** をクリックします。



「ガイダンスを表示する」モード（初期設定）では以下の画面が表示されます。



送信先入力/確認で指定 **実行** をクリックします。

STARFAXで送信しましょう



追加(A) をクリックします。



必要事項を入力して **追加(I)** をクリックします。

送信先追加

会社名(C):

所属名(D):

役職名(P):

氏名(N):

敬称(Q):

FAX番号(F):

電話番号(H):

〒(Z):

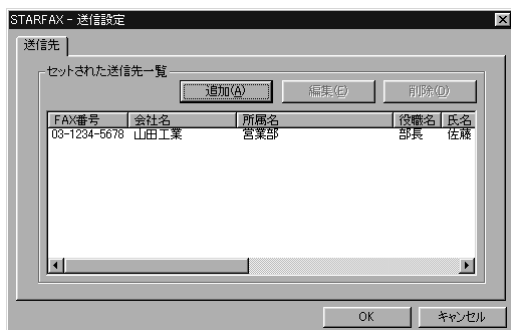
住所1(E):

住所2(S):

追加(I) キャンセル



送信先一覧にセットされます。



OK をクリックします。



相手先がセットされ、入力した情報が送付状に反映されます。



補足

ここで、追加した内容は、今回の送信のみに使われますので、電話帳へは登録されません。

送付先情報の差し込みについて（ファイル名で指定する）

送信するファイル名を以下のルールで設定した場合、そのファイルをSTARFAXステーションにドラッグ&ドロップすることで、FAX番号が自動で入力され、送信することができます。また、ファイル名に含まれる会社名等はヘッダー、送付状などに差し込まれます。

ファイルの書式は次のとおりです

FAX [相手のFAX番号&N=送り先の名前&S=送り先の社名]

【例】

相手先のFAX番号	06-6386-8894
相手先の社名	メガソフト株式会社
相手先の名前	ご担当者様
使用するアプリケーション	Word(拡張子は .doc)

このときのファイル名は

FAX[06-6386-8894&N=ご担当者&S=メガソフト株式会社].doc

となります。(docはwindowsの設定によっては表示されません。)

このルールを利用するにはあらかじめSTARFAX環境設定で設定が必要です。

STARFAX環境設定の「ローカルモデム設定」から「送受信設定」タブを開き、「発信元情報」の「記録情報」の欄から表示する内容を選択します。設定の仕方はヘルプファイルを参照してください。

また06-6386-8894に送信するだけでよい場合は



FAX[06-6386-8894].doc

のファイル名で送信ができます。

複数の相手先にも一度の操作で送信ができます。その場合は
[]の部分を相手先分用意します。前の例で、06-6396-8894以外に06-6386-2123にも送信したい場合、



FAX[06-6386-8894][06-6386-2123].doc

のファイル名で二つの相手先に送信されます。
この[]内に&N=と&S=のオプションを加えることもできます。

なお、ファイルの中身の識別を容易にするため名前を付けることもできます。



お見積書FAX[06-6386-8894].doc

送信元情報の複数ユーザー登録

送付状へ差し込む送信元情報を複数登録できます。
相手先に応じて送信元の情報を切り換えることができます。

送信元情報の複数ユーザー登録



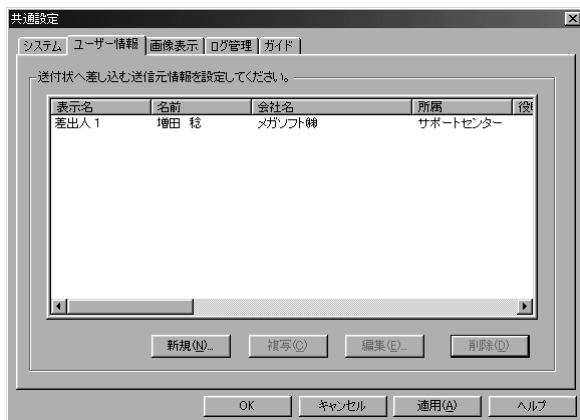
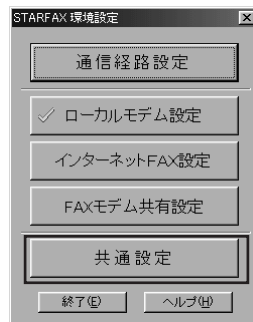
操作 Windows [スタート] - [プログラム] - [STAR-FAX2002] - [STARFAX環境設定] を選択します。



共通設定をクリックします。



「ユーザー情報」タブを開き 新規(N)... をクリックします。





「ユーザー情報」で追加するユーザー情報を入力し **OK** をクリックします。



補足

「表示名」に入力された文字が、送信時に「差出人変更」を選択すると表示されます。
「表示名」は自由に入力できます。
デフォルトでは自動的に差出人1からの連番をとります。



登録ができたなら **適用(A)** **OK** をクリックして終了します。

表示名	名前	会社名	所属	役
差出人 1	増田 健	メガソフト株式会社	サポートセンター	
差出人 2	加納 誠吾	メガソフト株式会社	市場開拓部	

送信元情報の切り換え

送信する際に「STARFAXステーション」から、切り換え操作します。



「STARFAXステーション」－ **設定** をクリックし、[差出人変更] を選択し今回の送信に差し込む送信元情報を選択します。



自動受信

自動受信の設定について



操作 STARFAX環境設定を起動します。



操作 ☒ ローカルモデム設定 をクリックします。



「受信までのコール回数」に「0」を設定すると、自動受信は行われません。

「送受信設定」タブの「自動受信する」にチェックを入れ、受信を開始するまでの呼び出し音（コール）の回数を設定してください。

自動受信の手順



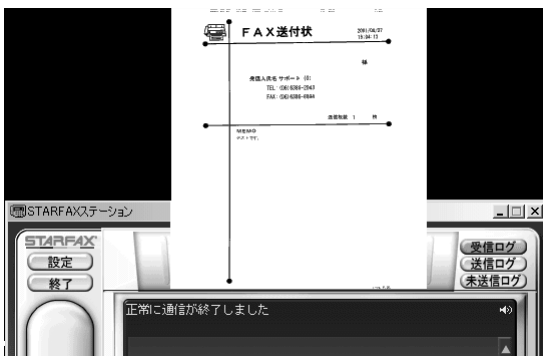
Windows [スタート] - [STARFAX2002] - [STARFAXステーション] を選択します。



FAXが送信されてくると、自動的に受信が開始されます。



しばらくすると、通常の待機中の状態に戻ります。



受信した原稿の確認については、64ページをご覧ください。

手動受信

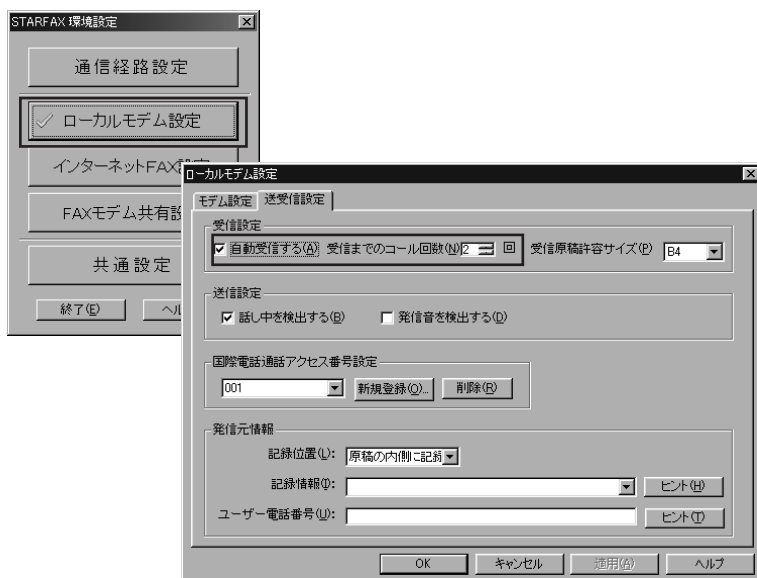
手動受信の設定について



操作 STARFAX環境設定を起動します。



操作 ☒ ローカルモデム設定 をクリックします。



「送受信設定」タブの「自動受信する」のチェックをはずしてください。

手動受信の手順



電話がかかってきたら、FAXモデムに接続されている電話機の受話器をとります。

FAXモデムと電話機から呼び出し音が鳴ります。受話器を上げて相手と話をすることができます。



STARFAXステーションを起動します。



STARFAXステーションの受話器  をクリックします。



STARFAXで受信しましょう



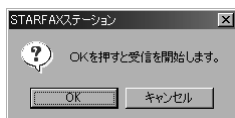
操作

設定 をクリックし、「手元の電話機を使用」を選択します。



操作

FAX スタート をクリックします。



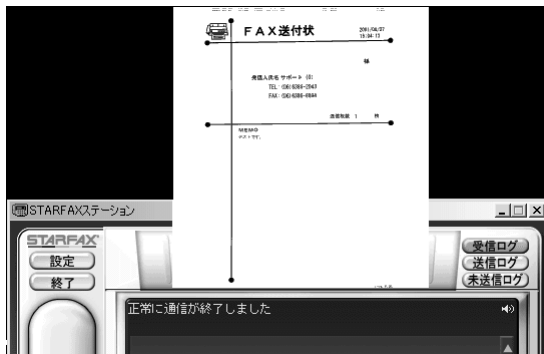
操作

OK をクリックします。



確認

FAX受信が開始されます。



しばらくすると、通常の待機中の状態に戻ります。



受信した原稿の確認については、64ページをご覧ください。

FAX情報サービスの利用

STARFAXステーションを使用して、FAX情報サービスの利用ができます。

ここでは、弊社のカatalog情報サービスの取り出し方を説明します。



操作 STARFAXステーションを起動します。



操作 STARFAXステーションの受話器  をクリックします。





FAX情報サービスの番号をダイヤルし、 をクリックします。



メガソフトFAX情報サービス
東京：03-5213-6736
大阪：06-6337-1767



メッセージに従い番号操作を行います。



選択番号などを押す処理の前にSTARFAXステーションの「トーン」をクリックしてから行ってください。

(例) 総合メニューを受信する場合：   



「ピーと鳴ったらFAXのスタートボタンを押してください」というメッセージが流れます。

STARFAXで受信しましょう



操作



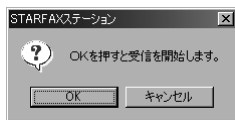
をクリックします。



操作



をクリックします。



確認

受信を開始します。





受信が終了します。



受信が終了したあと、「正常に通信が終了しました」と表示されます。

受信が終了した後、STARFAXステーションの **受信ログ** が色つきに変わります。



受信した原稿の確認については、64ページをご覧ください。

受信原稿の表示



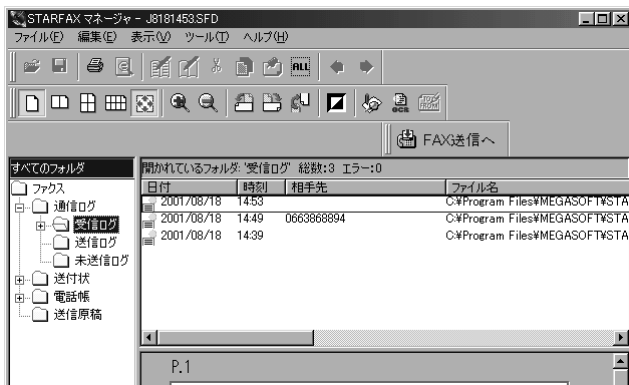
未読の受信原稿がある場合「STARFAXステーション」の「受信ログ」が色つきに変わります。



「受信ログ」をクリックします。



「STARFAXマネージャ」が起動し、内容を確認することができます。



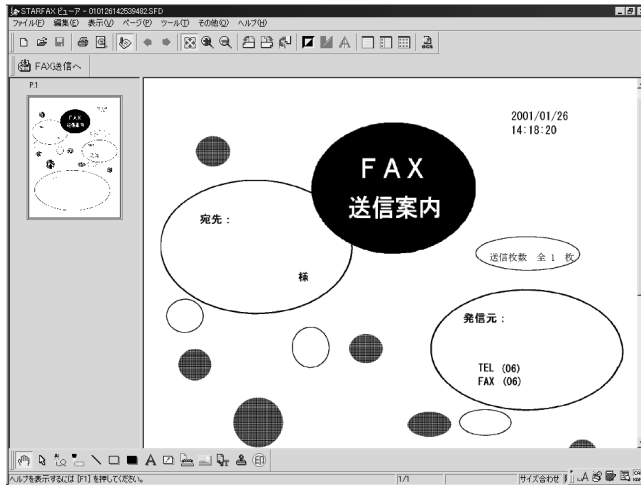
「STARFAXマネージャ」を単独で起動したい時は、Windows[スタート]－[プログラム]－[STARFAX2002]－[STARFAX TOOLS]－[STARFAXマネージャ]で起動します。



送信済みの原稿を確認するには、「STARFAXマネージャ」で表示対象のフォルダを[送信ログ]にします。

関連項目

リスト部分をダブルクリックすると、「STARFAXビューア」が起動して、内容の確認や文字、罫線などを書き加えることができます。



受信原稿の印刷

「STARFAXマネージャ」で、印刷したい原稿を表示させ、以下の操作を行います。



操作 [プリンタアイコン] をクリックします。



確認 お使いのプリンタのダイアログが表示されます。



操作 出力先のプリンタが正しいことを確認し、
をクリックすると印刷されます。

OK



関連項目 リスト部分を印刷するには、[ファイル] - [印刷設定] - [送受信ログ] を選択します。

■ エージェントフォルダについて

STARFAX には、「エージェント機能」があります。

エージェント機能は、特定の相手へFAX送信した記録（送信ログ）と、FAX受信した記録（受信ログ）を自動的に任意のフォルダに振り分けます。

特定の相手のFAX送受信の記録が素早く確認できます。

■ 送信ログ情報の例

B社へFAX送信した送信ログ情報は、「送信ログ」フォルダの下層にあるエージェント設定フォルダの「B社」に保存されます。

■ 受信ログ情報の例

A社からFAX受信した受信ログ情報は、「受信ログ」フォルダの下層にあるエージェント設定フォルダの「A社」に保存されます。

エージェントフォルダ作成方法

○ 送信エージェントフォルダ



「STARFAXマネージャ」から「電話帳」フォルダを開きます。

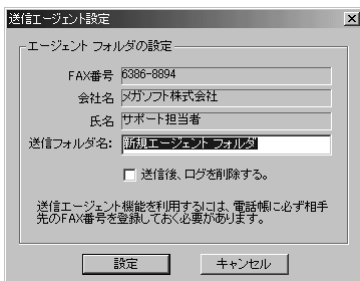


操作 「送信エージェントの設定」を選択します。

送信エージェント設定する送信先を選択して、マウスを右クリックし、メニューから、「送信エージェントの設定」を選択します。



操作 「送信フォルダ名」を入力します。

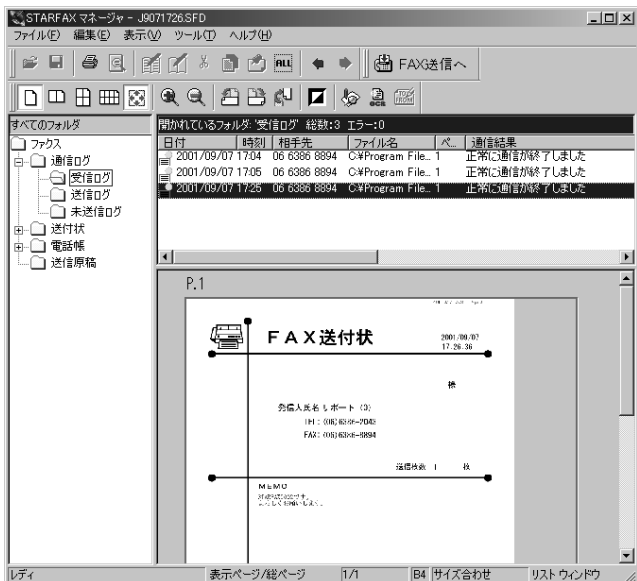


操作 設定 をクリックします。

○受信エージェントフォルダ



「STARFAXマネージャ」から「受信ログ」フォルダを開きます。



「受信エージェントの設定」を選択します。

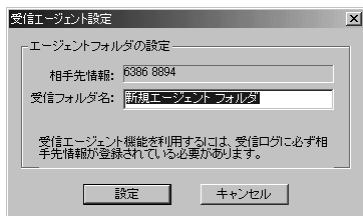
受信エージェント設定する受信ログを選択して、マウスを右クリックし、メニューから、「受信エージェントの設定」を選択します。





操作

「受信フォルダ名」を入力します。



操作

設定

をクリックします。

エージェントフォルダの削除

エージェント設定フォルダの削除について説明します。

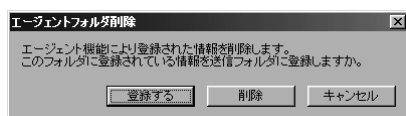


「フォルダ表示」ウィンドウから削除するエージェント設定フォルダを右クリックし、[削除] を選択します。



削除したエージェント設定フォルダは元に戻すことはできません。

関連項目



選択したエージェント設定フォルダの中にログ情報がある場合、「エージェントフォルダ削除」ダイアログが表示されます。

● [登録する] をクリックした場合

フォルダを削除する前に、振り分けられていた通信ログを、送信ログ、受信ログ、それぞれのフォルダへ戻してから、エージェントフォルダを削除します。

● [削除] をクリックした場合

振り分けられていた通信ログを、送信ログ、受信ログ、それぞれのフォルダからも削除してから、エージェントフォルダを削除します。

電話帳の詳細

電話帳画面の表示方法

電話帳を利用した送信を行う場合は、電話帳を登録しておく必要があります。

電話帳の登録は、電話帳の画面から行います。電話帳の画面を表示させる方法は、次の2通りの方法があります。

●STARFAXステーションが起動している場合



STARFAXステーションが起動している場合 **電話帳** をクリックします。



●スタートからメニューで選ぶ場合



Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX 2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAXマネージャ] を起動します。

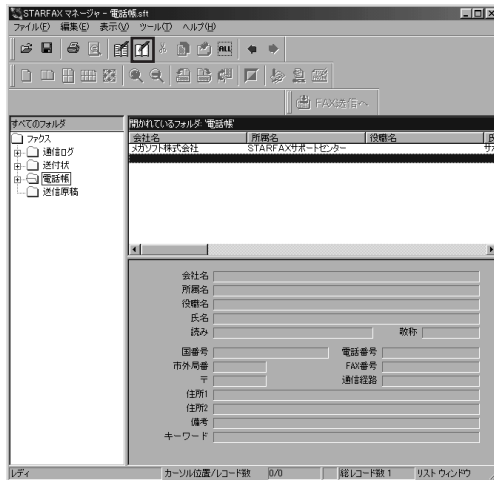
左側の「電話帳」フォルダをクリックします。

電話帳データの新規作成



「編集」－「相手先の追加」を選択します

ツールバーからをクリックしても、同様の画面が表示されます。

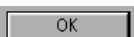


空白の登録画面が表示されます。



必要事項を記入してください。必ずFAX番号を記入してください。ここに記入が無い場合、実際の送信の時に「電話番号がありません」というエラーが出ます。



をクリックします。

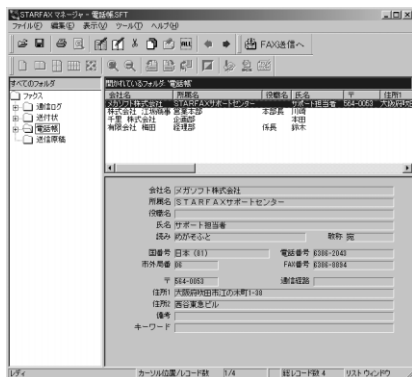
電話帳データの編集



操作 編集する電話帳データをクリックします。



確認 電話帳データが反転した状態になります。



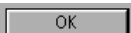
操作 [編集] - [電話帳の編集] を選択します。

ツールバーから  をクリックしても、同様の画面が表示されます。



操作 電話帳の内容を編集します。



操作  をクリックします。

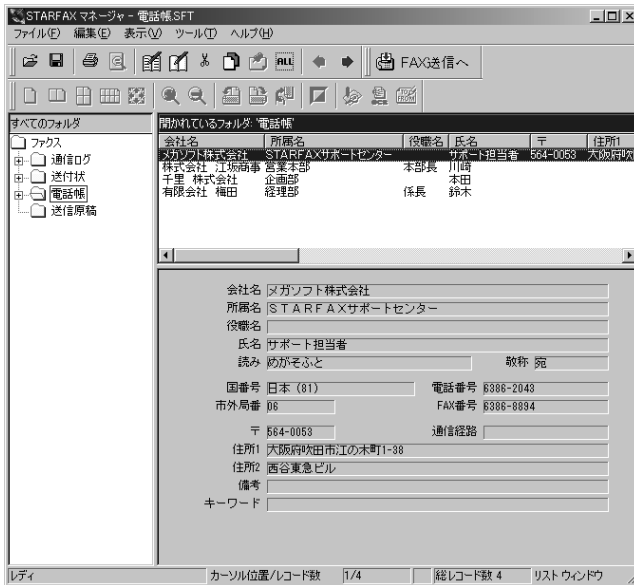
電話帳データの削除



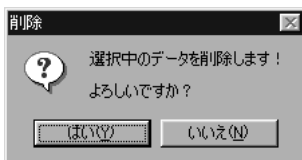
削除する電話帳データをクリックします。



電話帳データが反転した状態になります。



「編集」 - 「削除」を選択します。



確認のダイアログボックスが表示されます。



削除しても良い場合は、「はい(Y)」を、削除を取り消す場合は、「いいえ(N)」をクリックします。

短縮ダイヤルの登録

短縮ダイヤルの登録は、「相手先を追加」を行うとき、または「電話帳の編集」で行います。



操作 [編集] - [電話帳の編集] を選択します。



操作 「短縮ダイヤル設定(S)...」をクリックします。



登録を取り消す場合は、ラジオボタンをはずします。



操作 「短縮ダイヤル設定」のダイアログが表示されますので、設定したいグループと位置のラジオボタンをクリックします。

短縮ダイヤルを利用した送信

送信する原稿を用意します。



標準パネルの **短縮** をクリックします。



登録されている相手先をクリックします。



FAX スタート をクリックします。

同報送信の方法

電話帳を使用すると簡単に複数の人へ同時にFAXを送信することができます。

電話帳は事前に作成されているものとします。



操作 原稿を作成し、印刷操作を行います。



確認 このときプリンタとして「MEGASOFT STARFAX」を選択してください。



確認 STARFAXステーションが起動します。

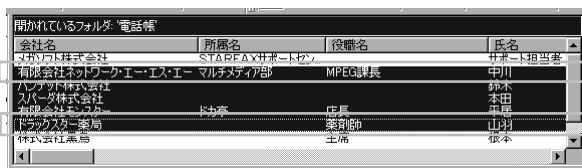


操作 「電話帳」をクリックします。



操作 送信する相手を選択します。

●電話帳で連続した相手先を選択する場合



最初をクリック

[SHIFT] キーを押しながらクリック

電話帳にある連続した複数の相手先を選択する場合は、最初の相手先にカーソルをあわせ、SHIFTキーを押しながら最後の相手先をクリックします。

●電話帳で連続していない相手先を選択する場合

連続していない相手先を選択する場合は、CTRLキーを押しながら相手先をクリックします。



 をクリックします。



STARFAXステーションの画面に戻ります。このとき、ディスプレイに選択した相手の名前が表示されています。



 をクリックします。



複数の相手先が決まっている場合、グループフォルダへ登録しておくことで「すべて選択」で相手先を決定できるので便利です。グループフォルダの使い方はヘルプをご覧ください。



「STARFAXステーション」-「設定」の中にある[送受信イメージを表示]のチェックをはずすと送信中でも、別の原稿を別の相手先へ送信する同報送信をセットする事ができます。

STEP
3

STARFAXにはこんな機能もあります

機能拡張プログラム

STARFAXメニュー for Word

84
ページ

STARFAXメニュー for Excel

90
ページ

ページFAX

96
ページ

STARFAX自動転送

106
ページ

ユーティリティプログラム

送付状エディタ

116
ページ

住所録コンバータ

124
ページ

インターネットFAX

130
ページ

FAXモデム共有

148
ページ

STARFAXメニュー for Word

Microsoft Word97/98/2000/2002のメニューバーに[STARFAX]を追加します。STARFAXメニューの中には、あらかじめ登録しておいた相手先が表示されますので、メニューから相手先をダイレクトに選択するだけで、Word文書をすぐにFAX送信できます。

決まった相手先に、よくWord文書をFAX送信するような場合に便利です。

STARFAXメニュー for Wordをインストールした後、最初にWordを起動したときに、自動的に追加されます。

STARFAXメニューを使ってWord文書をFAX送信するには、事前に相手先を登録しておく必要があります。

STARFAXメニュー for Wordの組み込みと削除

STARFAXの標準インストールでは、STARFAXメニュー for Wordは登録されません。

以下の手順で、Wordへ組み込んでください。また、削除も同様の手順で行えます。



STARFAXメニューを実行する際に、Wordの設定でマクロのセキュリティをかけている場合は、マクロを実行できるようにしてください。



操作 起動中のアプリケーションを全て終了させます。

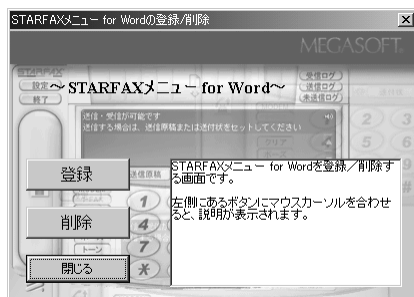


Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAXメニュー for Word] を選択します。

Wordが自動的に起動し、「STARFAXメニュー for Wordの登録/削除」が表示されます。



「STARFAXメニュー for Wordの登録/削除」が表示される前に、マクロを有効にするかどうかの問い合わせダイアログが表示された場合は、「マクロを有効にする」をクリックしてください。





STARFAXメニュー for Wordを組み込む場合は

登録 を、削除する場合は **削除** をクリックします。



登録または削除が実行され、完了のメッセージが表示されます。



OK をクリックします。

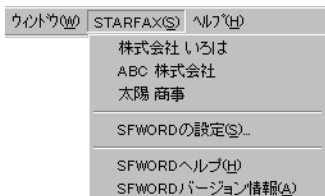


再度組み込む場合は、同じ手順で
[STARFAXメニュー for Wordの登録/削除] を表示後、[登録] をクリックしてください。

Wordは自動的に終了します。次回Wordを起動したとき、
[STARFAX] の登録または削除が反映されます。

相手先の登録

FAXを送信する相手先の情報を登録します。相手先は20件まで登録できます。登録した相手先はSTARFAXメニューに表示されます。



登録した相手先が表示されます。



STARFAXメニュー for Wordに登録された相手先は、STARFAXメニュー for Excelでも使用されます。



Wordの[STARFAX] から[SFWORDの設定]を選択します。



「SFWORD設定」ダイアログが表示されます。

現在のレコードが何番目のレコードであるかが表示されます。

相手先の名を入力します。
ここで入力した名前が
[STARFAX] メニューに表示されます。

次のレコードに移動します。

前のレコードに移動します。



1件分の相手先情報をレコードと呼びます。



相手先名を入力します。

ここで入力した名前がSTARFAXメニューに表示されます。



入力なかった場合、メニューに表示されませんので、注意してください。



操作 [相手先] タブに、相手先情報を入力します。

グレー表示されている項目以外の項目は必ず入力する必要があります。



操作 送付状を付ける場合は、[送付状] タブを選択し、各項目の設定を行います。



STARFAXメニューでFAXを送信する場合、「STARFAX環境設定」 - [ローカルモデム設定] - [送受信設定] タブの「送付状の添付」で指定している送付状は無視されます。



各項目の入力内容と制限事項は、電話帳のデータ項目と同じですので、ヘルプファイルの「電話帳の作成」の「電話帳データ項目と意味」を参照してください。

次の項目に移動するには [TAB] キー、前の項目に戻るには [Shift] + [TAB] キーを押します。

現在選択されている送付状に項目を表示させるフレームが無い場合は項目がグレーになります。



[送付状] タブでは、既存の送付状を選択します。新しく送付状を作成したり、既存の送付状を編集する場合は、ヘルプファイルの「送付状の作成」を参照してください。

[送付状を添付する]
送付状を添付する場合にチェックを入れます。

[送付状]
送付状ファイルの保存場所が表示されます。

[送付状表示]
送付状を表示します。
編集はできません。

「送付状ファイルの選択」を表示し、送付状ファイルを選択できます。
選択した送付状ファイルは [送付状] に表示されます。

[送付状メモ]
送付状にメモ枠がある場合、メモを入力できます。

[送付状メモを保存する]
チェックマークを付けると、[送付状メモ] に入力した文章を、
次の送信でも利用できるように保存します。



現在の相手先をSTARFAXメニューに表示するかどうかを選択します。

「[メニューに登録する]」にチェックを入れると、「[STARFAX]」に表示されます。チェックを入れないと、データとしては存在しますが、STARFAXメニューには表示されません。あまりFAXを送信しない相手先は、チェックをはずしておくとういでしょう。



続けて別の相手先を登録する場合は、次のレコードへ移り、操作を繰り返します。

登録済みのレコードを修正する場合は、修正するレコードを表示し、情報を修正します。

相手先の登録が終わったら、**閉じる**をクリックします。

このとき、設定内容を保存するかどうかを選択できます。保存する場合は「はい」を、保存しない場合は「いいえ」をクリックします。

FAXの送信手順

相手先の登録が終わったら、STARFAXメニューを使ってFAXを送信できます。



Wordで文書を作成します。



STARFAX2002のプリンタドライバは、「A4」「B4」「A3」「B5横」「A5横」「ステートメント」「レター」「リーガル」「タブロイド」の用紙サイズに対応しています。これ以外の用紙サイズでFAXを送信した場合、相手先で正しく出力されないことがあります。



送信される原稿は、「MEGASOFT STARFAX」プリンタドライバで設定されている状態で、送信されます。現在、設定されている状態とは違う状態でFAX送信を行いたい場合は、あらかじめ、Wordの「[ファイル]」→「[印刷]」で「MEGASOFT STARFAX」プリンタドライバの設定を変更しておいてください。



操作 STARFAXメニューから相手先を選択します。

「SFWORD送信」に、選択した相手先の情報が表示されます。

[プレビュー]
FAXイメージを表示します。



確認 相手先情報を確認します。

添付している送付状にメモ欄がある場合は、[送付状メモ]にメモを入力できます。

ここで、相手先の情報を変更することもできます。変更した内容は、保存されます。



操作 送信開始 をクリックします。

指定した相手先に、現在のWord文書が送信されます。

STARFAXメニュー for Excel

Microsoft Excel97/2000/2002のメニューバーに [STARFAX] を追加します。STARFAXメニューの中には、あらかじめ登録しておいた相手先が表示されますので、メニューから相手先をダイレクトに選択するだけで、Excel文書をすぐにFAX送信できます。

決まった相手先に、よくExcel文書をFAX送信するような場合に便利です。

STARFAXメニュー for Excelをインストールした後、最初にExcelを起動したときに、自動的に追加されます。

STARFAXメニューを使ってExcel文書をFAX送信するには、事前に相手先を登録しておく必要があります。

STARFAXメニュー for Excelの組み込みと削除

STARFAXの標準インストールでは、STARFAXメニュー for Excelは登録されません。

以下の手順で、Excelへ組み込んでください。また、削除も同様の手順で行えます。



STARFAXメニューを実行する際に、Excelの設定でマクロのセキュリティをかけている場合は、マクロを実行できるようにしてください。



起動中のアプリケーションを全て終了させます。

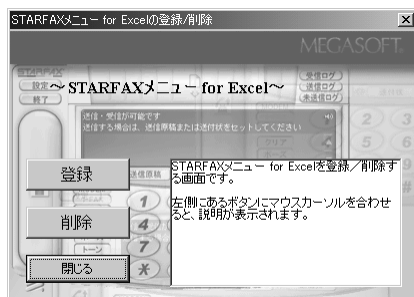


Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAXメニュー for Excel] を選択します。

Excelが自動的に起動し、「STARFAXメニュー for Excelの登録/削除」が表示されます。



「STARFAXメニュー for Excelの登録/削除」が表示される前に、マクロを有効にするかどうかの問い合わせダイアログが表示された場合は、[マクロを有効にする] をクリックしてください。





STARFAXメニュー for Excelを組み込む場合は

登録 を、削除する場合は **削除** をクリックします。



登録または削除が実行され、完了のメッセージが表示されます。



OK をクリックします。



再度組み込む場合は、同じ手順で
[STARFAXメニュー for Excelの
登録/削除] を表示後、[登録] をク
リックしてください。

Excelは自動的に終了します。次回Excelを起動したとき、
[STARFAX] の登録または削除が反映されます。

相手先の登録

FAXを送信する相手先の情報を登録します。相手先は20件まで登録できます。登録した相手先はSTARFAXメニューに表示されます。



登録した相手先が表示されます。



STARFAXメニュー for Excelに登録された相手先は、STARFAXメニュー for Wordでも使用されます。



Excelの[STARFAX] から[SFEXCELの設定] を選択します。



「SFEXCEL設定」ダイアログが表示されます。

現在のレコードが何番目のレコードであるかが表示されます。

相手先の名前を入力します。
ここで入力した名前が
[STARFAX] メニューに表示されます。

次のレコードに移動します。

前のレコードに移動します。



1件分の相手先情報をレコードと呼びます。



相手先名を入力します。

ここで入力した名前がSTARFAXメニューに表示されます。



入力なかった場合、メニューに表示されませんので、注意してください。



操作 [相手先] タブに、相手先情報を入力します。

グレー表示されている項目以外の項目は必ず入力する必要があります。



操作 送付状を付ける場合は、[送付状] タブを選択し、各項目の設定を行います。



注意
STARFAXメニューでFAXを送信する場合、「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「送受信設定」タブの「送付状の添付」で指定している送付状は無視されます。



補足

各項目の入力内容と制限事項は、電話帳のデータ項目と同じです。ヘルプファイルの「電話帳の作成」の「電話帳データ項目と意味」を参照してください。

次の項目に移動するには [TAB] キー、前の項目に戻るには [Shift] + [TAB] キーを押します。

現在選択されている送付状に項目を表示させるフレームが無い場合は項目がグレーになります。



補足

[送付状] タブでは、既存の送付状を選択します。新しく送付状を作成したり、既存の送付状を編集する場合は、ヘルプファイルの「送付状の作成」を参照してください。

[送付状を添付する]
送付状を添付する場合にチェックを入れます。

[送付状]
送付状ファイルの保存場所が表示されます。

[送付状表示]
送付状を表示します。
編集はできません。

[送付状メモ]
送付状にメモ枠がある場合、メモを入力できます。

[送付状メモを保存する]
チェックマークを付けると、[送付状メモ]に入力した文章を、
次の送信でも利用できるように保存します。

「送付状ファイルの選択」を表示し、送付状
ファイルを選択できます。
選択した送付状ファイルは[送付状]に表
示されます。



現在の相手先をSTARFAXメニューに表示するかどうかを選択します。

[メニューに登録する] にチェックを入れますと、[STARFAX] に表示されます。チェックを入れないと、データとしては存在しますが、STARFAXメニューには表示されません。あまりFAXを送信しない相手先は、チェックをはずしておくとういでしょう。



続けて別の相手先を登録する場合は、次のレコードへ移り、操作を繰り返します。

登録済みのレコードを修正する場合は、修正するレコードを表示し、情報を修正します。

相手先の登録が終わったら、**閉じる** をクリックします。

このとき、設定内容を保存するかどうかを選択できます。保存する場合は[はい] を、保存しない場合は[いいえ] をクリックします。

FAXの送信手順

相手先の登録が終わったら、STARFAXメニューを使ってFAXを送信できます。



Excelで文書を作成します。



STARFAX2002のプリンタドライバは、「A4」「B4」「A3」「B5横」「A5横」「ステートメント」「レター」「リーガル」「タブロイド」の用紙サイズに対応しています。これ以外の用紙サイズでFAXを送信した場合、相手先で正しく出力されないことがあります。



送信される原稿は、「MEGASOFT STARFAX」プリンタドライバで設定されている状態で、送信されます。現在、設定されている状態とは違う状態でFAX送信を行いたい場合は、あらかじめ、Excelの[ファイル] - [印刷] で「MEGASOFT STARFAX」プリンタドライバの設定を変更しておいてください。



操作 STARFAXメニューから相手先を選択します。

「SFEXCEL送信」に、選択した相手先の情報が表示されます。

「プレビュー」
FAXイメージを表示します。



確認 相手先情報を確認します。

添付している送付状にメモ欄がある場合は、[送付状メモ]にメモを入力できます。

ここで、相手先の情報を変更することもできます。変更した内容は、保存されます。

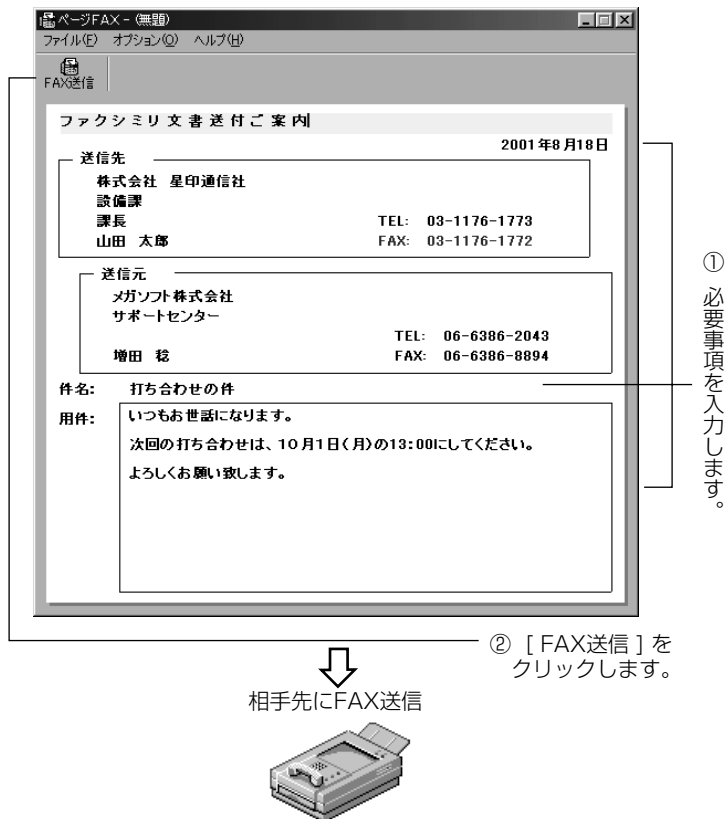


操作 送信開始 をクリックします。

指定した相手先に、現在のExcel文書が送信されます。

ページFAX

定型のFAX送付状に、相手先と用件を入力し、送信ボタンをクリックするだけで、簡単にすばやく、FAXを送信できます。簡単な用件をFAXする場合などに便利なツールです。



また、入力したFAX内容は、ファイル（「相手先ファイル」と呼びます）に保存できます。後で呼び出して、件名や用件など、変更のある部分だけを書き換えて送信することができます。同じ相手に何度かFAXを送るような場合は、毎回、相手先を入力する手間が省けます。

FAXの送信手順

相手先と用件を入力し、をクリックするだけで、FAXを送信できます。



操作 「ページFAX」を起動します。



操作 Windows [スタート] - [プログラム] - [STAR-FAX2002]、[STARFAXTOOLS] - [ページFAX] を選択します。
定型の「ファクシミリ文書送付ご案内」が表示されます。

■前回のFAX内容が表示されている場合



操作 [ファイル] - [新規相手先] を選択します。



確認 新規画面が開きます。



操作 必要事項を入力します。

送信先、送信元、件名、用件等の必要事項を入力します。

送信先FAX番号は、必ず入力する必要があります。

[TEL]、[FAX] に入力できる文字は、半角の数字、ハイフン (-)、ピリオド (.)、スペースです。

各項目に入力できる文字数は、設定しているフォントによって異なります。



関連項目 フォントの設定については、101ページをご覧ください。

次の項目に移動するには [TAB] キー、前の項目に戻るには [Shift] + [TAB] キーを押します。

パソコンに設定されている現在の日付が表示されます。
日付の変更はできませんが、[オプション]メニューの[日付を挿入]を選択することによって、日付の表示／非表示を切り替えることはできます。

「STARFAX環境設定」の[ユーザー情報]に登録している情報が自動表示されますが、変更できます。



または [ファイル] - [FAX送信] を選択します。



確認メッセージが表示されます。



送信する場合は [はい] を選択します。

STARFAXステーションが自動的に起動し、[送信先FAX] で指定した番号に、FAXを送信します。

FAX内容の保存

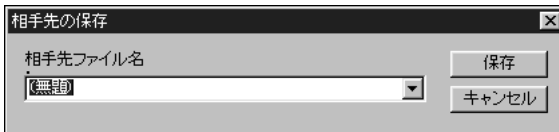
入力したFAX内容は、ファイル（「相手先ファイル」と呼びます）に保存できます。ファイルに保存しておけば、後で呼び出して、件名や用件など、変更のある部分だけを書き換えて送信できます。



操作 [ファイル] の [名前を付けて保存] を選択します。



確認 「相手先の保存」ダイアログが表示されます。



操作 ファイル名を入力して、**保存** をクリックします。



ここでは、ファイル名の指定ができるだけで、フォルダの指定はできません。

保存されているFAXファイルの呼出し



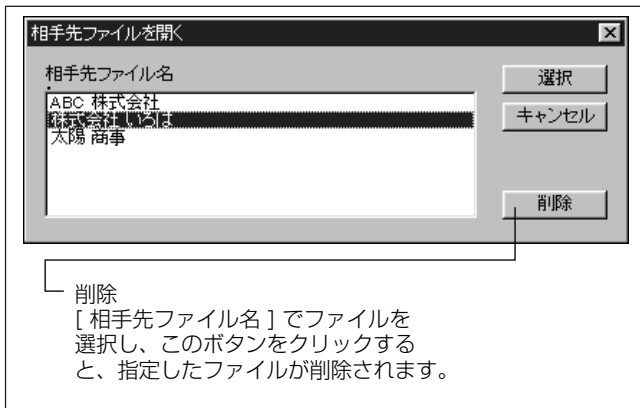
操作

「ファイル」－「相手先ファイルを開く」を選択します。



確認

「相手先ファイルを開く」ダイアログが表示されます。



操作

ファイル名を選択し、**選択** をクリックします。

必要に応じて、FAX内容を書き換えて送信してください。
書き換えた内容を同じファイルに上書き保存する場合は、
「ファイル」－「上書き保存」を選択します。

オプション設定

必要に応じて、FAX文書のフォントや画面表示などを変更できます。

■フォントを変更する

FAX文書のフォントを変更できます。設定の対象は、タイトル文字も含めた、FAX文書全体の文字で、各項目ごとに異なるフォントを設定することはできません。また、設定したフォントのサイズによって、各項目に入力できる文字数は変わります。つまり、小さい文字を設定しておけば、入力できる文字数は多くなります。



操作 [オプション] - [フォントの設定] を選択します。



確認 「フォントの設定」ダイアログが表示されます。

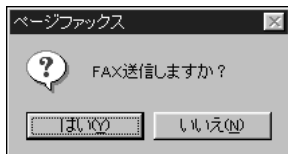


操作 [フォント名]、[スタイル]、[サイズ] を選択し、
設定 をクリックします。

FAX文書のすべての文字が、指定したフォントになります。

■送信直前の確認画面の表示／非表示を切り替える

 をクリックしたときに、確認の画面を表示することも非表示にすることもできます。



「操作」の「送信直前の確認画面」を選択します。

確認画面の表示／非表示が切り替わります。メニューにチェックマークが付いているとき、確認の画面が表示されます。

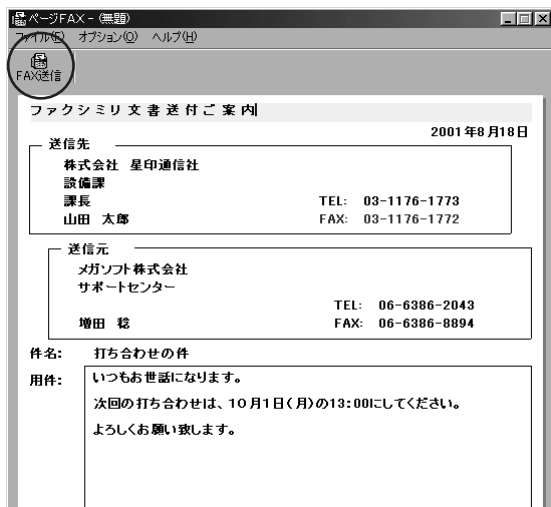
■FAX送信ボタンの表示／非表示を切り替える

「FAX送信」ボタンを、画面上に表示することも非表示にすることもできます。



「オプション」－「FAX送信ボタン」を選択します。

 の表示／非表示が切り替わります。メニューにチェックマークが付いているとき、 が表示されます。



■常に最新の送信元を使用する

「送信元」には、「STARFAX環境設定」の「ユーザー情報」に登録している情報が自動表示されますが、これは変更することもできます。「送信元」を変更してファイルに保存した場合、次に呼び出したときに、変更した送信元情報を表示するのか、「STARFAX環境設定」の「ユーザー情報」に登録している情報を表示するのを選択できます。

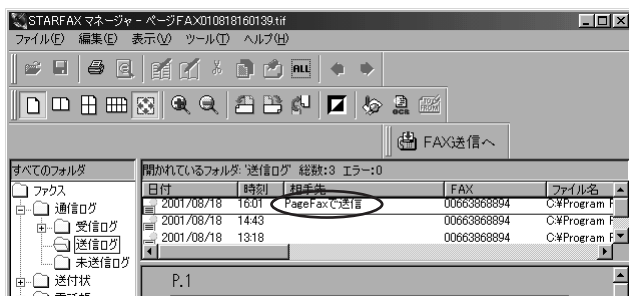
「オプション」の「常に最新の送信元を使用する」にチェックマークが付いているとき、「STARFAX環境設定」の「ユーザー情報」に登録している情報が常に表示されます。チェックマークが付いていないとき、変更した送信元情報が表示されます。



「ユーザー情報」に複数の送信元情報を登録している場合は、選択されている差出人情報が表示されます。

■その他の設定

STARFAXマネージャの「送信ログ」には、送信したFAXが記録されています。ページFAXでFAXを送信した場合、この「送信ログ」の「相手先」欄に表示する情報を選択できます。たとえば、「PageFaxで送信」と表示したり、氏名と件名を表示することができます。



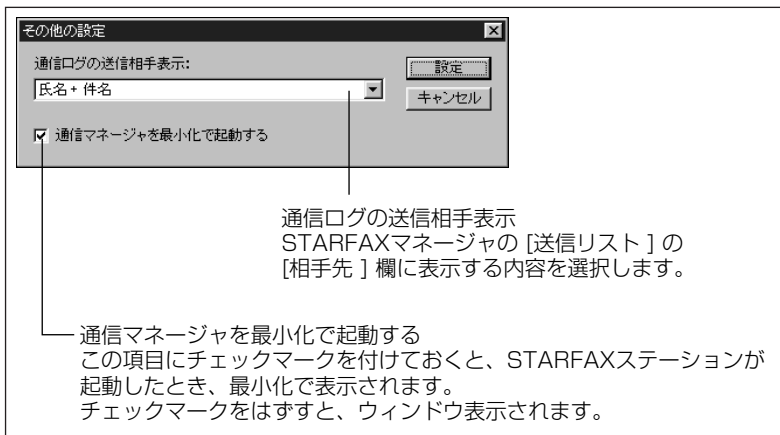
また、「ページFAX」の画面から  をクリックしたときに自動起動するSTARFAXステーションを、ウィンドウ表示にするか、最小化で表示するかを選択できます。



ページFAXの「オプション」－「その他の設定」を選択します。



「その他の設定」ダイアログが表示されます。



「通信ログの送信相手表示」と「通信マネージャを最小化で起動する」を設定し、 をクリックします。

STARFAX自動転送

STARFAX自動転送は、受信したFAXを、他のファクシミリ機やインターネットメールやプリンタに自動転送できます。FAXを受信したことを知らせるメッセージ（たとえば、「FAXヲジュシンシマシタ」）を、ポケベルや「きゃらメール」、「Pメール」、「スカイウォーカー」、「文字サービス」などに対応した携帯電話・PHSに送ることもできます。

留守中や夜間に、別のファクシミリ機やインターネットメールに転送したり、受信と同時にプリンタで普通紙印刷したり、アイデア次第で様々な利用が可能です。

また、STARFAX自動転送は、受信したすべてのFAXを自動転送することも、特定の相手からのFAXだけを自動転送することもできます。

例えば、

- ・ 受信したすべてのFAXをプリンタで自動印刷する
- ・ A社からのFAXは、別のファクシミリ機に転送する
- ・ B社からのFAXは、インターネットメールに転送する

といった使い方も可能です。この場合、A社からのFAXは、プリンタで印刷されると同時に、別のファクシミリ機にも転送されます。B社からのFAXは、プリンタで印刷されると同時に、インターネットメールにも転送されます。

自動転送を実行するには、まず、どのFAXをどこに転送するのかを設定する必要があります。

受信したすべてのFAXを自動転送する設定

受信したすべてのFAXを自動転送したい場合は、以下の手順に従って、どこに転送するのかを設定します。



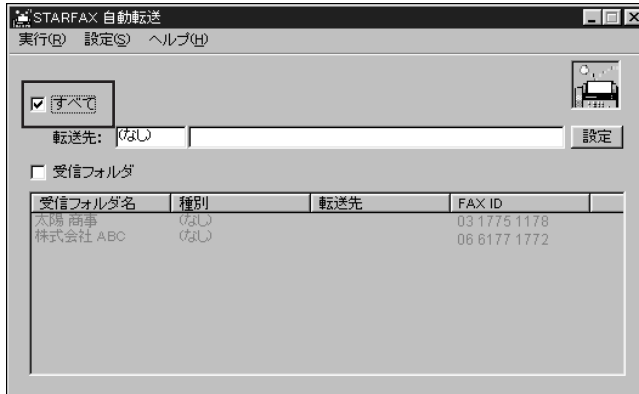
Windows [スタート] - [プログラム] - [STAR-FAX2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX自動転送] を選択します。



「STARFAX自動転送」が起動します。



受信したすべてのFAXを転送するために、[すべて]にチェックを入れます。



「設定」をクリックします。



「すべて」の転送先の設定」ダイアログが表示されます。



補足
[種別] で選択したものによって、ダイアログ内の設定項目は変わります。

受信したFAXをどこに転送するかを設定します。

■別のファクシミリ機に転送する場合

【種別】で【FAX】を選択した後、【通信経路】を選択し、【FAX番号】に転送先のFAX番号を入力します。

■インターネットメールに転送する場合

【種別】で【FAX】を選択した後、【通信経路】で【インターネット】を選択し、【FAX番号】に転送先のメールアドレスを入力します。

■プリンタで自動印刷する場合

【種別】で【プリンタ】を選択した後、【プリンタ名】で出力するプリンタの名前を選択します。

■受信メッセージを、ポケベルや携帯電話に送る場合

【種別】で【ポケベル】を選択した後、【タイトル】で【ポケベル登録】で登録したタイトル名を選択します。



【種別】で【なし】を選択すると、自動転送は行いません。



ポケベルの登録は111ページをご覧ください。



設定が終わったら、**登録**をクリックします。

これで、すべてのFAXの転送先が設定されました。

「STARFAX自動転送」の【転送先】には、設定した転送種別と転送先が表示されています。

特定の相手からのFAXを自動転送する設定

特定の相手からのFAXを自動転送するためには、あらかじめ、STARFAXマネージャの「通信ログ」で受信エージェントフォルダを作成しておく必要があります。その後、STARFAX自動転送で、特定の相手からのFAXを、どこに自動転送するのかを設定します。

受信エージェントフォルダには、特定の相手から受信したFAXだけが記録されますので、そのFAXを、STARFAX自動転送が、指定された転送先に転送します。



STARFAXマネージャを起動し、受信エージェントフォルダを作成します。



受信エージェントフォルダの作成方法については、68ページをご覧ください。

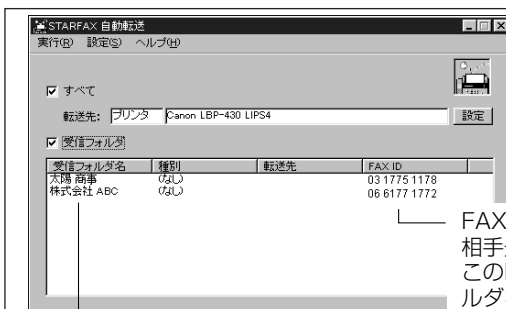


Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX自動転送] を選択します。



「受信フォルダ」にチェックを入れます。

特定の相手からのFAXを転送するためです。



受信フォルダ名
STARFAXマネージャで作成した受信エージェントフォルダの名前です。

FAX ID

相手先の識別に使用されるIDです。
このIDは、STARFAXマネージャで受信エージェントフォルダを作成したときに自動的に設定されています。
FAX IDは、ファクシミリ機ごとに設定されている必要があります。
相手のファクシミリ機にIDが設定されていない場合、受信エージェント機能、特定の相手からのFAXの自動転送機能は利用できません。



「受信フォルダ名」欄のフォルダ名をダブルクリックします。



「○○の転送先の設定」ダイアログが表示されます。



「種別」で選択したものによって、ダイアログ内の設定項目は変わります。



転送先を設定します。



登録 をクリックします。

これで、指定した相手からのFAXの転送先が設定されました。「STARFAX自動転送」の下部のリストボックスには、設定した転送種別と転送先が表示されています。

別の受信フォルダに対して自動転送を設定する場合は、[受信フォルダ名] 欄のフォルダ名をダブルクリックする操作から繰り返します。

ポケベルの登録

FAXを受信したことを知らせるメッセージを、ポケベルや携帯電話に送る場合、ポケベルの電話番号や送信するショートメッセージなどを登録しておく必要があります。

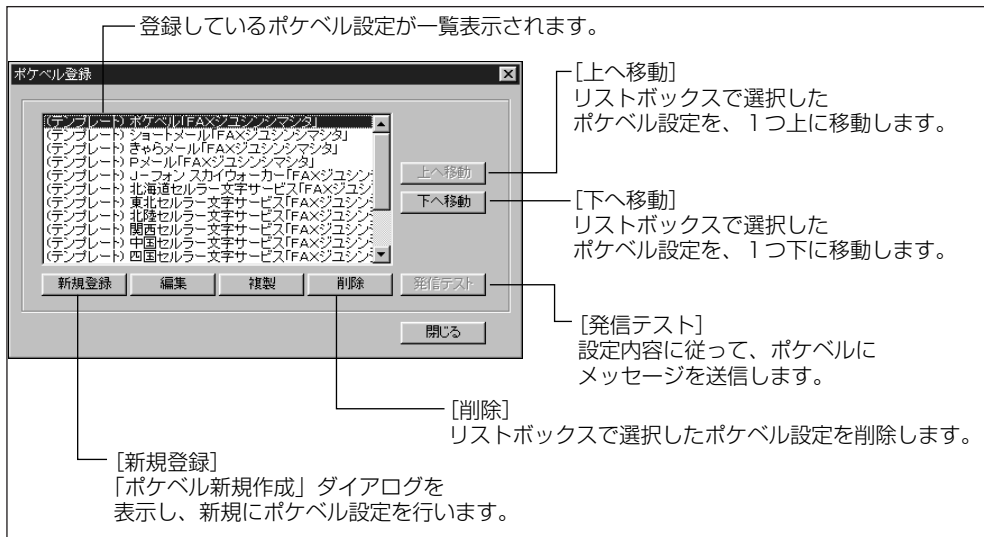
ここでは、テンプレートを複製し、編集して登録する方法を説明します。テンプレートを使用せずに、[新規登録] することもできます。



操作 [設定] - [ポケベル登録] を選択します。



確認 「ポケベル登録」ダイアログが表示されます。



操作 リストボックスから、適当なテンプレートを選択します。



操作 **複製** をクリックします。

選択したテンプレートがコピーされ、リストの一番下に表示されます。



複製したテンプレートが選択されていることを確認します。



編集 をクリックします。



「ポケベル設定編集」ダイアログに、テンプレートが表示されます。



各項目を設定し、新しいタイトルをつけます。

タイトル
ポケベル設定の名前を入力します。

発信元
ポケベルの電話番号、または携帯電話のサービスセンターなどの電話番号を入力します。
STARFAX自動転送は、この電話番号にデータを送信します。

データ
ポケベルや携帯電話にメッセージを送信するためのコマンドを入力します。詳細については、ポケベルや各サービスの取扱説明書を参照してください。

秒
データを送信してから、次のデータを送るまでの待ち時間を設定します。詳細については、ポケベルや各サービスの取扱説明書を参照してください。

入力が必要な行は、先頭のチェックマークを付けてから、各欄に入力します。入力した後、チェックマークをはずすと、その行の設定は無効になります。

登録

キャンセル



登録 をクリックします。



「ポケベル登録」ダイアログに戻り、リストボックスには、登録したポケベル設定が表示されています。



操作

登録したポケベル設定を選択します。



操作

発信テスト をクリックします。



確認

ポケベルに、正しくメッセージが送られることを確認してください。



操作

閉じる をクリックします。

自動転送の実行、中断、終了

自動転送の設定が終わったら、自動転送を実行できます。

■自動転送を実行する



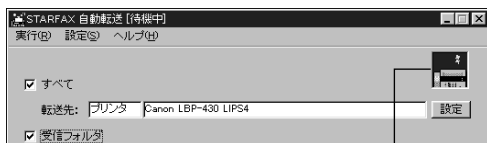
操作 「STARFAX自動転送」を起動します。



操作 「実行」－「受信待機」を選択します。

STARFAXステーションが自動的に起動し、設定した内容に従って、自動転送が実行されます。

このとき、状態表示アイコンは動画表示され、[受信待機]メニューはグレー表示されます。



状態表示アイコン



〔設定〕－〔起動時に自動的に受信待機〕を選択し、チェックマークをつけている場合は、STARFAX自動転送を起動したときに、自動的にSTARFAXステーションが起動し、自動転送が実行されます。

■自動転送を一時的に中断する



操作 「実行」－「中断」を選択するか、動画表示された状態表示アイコンをクリックします。

自動転送を中断したとき、状態表示アイコンは固定表示され、[中断]はグレー表示されます。



自動転送の中断は、FAXの受信を中断するものではありません。自動転送を中断したときに、同時にFAXの受信も中断したい場合は、〔設定〕－〔受信待機中断時にSTARFAXステーションを終了する〕を選択し、チェックマークを付けておきます。このメニューを選択しておくこと、自動転送を中断したときに、STARFAXステーションも自動的に終了します。

■自動転送を終了する



操作

[実行] - [終了] を選択します。



補足

自動転送の終了は、FAXの受信を終了するものではありません。自動転送を終了したときに、同時にFAXの受信も終了したい場合は、[設定] - [受信待機中断時にSTARFAXステーションを終了する] を選択し、チェックマークを付けておきます。このメニューを選択しておく、自動転送を終了したときに、STARFAXステーションも自動的に終了します。

送付状エディタ

STARFAXで使用する送付状を作成、編集することができます。



Windows [スタート] - [プログラム] - [STAR-FAX2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX送付状エディタ] を選択します。

画面



送付状エディタを起動すると、サンプルの送付状が起動します。

電話帳データから自動差し込みされます。

自動差し込みされます。

送信元情報から自動差し込みされます。

入力、網掛け等編集ができます。

FAX送信のご案内

送信元情報

TEL: (018386-2092)
FAX: (018386-2123)

会社名
部署名
役職名
氏名

メッセージ

送信

2001/07/11 11:31:08

FAX送信時入力できる、[メモ差し込み]に入力されたものが差し込まれます。



送信元情報の登録方法については18ページをご覧ください。
電話帳の作成方法については、74ページをご覧ください。

操作項目

1. ファイル

- | | |
|-------------|--|
| 新規作成 | : 新規に送付状を作成します。 |
| 開く... | : 保存されている送付状ファイル (SFC/CVR ファイル) を開きます。 |
| 上書き保存 | : 現在作業中の送付状ファイルを上書きで保存します。 |
| 名前を付けて保存... | : 現在作業中の送付状ファイルを新しい名前で保存します。 |
| 印刷プレビュー | : ページ全体を表示し、印刷するイメージを確認できます。 |
| 印刷... | : 現在作業中の送付状ファイルを印刷します。 |
| 以前開いたファイル | : 過去編集、保存を行った送付状ファイルを開けます。 |
| 送付状エディタの終了 | : 送付状エディタを終了します。 |

2. 編集

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 元に戻す | : 1 つ前の編集作業を取り消します。 |
| やりなおし | : [元に戻す] 動作を取り消します。 |
| 切り取り | : 選択枠を切り取ります。 |
| コピー | : 選択枠をコピーします。 |
| 貼り付け | : 切り取り、又はコピーした範囲を貼り付けます。 |
| 削除 | : 選択枠を削除します。 |
| イメージファイルを開く... | : イメージファイル名を指定して開きます。 |
| 文字列の編集... | : テキスト枠内の文字列を編集します。 |

3. フレーム

データを差し込むためのフレーム（枠）を作成します。各フレームはマウスでドラッグすることで、位置を移動したり、枠の大きさを変更することができます。

●「フレーム」一覧

差し込みモード : 登録されている電話帳、ユーザー情報を差し込むモードを選択します。

電話帳データ差し込み枠 : 電話帳に登録されている各項目のデータが差し込まれます。

ユーザー情報の差し込み枠 : ユーザー情報に登録されている各項目のデータが差し込まれます。

テキスト枠 : テキスト枠を作成します。枠内に文章を自由に入力することができます。

メモ枠 : メモ枠を作成します。FAX送信時入力できる、[メモ差し込み] に入力されたものが差し込まれます。

日付枠 : 日付枠を作成します。現在の日付が差し込まれます。

時刻枠 : 時刻枠を作成します。現在の時刻が差し込まれます。

原稿枚数の表示枠 : 原稿枚数の表示枠を作成します。FAX送信時、送信される原稿の枚数が差し込まれます。

イメージ枠 : イメージ枠を作成します。枠内に画像等を貼ることができます。

枠線 : 枠線を作成します。

直線 : 直線を引きます。

ページカット位置の設定 : 送付状をカットする位置を指定できます。

手前に配置 : 複数の枠が重なっているとき、選択されている枠を手前に置きます。

後ろに配置 : 複数の枠が重なっているとき、選択されている枠を後ろに置きます。

●サブメニュー

差し込みモード

- 日本語で枠を差し込む : 日本語モードで差し込まれます。
 英語で枠を差し込む : 英語モードで差し込まれます。

電話帳データ差し込み枠

- 一括（簡易） : [会社名] [氏名] [敬称] が差し込まれます。
 一括（普通） : [会社名] [所属名] [役職名] [氏名] [敬称] [電話番号] [FAX 番号] が差し込まれます。
 会社名 : 会社名が差し込まれます。
 所属名 : 所属名が差し込まれます。
 役職名 : 役職名が差し込まれます。
 氏名 : 氏名が差し込まれます。
 敬称 : 敬称が差し込まれます。
 郵便番号 : 郵便番号が差し込まれます。
 住所1 : 住所1が差し込まれます。
 住所2 : 住所2が差し込まれます。
 電話番号 : 電話番号が差し込まれます。



電話帳、ユーザー情報でデータが入力されていない項目は、空欄で表示されます。

ユーザー情報の差し込み枠

- 一括（簡易） : [会社名] [氏名] が差し込まれます。
 一括（普通） : [会社名] [所属名] [役職名] [氏名] [電話番号] [FAX 番号] が差し込まれます。
 会社名 : 会社名が差し込まれます。
 所属名 : 所属名が差し込まれます。
 役職名 : 役職名が差し込まれます。
 氏名 : 氏名が差し込まれます。
 郵便番号 : 郵便番号が差し込まれます。
 住所 : 住所が差し込まれます。
 電話番号 : 電話番号が差し込まれます。
 FAX 番号 : FAX 番号が差し込まれます。

4. 表示

ツールバー

：メニュー中の操作ならびに状態を表示するバーの、表示または非表示を選択できます。



[新規作成] [開く] [上書き保存] [印刷] [印刷プレビュー]
この5項目は [ファイル] の項をご覧ください。



[切り取り] [コピー] [貼り付け]
この3項目は [編集] の項をご覧ください。



[手前に配置] [後ろに配置]
この2項目は [フレーム] の項をご覧ください。



[フォント設定]
フォントを変更します。



[フォントサイズ]
フォントサイズを変更します。



[太字設定]
太字に変更します。
[斜体設定]
斜体に変更します。
[下線設定]
文字に下線を引きます。

ステータスバー : 操作説明、状態の表示または非表示を選択できます。



[操作説明]

マウスカーソルがある場所の操作についての説明が表示されます。



[モード状態]

設定されている差し込みモードが表示されます。

ズーム : 現在作業中の送付状ファイルの拡大／縮小を変更できます。

拡大 : 2倍に拡大表示します。

標準に戻す : 等倍表示します。

縮小 : 1／2倍表示します。

グリッドの表示 : グリッドの表示または非表示を切り替えます。

グリッドサイズ : グリッドの線と線の間隔を25mm／5mm／10mmに設定変更できます。

グリッドへの吸着 : フレームをグリッド線に吸着させます。

プレビュー : 現在作業中の送付状ファイル全体を表示します。



グリッドとは、フレームを揃える際に利用する基準線のことです。

5. 属性

- フォント... : フォントの指定ができます。
- 色の選択 : 色の指定ができます。
- 線種 : 線の種類を、細線／中太線／太線／
極太線／点線／破線の中から選択で
きます。
- 塗り : 網掛けを、なし／5％／10％／15％／
100％の中から選択できます。
- グリッドに吸着 : 一番近いグリッドの位置に移動させ
ます。

6. キー操作

- 矢印キーで移動 : キーボードの矢印キーでフレームを上
下左右に移動することができます。
- 矢印キーでサイズ変更 : キーボードの矢印キーでフレームの大
きさを拡大、縮小できます。

7. ヘルプ

- 目次 : オンラインヘルプを表示します。
- バージョン情報... : バージョン情報を表示します。

住所録コンバータ

STARFAXのファイル形式（SFTファイル）以外で作成された住所録ファイルを、STARFAX電話帳用にコンバートすることができます。

○住所録コンバータの起動



Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] - [STARFAX TOOLS] から [住所録コンバータ] を選択します。

[変換元のファイル]
変換する元ファイルの種類を選択し、使用するファイルが存在する場所を指定します。使用可能ファイルの種類については次項目 [ファイル別操作方法] をご覧ください。

[STARFAXファイル]
作成するSFTファイルを保存する場所、名前を指定します。

[STARFAXの項目]
変換可能な項目が表示されます。

[変換]
編集後クリックし、ファイルを変換させます。

[閉じる]
住所録コンバータを終了します。

[最初の行] [前の行] [次の行]
編集時に使用します。

[変換元ファイルの項目**件目から変換]
変換する元ファイルの項目を指定すると、指定したファイル内容が表示されます。

[項目設定] [項目削除] [全て削除]
変換する元ファイルを、作成するSFTファイルへ変換するために使用する操作ボタンです。

ファイル別操作方法

住所録コンバータでSTARFAX電話帳へインポートできるファイル形式は、筆美人Ver.5 Ver.6/筆まめVer.11/OutlookエクスポートCSV/CSV（カンマ区切りテキスト）/MDB（アクセスのファイル形式）です。

また、CSV、MDB以外は、一括変換が可能です。

・筆美人Ver.5 Ver6

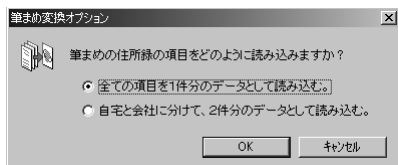


「住所録コンバータ」の「変換元のファイル」－「ファイルの種類」でファイルを選択し **変換** をクリックします。

・筆まめVer.11



変換させたい項目を選択します。



選択後 **OK** をクリックします。



「住所録コンバータ」の「変換元のファイル」－「ファイルの種類」でファイルを選択し **変換** をクリックします。

・OutlookからエクスポートCSVファイル



「住所録コンバータ」の「変換元のファイル」－「ファイルの種類」でファイルを選択し **変換** をクリックします。



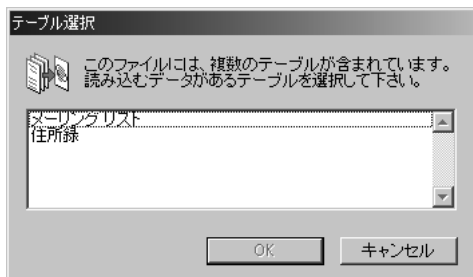
OutlookExpressからのCSVファイルの場合
1件ごとの項目振り分けが必要です。CSV、MDBからの変換項目へ進みます。

・ MDB ファイル



操作

変換させたいテーブルを選択します。



補足

Access 2000/2002は、「旧ファイル形式 (MDB)」で保存したファイルを使用します。



操作

選択後 **OK** をクリックします。



1件ごとの項目振り分けが必要です。CSV、MDBからの変換項目へ進みます。

・ CSV ファイル



1件ごとの項目振り分けが必要です。CSV、MDBからの変換項目へ進みます。

○CSV、MDBからの変換



操作 項目を選択します。



操作 [変換元ファイル] より項目を選択し、対応させたい [STARFAXの項目] をクリックします。



操作 項目を対応させます。



操作 項目設定⇒ をクリックします。



確認 [STARFAXの項目] へ [変換元ファイル] の項目が移動したことを確認します。

ユーティリティプログラム



操作

変換 をクリックします。

STARFAX住所録コンバータ

変換元のファイル
 ファイルの種類: CSV
 ファイル名: クトップメーカー住所録.csv 参照...

STARFAXファイル
 ファイル名: [ASOFT\STARFAX\電話帳.SFT 参照...

変換元ファイルの項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14
 サポート担当者
 564-0053
 大阪府吹田市江の木町1-38
 西谷東急ビル
 81(06)6386-2043
 81(06)6386-8894
 0000FFFF
 めがそふと
 宛
 0000

STARFAXの項目
 会社名 メガソフト株式会社
 所属名 STARFAXサポ
 役職 サポート担当者
 郵便番号 564-0053
 住所 大阪府吹田市江の木
 住 1 2
 所 西谷東急ビル
 電話番号 81(06)6386-2043
 F A X 81(06)6386-8894
 ミミ めがそふと
 敬称 宛

項目設定... 項目削除... 全て削除

最初の行 << 前の行 次の行 >> 1 / 3 件

変換 閉じる



文字数がオーバーしている項目がある場合起動します。文字数を修正してください。

項目の修正

「×」の付いている項目の文字数が、多すぎます。
 括弧内の文字数以内に収まるように、修正してください。
 (全角文字は2文字と数えます。)

会社名(68): × MEGASOFT株式会社(メガソフトかひしきがひしゅ)MEGASOFT株式会社

所属名(68):

役職名(68):

フリガナ(68):

氏名(68):

敬称(12):

〒(8):

住所1(68):

住所2(68):

電話番号(12):

FAX番号(12):

☐ 今後、このダイアログを表示しない。(D)
 (文字数の多い項目の後ろは切り捨てられます) [元に戻す(R)] OK 修正しない

STARFAX 住所録コンバータ

変換が完了しました。

OK



確認

完了したことを確認します。

準備

インターネットFAX経由でSTARFAXを送信するには、MAPI対応のメールソフトが必要です。



－ MAPI対応のメールソフト → 設定参照 －

Outlook Express 5/5.5	→ 130ページ
Outlook Express 4	→ 131ページ
Outlook 2002	→ 132ページ
Outlook 2000	→ 132ページ
Outlook 98/Outlook 97	→ 134ページ

Outlook Express 5/5.5 の設定



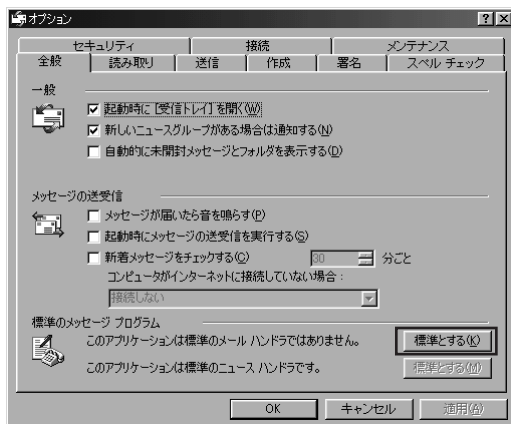
操作 Outlook Expressを起動します。



操作 [ツール]－[オプション]－「全般」タブを開きます。



「このアプリケーションは標準のメールハンドラではありません。」の右の「標準とする(O)」をクリックします。



「このアプリケーションは標準のメールハンドラです。」と
なってボタンがグレーになっている場合は、すでに
MAPIが設定されています。



Outlook Expressは「簡易MAPI」仕様のため、STARFAXとの連携は送信時のみ有効となります。受信したFAX情報付きメールのSTARFAXへの引渡しは行われません。



STARFAXの設定は、136ページをご覧ください。

Outlook Express 4 の設定



操作 Outlook Express を起動します。



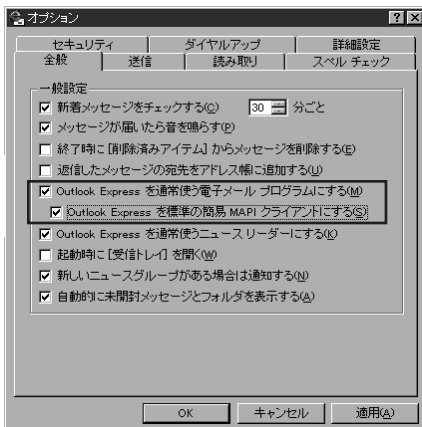
操作 [ツール] - [オプション] - 「全般」タブを開きます。



操作 [Outlook Express を通常使う電子メールプログラムにする] と [Outlook Express を標準の簡易 MAPI クライアントにする] にチェックを入れます。



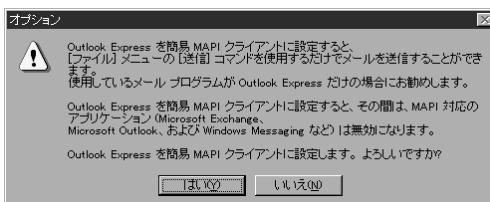
確認



[Outlook Express を標準の簡易 MAPI クライアントにする] にチェックを入れたときに、下図の注意が出た場合、すでに他の MAPI システムが導入されていますので、インターネット FAX を使用することだけが目的の場合は、この設定を行う必要はありません。



Outlook Express は「簡易 MAPI」仕様のため、STARFAX との連携は送信時のみ有効となります。受信した FAX 情報付きメールの STARFAX への引渡しは行われません。



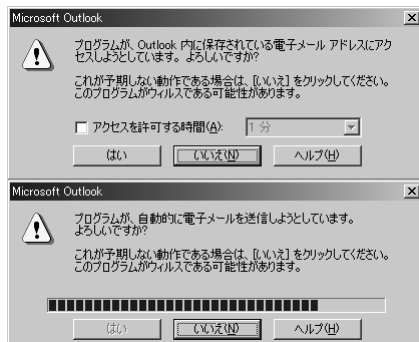
Next Step STARFAX の設定は、136 ページをご覧ください。

Outlook 2002の設定

Outlook 2002はインストール段階で、MAPIシステムがインストールされているので、特別な操作は必要ありません。



Outlook 2002がSTARFAXのようなプログラムからメール機能呼び出されたとき、セキュリティのための以下のような警告メッセージが表示され、処理が一旦中断されます。次の2つの警告画面が出てきますが、いずれも「はい」をクリックすることで、インターネットFAXが送信されます。



STARFAXの設定は、136ページをご覧ください。

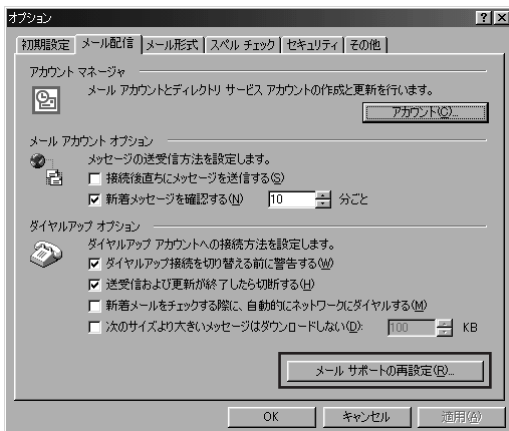
Outlook 2000の設定



Outlook 2000を起動します。



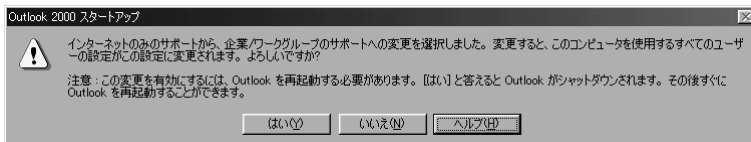
「ツール」 - 「オプション」 - 「メール配信」タブを開きます。



ダイアログ右下の「メールサポートの再設定(R)...」をクリックします。



操作 「企業/ワークグループ」を選択します。



操作 「Outlook 2000 スタートアップ」のアラートが表示されますので、**はい(Y)** をクリックします。



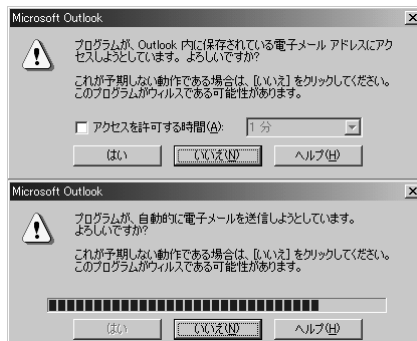
1 台のパソコンを複数の利用者で使っている場合、[[はい]]を選択するとその結果が全員に影響します。



はじめて Outlook 2000 をインストールする時は、「企業ワークグループ」を選択してインストールを進めてください。



Outlook 2000 に SR-1 のセキュリティアップデートを施したものが STARFAX のようなプログラムからメール機能呼び出されたとき、セキュリティのための以下のような警告メッセージが表示され、処理が一旦中断されます。次の 2 つの警告画面が出てきますが、いずれも [[はい]] をクリックすることで、インターネット FAX が送信されます。



操作 STARFAX の設定は、136 ページをご覧ください。

Outlook 98の設定

すでに「企業／ワークグループ」の設定でお使いの場合は、特別な設定は、不要です。

現在お使いの設定が「企業／ワークグループ」でない場合、以下の手順が必要です。



操作 Outlook 98のインストールディスクをセットします。



操作 インストーラ画面を [X] をクリックして終了させます。



操作 Windows [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を開きます。



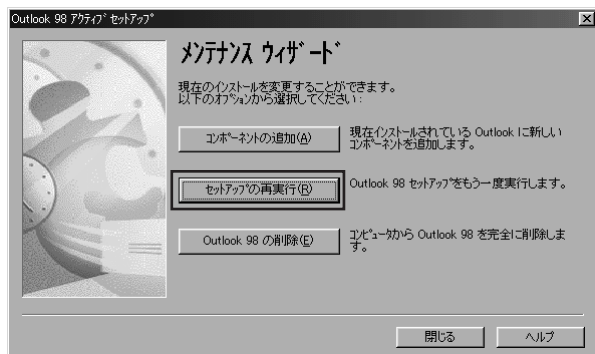
操作 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。



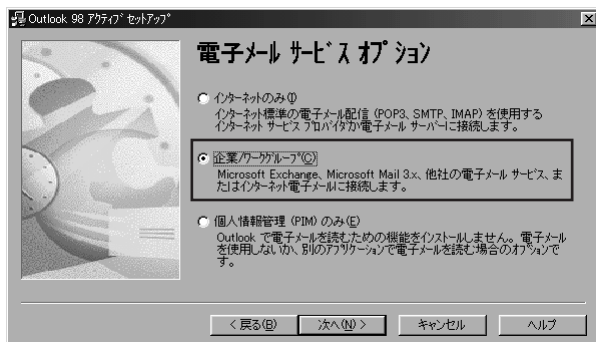
操作 「インストールと削除」 タブを選択します。



操作 「Microsoft Outlook 98」を選択し、[追加と削除] をクリックします。



操作 「メンテナンス ウィザード」で、**セットアップの再実行(R)** をクリックします。



「電子メールサービスオプション」で「企業/ワークグループ」を選択します。



STARFAX の設定は、136 ページをご覧ください。

Outlook 97 の設定

Outlook 97 はインストール段階で、MAPI システムがインストールされているので、特別な操作は必要ありません。



STARFAX の設定は、136 ページをご覧ください。

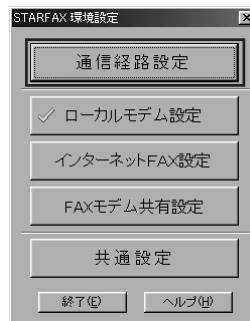
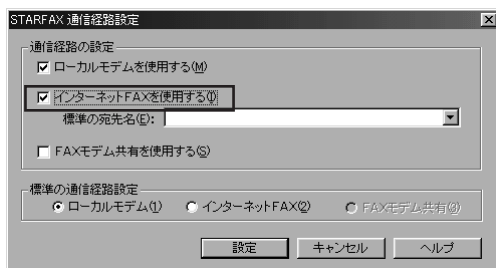
STARFAXの環境設定



Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX 2002] - [STARFAX 環境設定] を選択します。



通信経路設定 を選択します。



〔標準の宛先名〕は入力の必要はありません。



〔インターネットFAXを使用する〕にチェックを入れ、**設定** をクリックします。



- 『Arcstar InternetFAX』 (NTTコミュニケーションズ (株)) のゲートウェイサービスを使用する場合



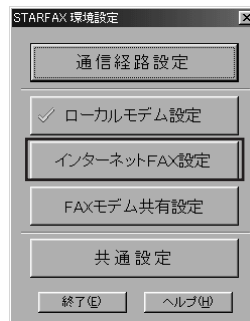
STARFAX 99 Enterpriseのゲートウェイ機能を使用する場合の設定は、140ページをご覧ください。



[STARFAX 環境設定] の画面に戻ります。



インターネットFAX設定 をクリックし、「インターネットFAX」タブを選択します。





操作 「作成(A)」をクリックします。



操作 [プロフィール作成] ダイアログで「(テンプレート) Arcstar InternetFAX」を選択します。



操作 「OK」をクリックします。

インターネットFAX

▲ #useridが123456789、#passwdがpasswordの場合の例



メッセージ欄の#userid、#passwdにNTTコミュニケーションズ（株）から契約時に通知された文字列を入力します。その他の部分は変更しません。



OK をクリックします。



適用(A) をクリックした後、**OK** をクリックします。



設定項目の詳細については、ヘルプファイルをご覧ください。



インターネットFAXで送信するは、142ページをご覧ください。

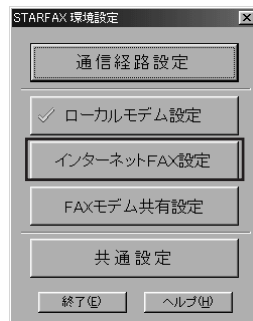
STARFAX 99 Enterpriseのゲートウェイ機能を使用する場合



操作 [STARFAX 環境設定] の画面に戻ります。



操作 インターネットFAX設定 をクリックし、「インターネットFAX」タブを選択します。



補足

すでにSTARFAX99 Enterpriseを導入されていて、ゲートウェイ機能が稼働している場合に、同ゲートウェイ機能を使用するための設定です。



操作 作成(A) をクリックします。



操作 [プロフィール作成] ダイアログで「(テンプレート)STARFAX」を選択します。



操作 OK をクリックします。



メールアドレス欄の「インターネットメールのアドレスを指定」を選択し、STARFAX 99 Enterpriseにメールを届けるためのメールアドレスを入力します。その他の部分は変更しません。



画面上のメールアドレス
「gateway@ifax.megasoft.co.jp」

は例です。

ご使用のSTARFAX 99 Enterprise
の実際のメールアドレスは、ゲート
ウェイシステムの管理者等にお尋ね
ください。



OK をクリックします。



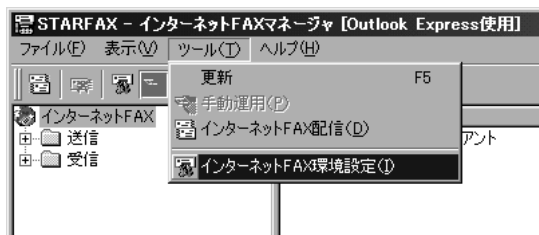
適用(A) をクリックした後、OK をクリッ
クします。

操作

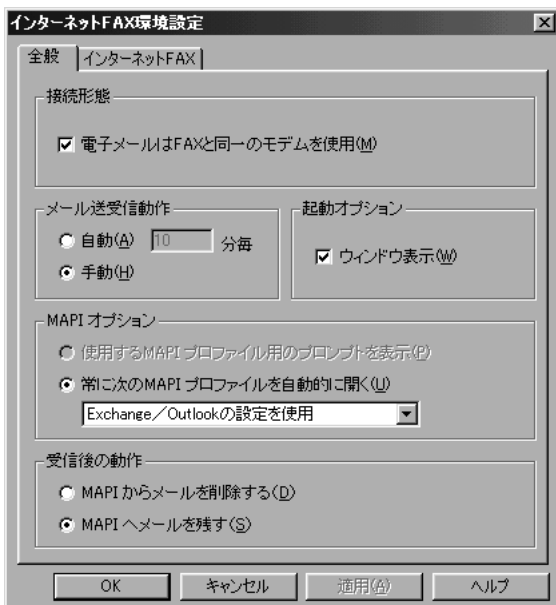
インターネットFAXでの送信



Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX 2002] - [STARFAX TOOLS] - [インターネット FAX マネージャ] を起動します。



[ツール] - [インターネットFAX環境設定] を選択します。



『Arcstar InternetFAX』などのゲートウェイサービスを従量課金の電話回線などを經由して利用する場合は、メールの送受信動作は「手動」を選択してください。「自動」の場合、設定された間隔でインターネット回線を使用します。



「接続形態」、「メール送受信動作」など、環境に応じた設定をします。



設定が完了したら、**適用(A)**、**OK** をクリックします。

インターネットFAX



操作 [ファイル] - [閉じる] を選択します。



操作 タスクトレイに「インターネットFAX マネージャ」が常駐したことを確認します。



操作 Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX 2002] - [STARFAX ステーション] を起動します。



操作 通信経路の「I-FAX」をクリックします。





原稿のセットや宛先の指定を通常のFAX送信と同様に進め、 をクリックします。



タスクトレイの「インターネットFAXマネージャ」をダブルクリックします。



「インターネットFAXマネージャ」が開きます。



「ツール」 - 「インターネットFAX配信」をクリックします。



メールの送受信動作を「手動」で設定している場合は、以下の操作が必要です。



この操作で、FAXデータがメールソフトに引き渡されます。メールソフトの設定によっては、さらにメールの送受信の操作を行う必要があります。

インターネットFAXでの受信

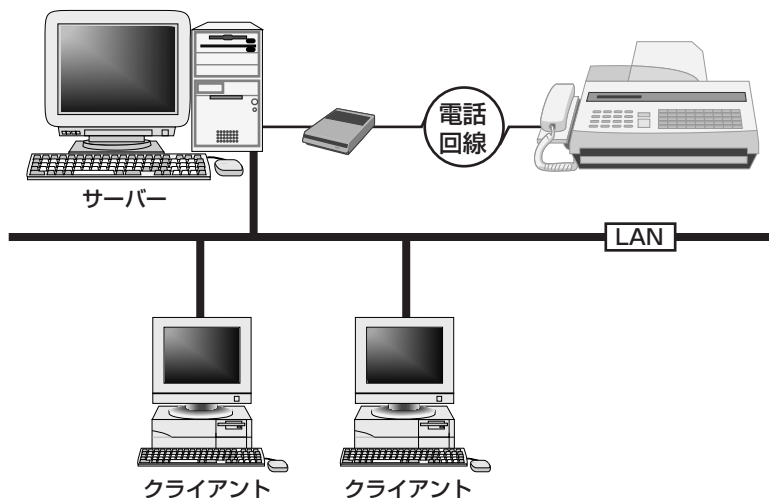
以下の条件が整っている時、STARFAXでインターネットFAXを受信することができます。

- ・送信元がインターネットFAXを送信できるゲートウェイまたは機器を使用していること。
- ・MAPI対応メールソフトが起動しており、同時にインターネットFAXマネージャが起動していること。
- ・該当する受信メールが、メールソフト上でインターネットFAXが引き取り動作を行う前に開封済みになっていないこと。



Outlook Expressなど簡易MAPIソフトは、受信時の引き渡し動作に対応しないため、インターネットFAXの受信はできません。

FAXモデムが接続された1台のパソコンを共有し、複数のパソコンからFAXの送信を行うことができます。



受信したFAXは、サーバー用パソコンに保存されますので、クライアントのパソコン上で受信FAXを確認することはできません。



カラーFAX通信をする場合、サーバー用パソコンにSTARFAX2002がインストールされている必要があります。

STARFAX旧製品がサーバー用パソコンにインストールされている場合はカラーFAX通信はできません。

準備

- ・イーサネット接続で、フォルダ共有ができるネットワーク
- ・サーバー機とクライアント台数の合計分のライセンスKEYID
- ・フルアクセスモードの共有フォルダ（サーバー機のディスク上）を事前に用意します。



共有設定は各フォルダのプロパティから行います。アクセスの種類（許可）は「Everyone、フルアクセス」モードにします。なお、NT系OSでNTFSでフォーマットされているディスク上に作成する場合は、[セキュリティ] タブでの「Everyone、フルコントロール」の設定も必要です。

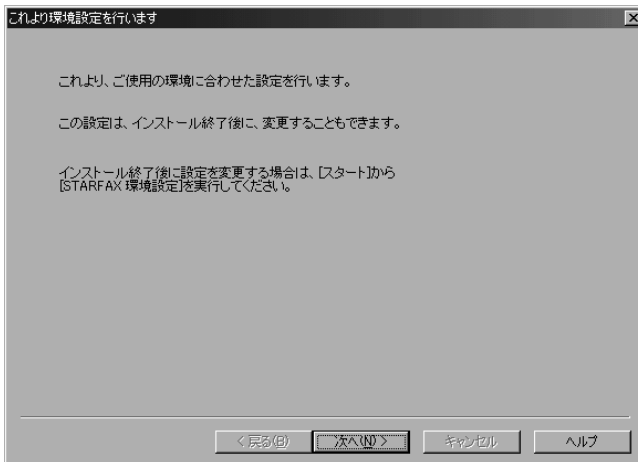


図の例では、パッケージ製品の他、2台分の追加ライセンスKEYID（別売）が必要です。ライセンスKEYIDはメガソフトホームページ (<http://www.megasoft.co.jp/keyshop/index.html>) よりオンラインで購入することができます。

サーバーの設定



サーバーとして利用するパソコンにFAXモデムを接続し、STARFAX2002のパッケージに入っているCD-ROMでインストールを進め、下の画面で「次へ(N)>」をクリックします。



ここでの設定はインストール後「環境設定」で、いつでも変更することができます。



FAXモデム共有機能を使用する場合、サーバー機側で以下の設定を行う必要があります。
この設定を行っていない場合、クライアント機からアクセスすることができません。

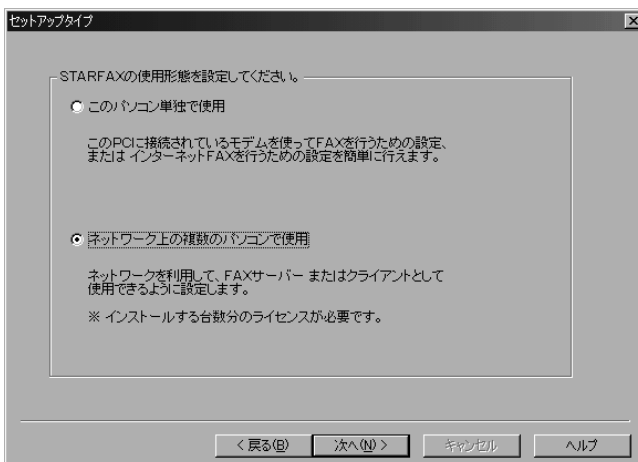
- サーバー機のディスク上にフルアクセスモードの共有フォルダを作成する。
- サーバー機の【STARFAXライセンス登録】でクライアント機のKEYIDを登録する。
- サーバー機で【STARFAXサーバーマネージャ】を起動する。



Next Step ▶ クライアントの設定は、153ページをご覧ください。

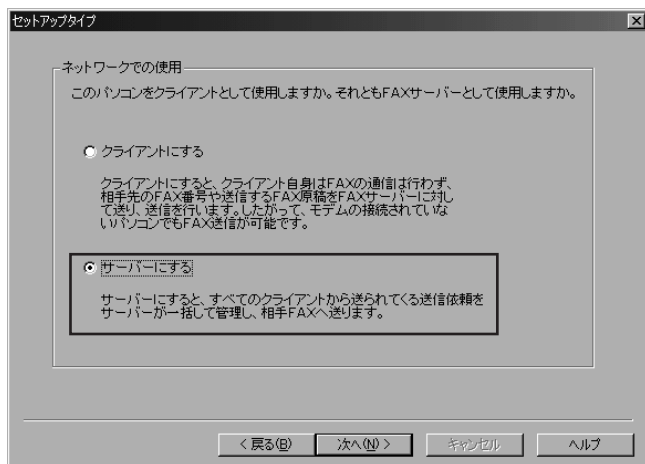


「ネットワーク上の複数のパソコンで使用」を選択します。

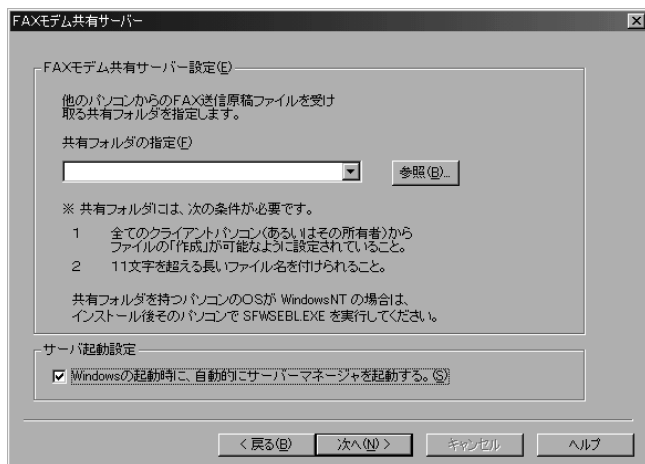




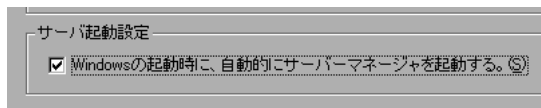
操作 [サーバーにする] を選択します。



操作 クライアントに共有させるローカルフォルダを指定します。



操作 Windows起動時にサーバー機能を常駐させたい時は、「サーバー起動設定」の「Windowsの起動時に、自動的にサーバーマネージャを起動する。」にチェックを入れます。

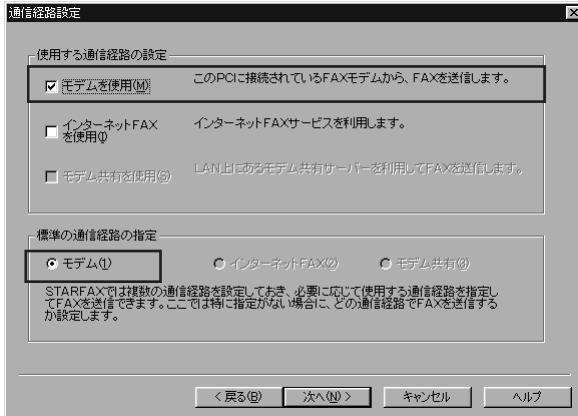


補足

この設定は、[STARFAX 環境設定] - [FAXモデム共有設定] - [FAXモデム共有サーバー] タブから「サーバー起動設定」で変更することができます。



「使用する通信経路の設定」の「モデムを使用」にチェックを入れ、「標準の通信経路の指定」の「モデム」を選択します。



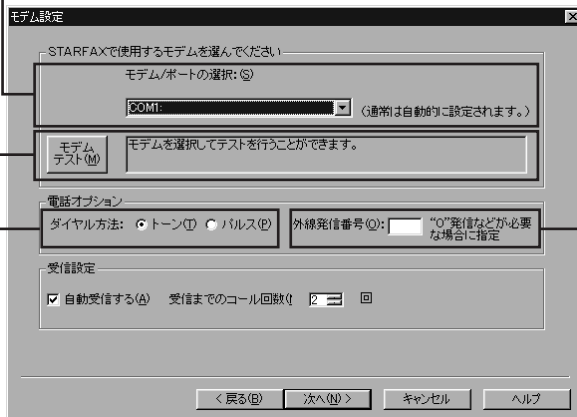
使用するモデムを選択しておきます。

【モデムテスト】

選択されている FAX モデムが利用可能かどうか確認します。

【モデム / ポートの選択】

パソコンに接続している FAX モデムの種類を選択します。



【ダイヤル方法】

FAX モデムに接続されている回線の種類に合わせて選択します。

【外線発信番号】

外線発信番号が必要な回線に FAX モデムが接続されている場合に番号を入力します。



以降、発信元情報などの設定は画面に沿って、進めてください。



補足

選択されたモデムが使用可能かどうか[テスト]を実行して確認しておく事をお薦めします。



[外線発信番号]欄に、不必要な番号を入力すると送信先に正しくダイヤルできなくなります。
「0 発信」などの外線発信番号が必要な場合は、空欄にしておきます。



NTT DoCoMoのPHSをご利用の場合、[ダイヤル方法]で[パルス]を選択してください。



マニュアルの画面上で選択されているモデムは例です。
実際にパソコンに接続されている FAX モデムを選択してください。



Windows [スタート] – [STARFAX 2002] – [STARFAX TOOLS] – [STARFAXライセンス登録] で、使用するクライアント数に対応したKEYIDを追加登録します。



サーバー機では、クライアント数を、STARFAXサーバーマネージャのクライアント名の数でカウントしています。接続するクライアント数がKEYIDの範囲内にも関わらず、パソコンを入れ替えたり、コンピュータ名を変更したために、接続できなくなった時は、[STARFAXサーバーマネージャ]の通信ログを削除することで、対処することができます。



STARFAXサーバーマネージャの起動方法は、Windows [スタート] – [STARFAX2002] – [STARFAX-TOOLS] – [STARFAXサーバーマネージャ] を選択します。



FAXモデム共有機能を使うには、上記設定完了後サーバー上で「サーバーマネージャ」が起動している必要があります。

クライアントの設定



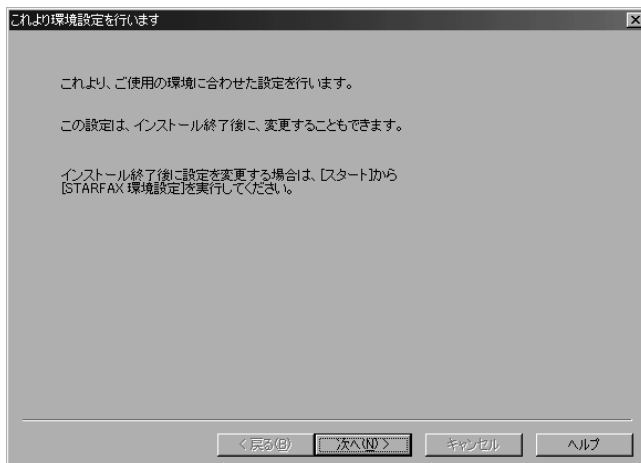
クライアントとして利用するパソコンに、STAR-FAX2002のパッケージに入っているCD-ROMでインストールをはじめます。KEYIDの入力では、追加購入したKEYIDを入力します。



クライアントの設定をする際、事前にサーバーの設定を完了し、STAR-FAXサーバーマネージャを起動している状態で、設定作業を進めてください。



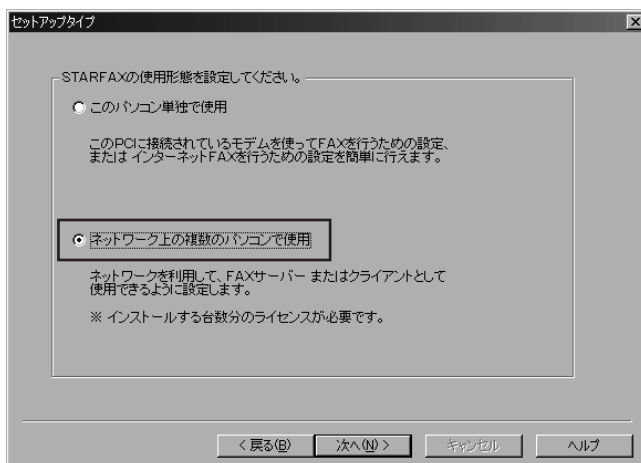
下の画面で **次へ(N) >** をクリックします。



以降の設定はインストール後「STARFAX環境設定」で、いつでも変更することができます。

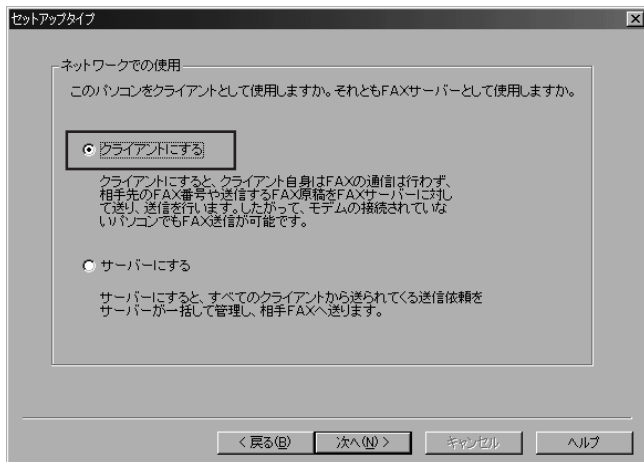


「ネットワーク上の複数のパソコンで使用」を選択します。

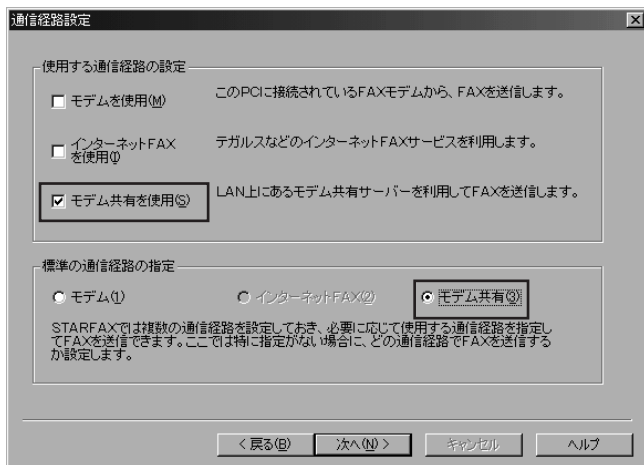




操作 [クライアントにする] を選択します。

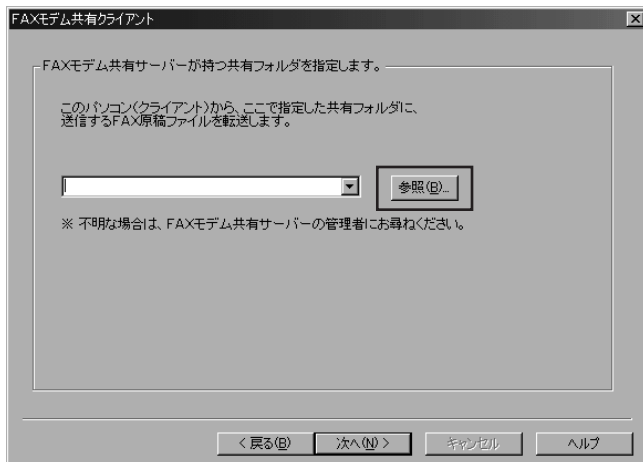


「使用する通信経路の設定」の[モデム共有を使用]にチェックを入れ、「標準の通信経路の指定」の[モデム共有]を選択します。





操作▶ サーバー機で作成した共有フォルダを指定します。



操作▶ 正しく、共有設定が行われていれば、ネットワークコンピュータから選択できます。



補足
FAXモデム共有機能を利用した送信は、通信経路として、[SERVER]を選択するのみで、その他の送信操作に違いはありません。なお、FAXモデム共有での送信では、送信中の状態は、[STARFAXステーション]には反映しません。送信結果は、クライアントの「送信ログ」で確認することができます。

STARFAXのアンインストール

STARFAX2002のアンインストール方法を説明します。

アンインストールに先立って、STARFAX2002で使用していたデータのバックアップや、STARFAXメニューの登録を削除する必要があります。アンインストールの際は、下記をご確認の上、十分注意して実行してください。

データのバックアップ

アンインストールする前にデータをバックアップしておく、それまで使用していたデータを再インストール後も引き続き利用できます。

「バックアップできるデータ」

電話帳

拡張子が「*.SFT」のファイルまたは、独自で用意された「*.CSV」の電話帳ファイル。通常は、C:¥Program Files¥MEGASOFT¥STARFAX2002に保存されています。

送信原稿

拡張子が「*.SFD」「*.SFP」「*.SFE」「*.SFQ」「*.LNK」「*.SFS」「*.SFV」「*.SFC」「*.CVR」のファイル。通常は、C:¥Program Files¥MEGASOFT¥STARFAX2002¥TXDATAに保存されています。

受信原稿

拡張子が「*.SFD」「*.SFE」のファイル。通常は、C:¥Program Files¥MEGASOFT¥STARFAX2002¥RXDATAに保存されています。

送受信ログ

「SFW_log.bin」ファイル。送信原稿、受信原稿を「STARFAXマネージャー」の「送信ログ」「受信ログ」で表示させるためのファイルです。通常は、C:¥Program Files¥MEGASOFT¥STARFAX2002に保存されています

自作送付状

拡張子が「*.SFC」「*.CVR」のファイル。（*は作成時に付けられたファイル名）通常は、C:¥Program Files¥MEGASOFT¥STARFAX2002¥COVERPAGEに保存されています。



バックアップしたデータを使用するには、それぞれを元の場所へ戻します。

違う場所へ配置するとSTARFAX2002から認識することができませんので、ご注意ください。

STARFAXメニューの削除

STARFAXメニュー for Word、STARFAXメニュー for Excelをアンインストールする前にSTARFAXメニューのマクロ登録を削除しておく必要があります。



STARFAXメニュー for Wordの削除手順は84ページをご覧ください。

STARFAXメニュー for Excelの削除手順は90ページをご覧ください。



STARFAXメニュー for Word、STARFAXメニュー for Excel各メニューの削除をせずにプログラムのアンインストールを実行した場合、Word、Excelのマクロへ登録が残ったままになってしまいます。

その場合は、STARFAX2002及び各STARFAXメニューを再インストールをして、マクロの登録を削除する必要があります。

アンインストールの実行



Windows [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックし、[アプリケーションの追加と削除] を起動します。



一覧表から「STARFAX2002」を選択し [追加と削除] をクリックします。



「プログラムを変更、修正、または削除します。」の画面で [削除] を選択し、 をクリックします。



削除が完了したら  をクリックして「コンピュータからプログラムを削除」を完了します。

トラブルシューティング

STARFAXをご使用の上で、問題が発生したときは、下記の手順に従って解決してください。

プリンタドライバ [MEGASOFT STARFAX] 再登録方法

Windows MEの場合

160
ページ

Windows 95/98の場合

165
ページ

Windows XPの場合

170
ページ

Windows 2000の場合

177
ページ

Windows NTの場合

184
ページ

サポートセンターに問い合わせの多い質問

190
ページ



メッセージリスト

216
ページ

■ プリンタドライバ [MEGASOFT STARFAX] 再登録方法

Windows MEの場合

● STARFAXプリンタドライバの登録の開始

STARFAX2002のインストールCD-ROMをパソコンにセットします。



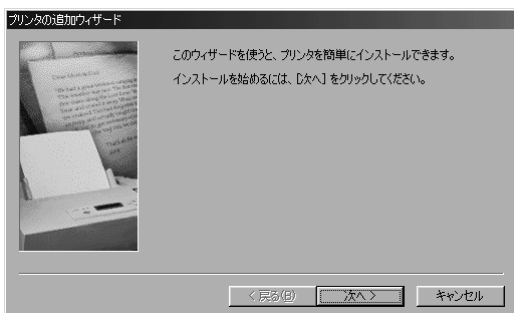
操作

「マイコンピュータ」－「コントロールパネル」－「プリンタ」を開きます。



操作

「プリンタの追加」をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。



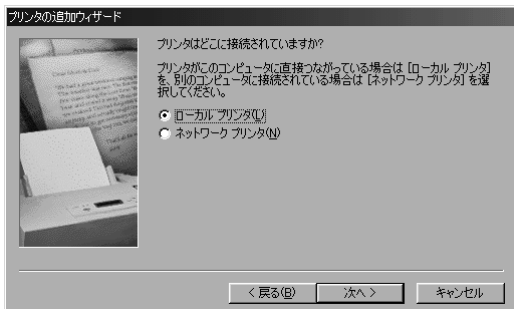
操作

「次へ>」をクリックします。



確認

パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



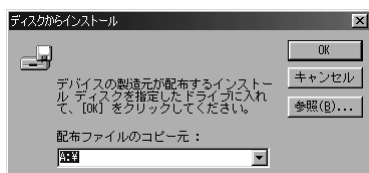
操作

「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ>」をクリックします。



操作

ディスク使用(H)... をクリックします。



操作

参照(B)... をクリックします。



STARFAX プリンタドライバのあるドライブ、フォルダを指定します。



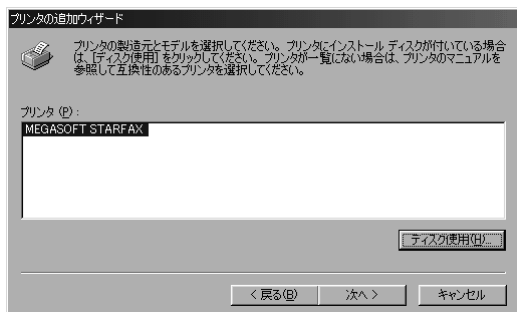
操作

CD-ROM ドライブの中の「Win98」フォルダを開き、OK をクリックします。



操作

「ディスクからのインストール」画面に戻りましたら OK をクリックします。

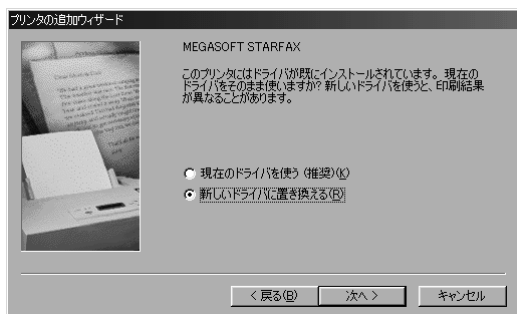


[MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認します。

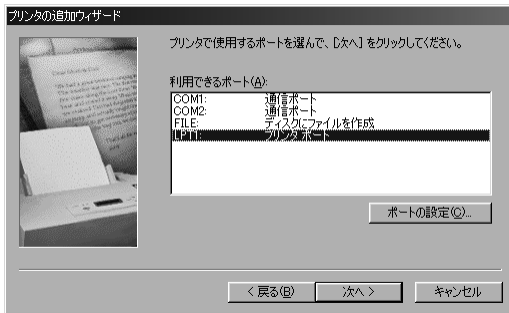


操作 **次へ >** をクリックします。

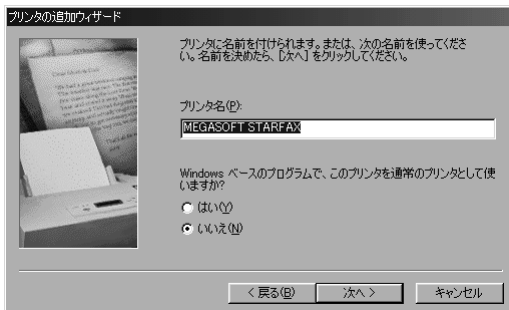
プリンタドライバがすでにパソコンにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。



操作 [新しいドライバに置き換える] を選択し、**次へ >** をクリックします。



「利用できるポート」で [LPT:プリンタポート] を選択し、**次へ >** をクリックします。



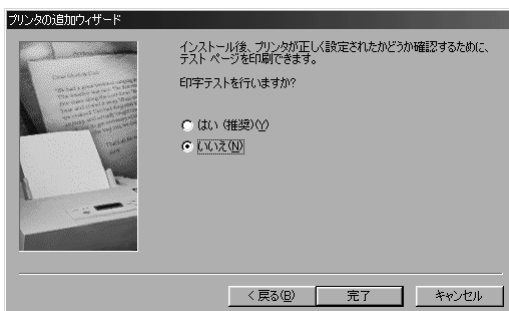
プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ >** をクリックします。

ここで通常使用するプリンタとしてSTARFAX を登録できます。



補足

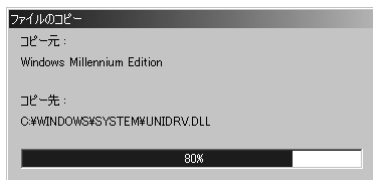
通常は、[いいえ] を選択します。プリンタから印刷するよりも、FAX 送信を行う頻度が多い場合は、[[はい]] を選択します。



印字テストは行わないので [いいえ] を選択し、**完了** をクリックします。



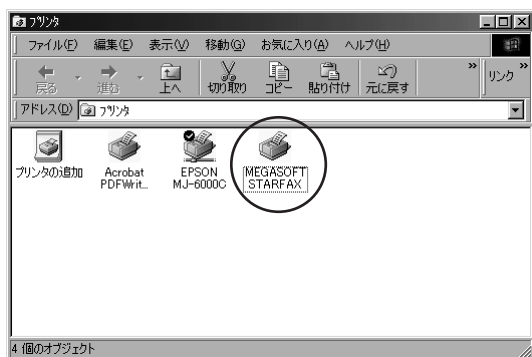
注意
印字テストを行うとエラーになることがあります。



プリンタドライバのコピーが開始されます。
パソコンにコピー中、STARFAX が必要とする
Windows システムのファイルが不足している場合、
Windows ME CD-ROM を要求することがあります。
パソコンの CD-ROM ドライブに挿入し、
 をクリックしてください。



インストールが完了すると、[マイコンピュータ] - [コ
ントロールパネル] - [プリンタ] にSTARFAX プリン
タドライバが追加されます。



Windows 95/98の場合

● STARFAX プリンタドライバの登録の開始

STARFAX2002のインストールCD-ROMをパソコンにセットしておきます。



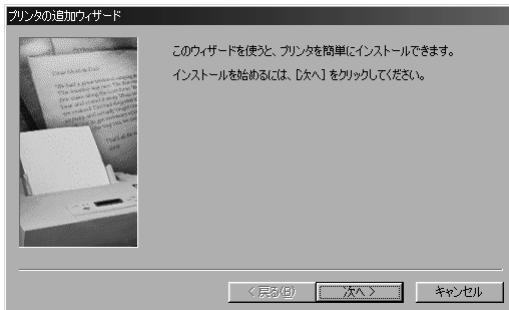
画面はWindows98のものです。



操作 [マイコンピュータ] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を開きます。



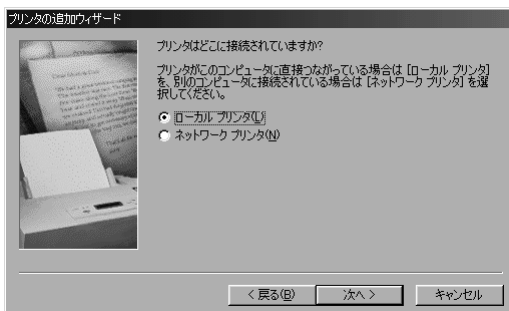
操作 [プリンタの追加] をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。



操作 次へ > をクリックします。



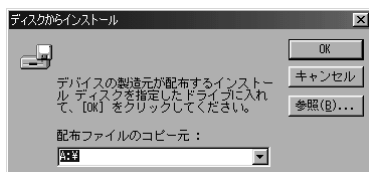
確認 パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



操作 [ローカルプリンタ] を選択し、次へ > をクリックします。



操作 **ディスク使用(H)...** をクリックします。



操作 **参照(R)...** をクリックします。



STARFAX プリントドライバのあるドライブ、フォルダを指定します。



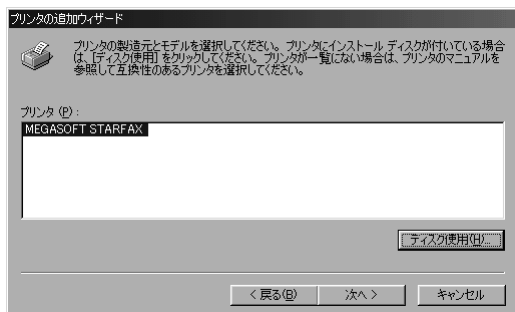
操作 CD-ROM ドライブの中の「Win98」フォルダを開き、**OK** をクリックします。



操作 「ディスクからのインストール」画面に戻りましたら **OK** をクリックします。



ご利用の OS が Windows95 の場合は、CD-ROM ドライブの中の「Win95」フォルダを開きます。

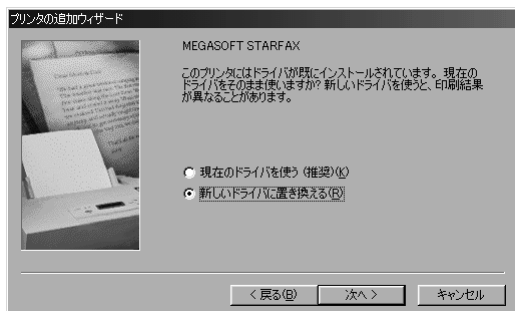


確認 [MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認します。

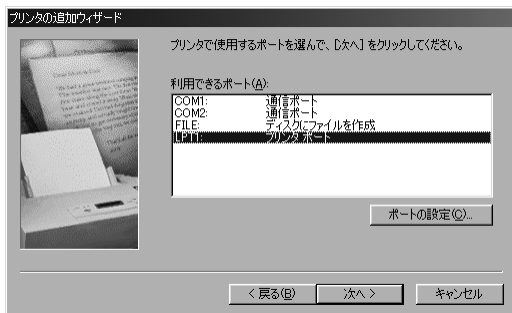


操作 [次へ >] をクリックします。

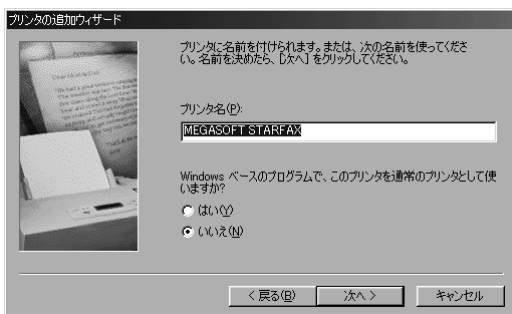
プリンタドライバがすでにパソコンにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。



操作 [新しいドライバに置き換える] を選択し、[次へ >] をクリックします。



「利用できるポート」で [LPT:プリンタポート] を選択し、**次へ >** をクリックします。

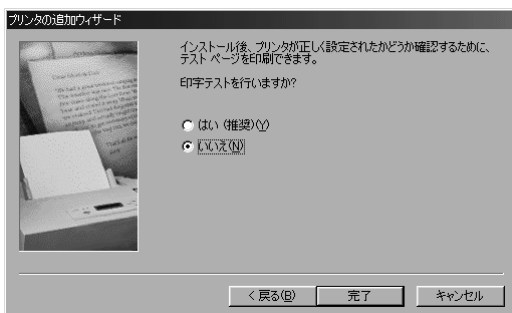


プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ >** をクリックします。

ここで通常使用するプリンタとしてSTARFAXを登録できます。



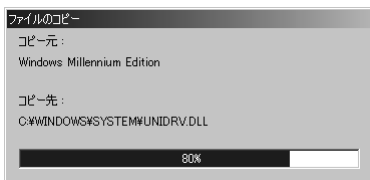
通常は、[いいえ] を選択します。プリンタから印刷するよりも、FAX送信を行う頻度が多い場合は、[はい] を選択します。



印字テストは行わないので [いいえ] を選択し、**完了** をクリックします。



印字テストを行うとエラーになることがあります。



プリンタドライバのコピーが開始されます。
パソコンにコピー中、STARFAXが必要とする
Windows システムのファイルが不足している場合、
Windows 95/98のCD-ROMを要求してくることが
あります。パソコンのCD-ROMドライブに挿入
し、をクリックしてください。



インストールが完了すると、[マイコンピュータ] - [コ
ントロールパネル] - [プリンタ] にSTARFAXプリン
タドライバが追加されます。



Windows XPの場合

●STARFAXプリンタドライバの登録の開始

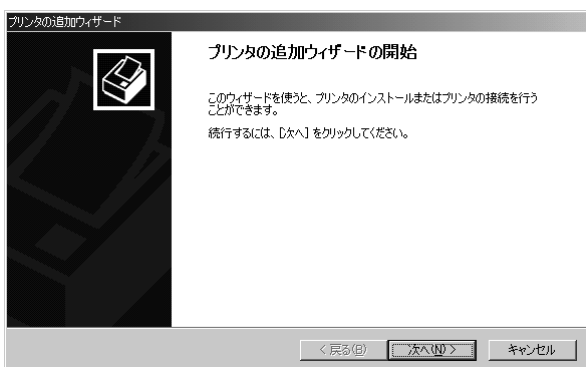
STARFAX2002のインストールCD-ROMをパソコンにセットしておきます。



「マイコンピュータ」－「コントロールパネル」－「プリンタ」を開きます。



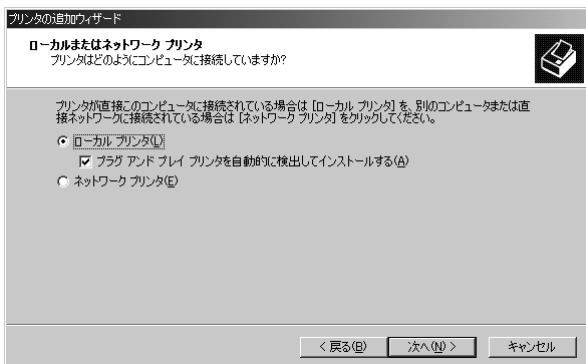
「プリンタの追加」をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。



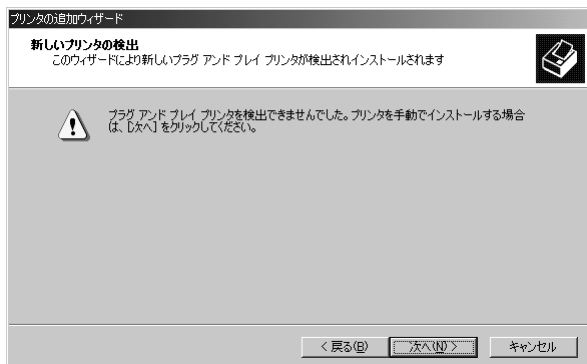
「次へ(N) >」をクリックします。



パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。



「次へ(N) >」をクリックします。

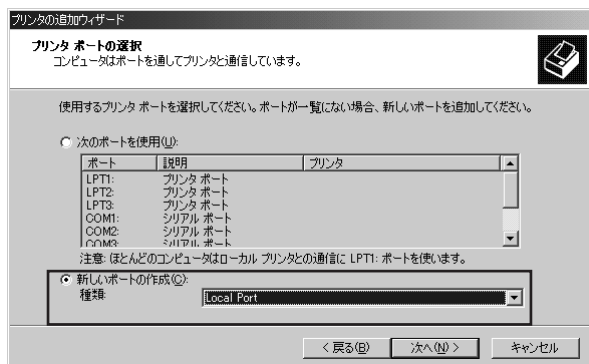


ポート一覧内に [STARFAX] があるか確認します。

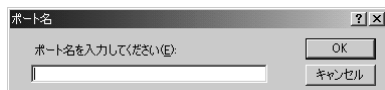


すでにポート一覧に [STARFAX] ポートがある場合は、173ページをご覧ください。

一覧内に [STARFAX] がない場合は、新しく STARFAX 用ポートを作成し、出力先として指定します。



「新しいポートの作成」のラジオボタンを選択し、[種類]の中から [Local Port] を選択し、**次へ(F) >** をクリックします。

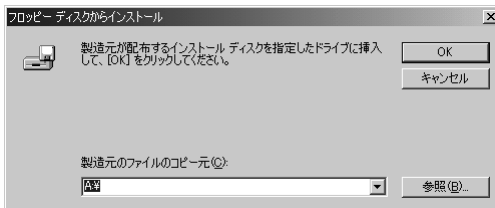


ポート名に [STARFAX] と入力し **OK** をクリックします。





操作 **ディスク使用(H)...** をクリックします。



操作 **参照(R)...** をクリックします。



STARFAX プリンタドライバのあるドライブ、フォルダを指定します。



操作 CD-ROM ドライブの中の「WinXP」フォルダを開き、**開(O)** をクリックします。

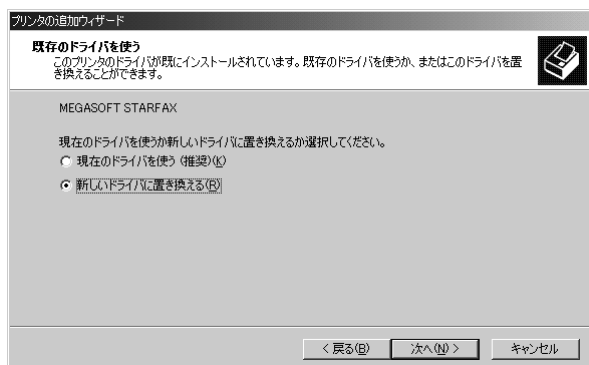


操作 「フロッピーディスクからのインストール」画面に戻したら **OK** をクリックします。



[MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認し、**次へ** をクリックします。

プリンタドライバがすでにパソコンにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。



[新しいドライバに置き換える] を選択し、**次へ** をクリックします。



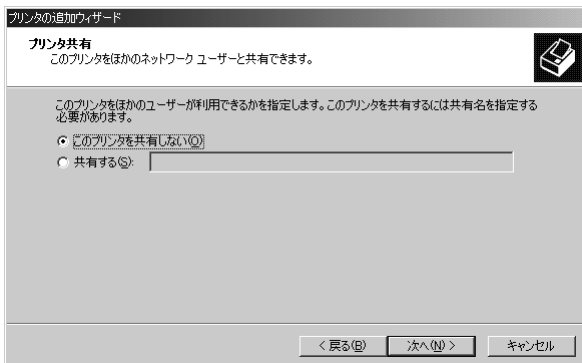
プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ(N) >** をクリックします。

ここで通常使用するプリンタとしてSTARFAXを登録できます。

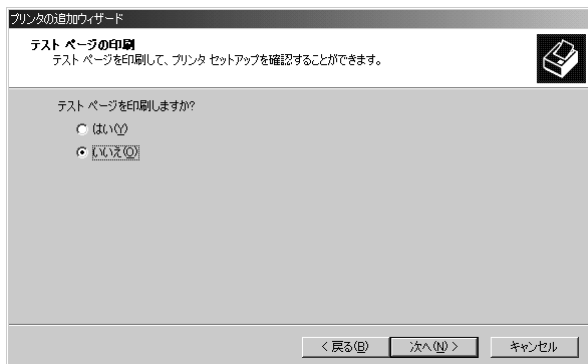
パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



通常は、[はい] を選択します。プリンタから印刷するよりも、FAX送信を行う頻度が多い場合は、[はい] を選択します。



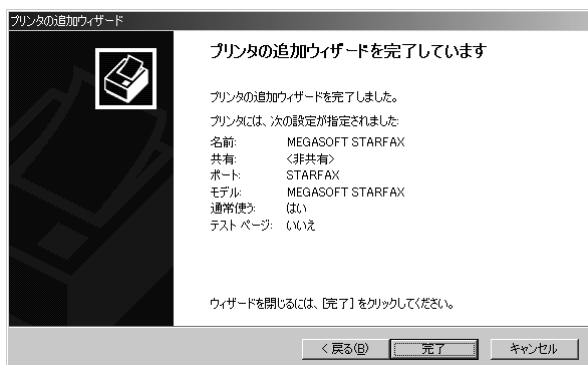
[このプリンタを共有しない] を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



テストページの印刷は行わないので [いいえ] を選択し、**次へ (N) >** をクリックします。



テストページの印刷を行うとエラーになることがあります。



完了 をクリックすると、プリンタドライバのコピーが開始されます。



[完了] をクリックすると [デジタル署名が見つかりませんでした] というダイアログが表示される場合があります。その場合は、[はい] をクリックしてください。

Windows 2000 の場合

● STARFAX プリンタドライバの登録の開始

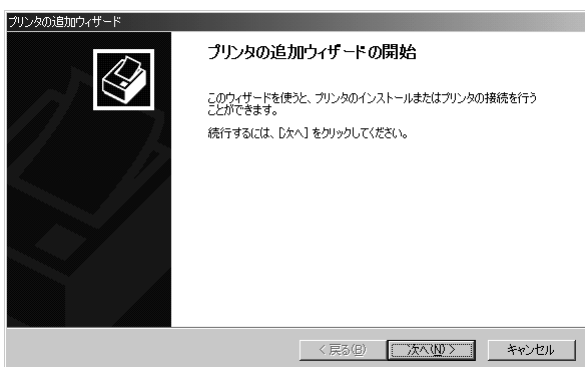
STARFAX2002のインストールCD-ROMをパソコンにセットしておきます。



「マイコンピュータ」－「コントロールパネル」－「プリンタ」を開きます。



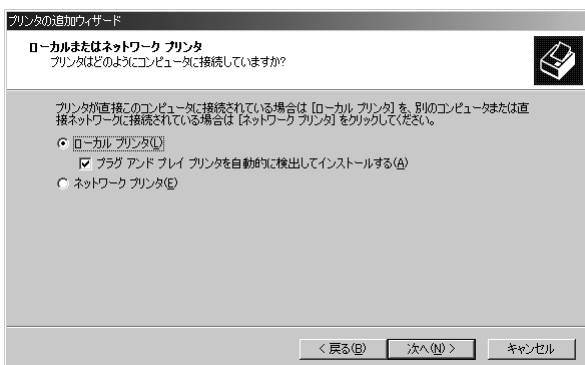
「プリンタの追加」をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。



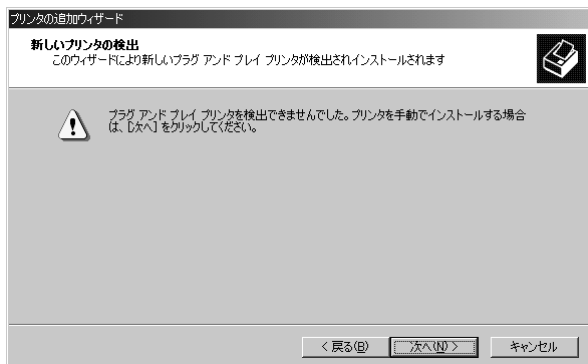
「次へ(N) >」をクリックします。



パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。



次へ(N) > をクリックします。

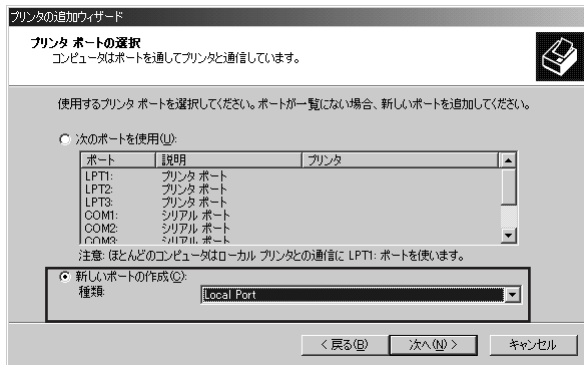


ポート一覧内に [STARFAX] があるか確認します。



すでにポート一覧に [STARFAX] ポートがある場合は、180ページをご覧ください。

一覧内に [STARFAX] がない場合は、新しく STARFAX 用ポートを作成し、出力先として指定します。



「新しいポートの作成」のラジオボタンを選択し、[種類]の中から [Local Port] を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



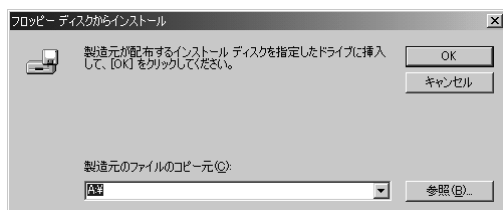
ポート名に [STARFAX] と入力し **OK** をクリックします。





操作

ディスク使用(H)... をクリックします。



操作

参照(B)... をクリックします。



STARFAX プリントドライバのあるドライブ、フォルダを指定します。



操作

CD-ROM ドライブの中の「Win2000」フォルダを開き、**開く(O)** をクリックします。



操作

「フロッピーディスクからのインストール」画面に戻したら **OK** をクリックします。



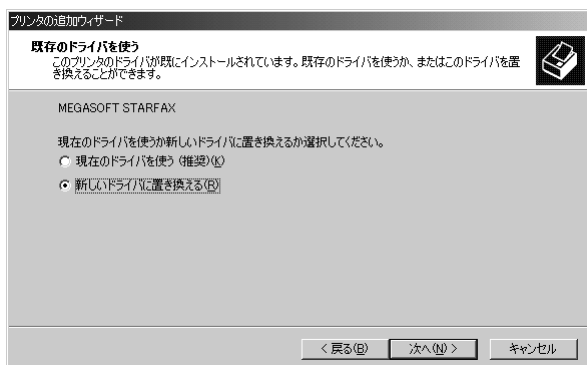
確認



操作

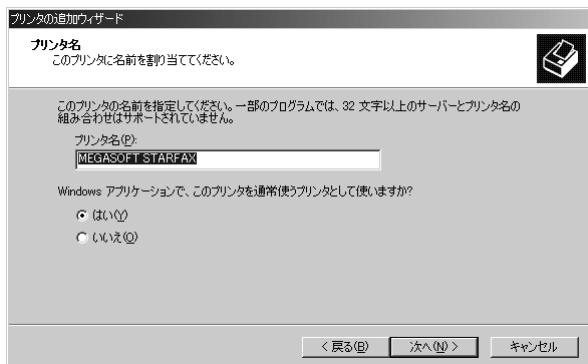
[MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認し、**次へ (N) >** をクリックします。

プリンタドライバがすでにパソコンにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。



操作

[新しいドライバに置き換える] を選択し、**次へ (N) >** をクリックします。



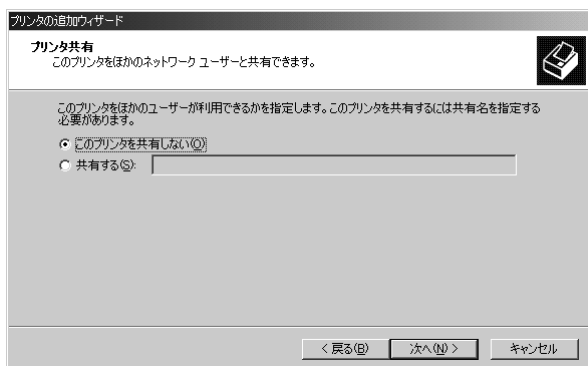
プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ(N) >** をクリックします。

ここで通常使用するプリンタとしてSTARFAXを登録できます。

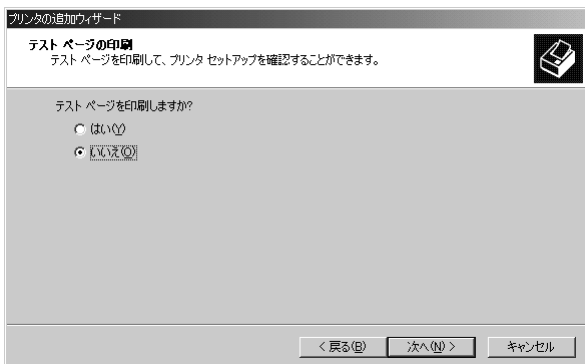
パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



通常は、[いいえ] を選択します。プリンタから印刷するよりも、FAX送信を行う頻度が多い場合は、[はい] を選択します。



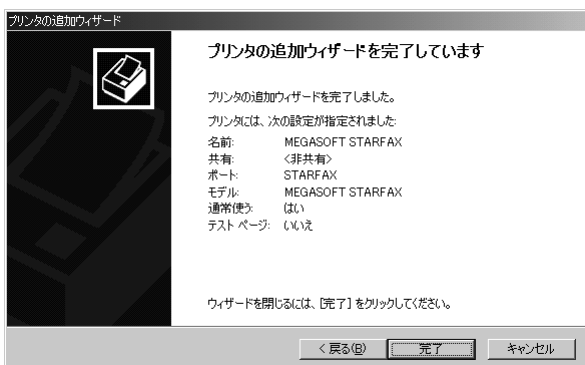
[このプリンタを共有しない] を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



テストページの印刷は行わないので「いいえ」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。



テストページの印刷を行うとエラーになることがあります。



「完了」をクリックすると、プリンタドライバのコピーが開始されます。



「完了」をクリックすると「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが表示される場合があります。その場合は、「はい」をクリックしてください。

Windows NTの場合

●STARFAXプリンタドライバの登録の開始

STARFAX2002のインストールCD-ROMをパソコンにセットしておきます。



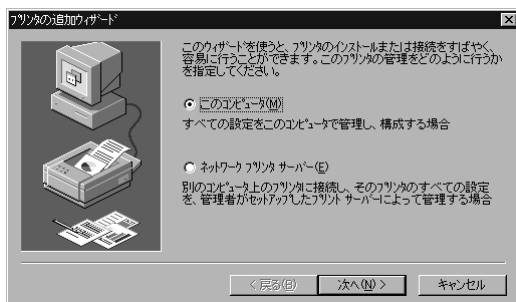
「マイコンピュータ」－「コントロールパネル」－「プリンタ」を開きます。



「プリンタの追加」をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。



パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



「このコンピュータ」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。



ポート一覧内に「STARFAX」があるか確認します。



すでにポート一覧に「STARFAX」ポートがある場合は、186ページをご覧ください。

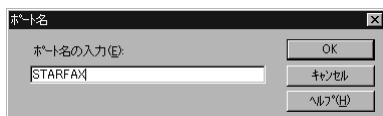
一覧内に [STARFAX] がない場合は、新しく STARFAX 用ポートを作り、出力先として指定します。



操作 **ポートの追加(A)...** をクリックします。



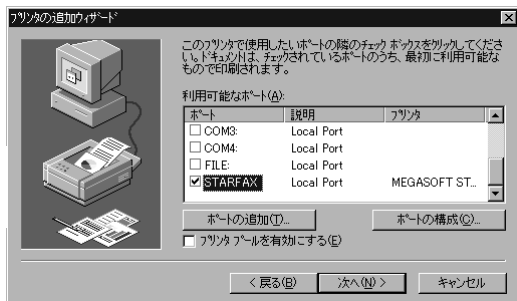
操作 [Local Port] を選択し、**新しいポート(P)...** をクリックします。



操作 ポート名に [STARFAX] と入力し、**OK** をクリックします。



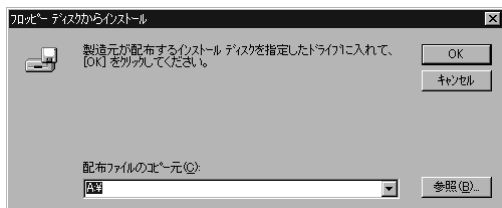
操作 **閉じる** をクリックします。



[STARFAX] ポートにチェックされていることを確認し、**次へ(N) >** をクリックします。



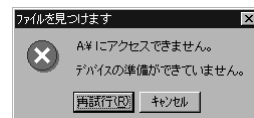
ディスク使用(D)... をクリックします。



参照(R)... をクリックします。



[参照...] をクリックしたとき、次のエラーが表示される場合がありますが、特に問題はありませんので、[キャンセル] をクリックしてください。



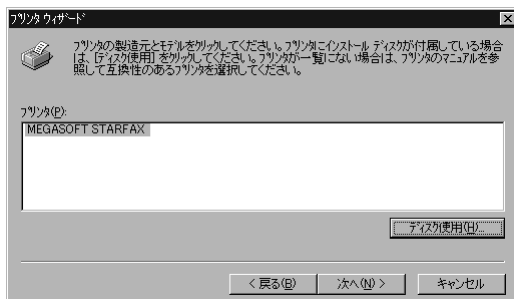


STARFAX プリントドライバのあるドライブ、フォルダを指定します。

CD-ROM ドライブの中の「WinNT」フォルダを選択し、**開く(O)** をクリックします。



「フロッピーディスクからのインストール」画面に戻したら **OK** をクリックします。



[MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認し、**次へ(N) >** をクリックします。

プリンタドライバがすでにパソコンにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。



「新しいドライバに置き換える」を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ(N) >** をクリックします。

ここで通常使用するプリンタとしてSTARFAXを登録できます。



パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



共有しない を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



テストページの印刷は行わないので **はい** を選択し、**完了** をクリックします。

完了 をクリックすると、プリンタドライバのコピーが開始されます。



通常は、**はい** を選択します。プリンタから印刷するよりも、FAX送信を行う頻度が多い場合は、**はい** を選択します。



テストページの印刷を行うとエラーになることがあります。

サポートセンターに問い合わせの多い質問

項目（エラーに関連のある項目を記載しています）

症状（実際に発生するエラーを記載しています）

サポートNo.

症状をご確認の上、対応するサポートNo.の項目をご覧ください。

FAX通信に関するトラブルシューティング

●FAX送信ができない場合

どこへかけても「相手ファクシミリからの応答がありません」、「話し中です」、「通信エラーが発生しました」になる場合。

1 2 3 4 5 6 8 9 11 12 17 19

特定の相手先のみ「相手ファクシミリからの応答がありません」、「話し中です」、「通信エラーが発生しました」になる場合。

1 5 6 7 9 11 12 15

電話番号の頭に不要な電話番号が付く。もしくは、重複する。

12

携帯電話、PHSから送信ができない。

1 2 4 5 6 8 11 16 18 19 20

ISDN環境で正しく動作しない。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 13 19

ADSL環境で正しく動作しない。

1 2 4 5 6 7 8 9 11 14 19

複数のサイズが混在した原稿、または、意図した通りのサイズで原稿が送信されない。

5 6 9 11 12

「FAXスタート」ボタンをクリックした直後、「インターネット機能が設定されていません」のメッセージが表示される。

24

特定の市内、市外へ送信できない。

1 4 5 6 7 9 11 15

インターネットFAXで自動送信されない。

36 37

カラー送信ができない。

41 42 43

●FAX受信ができない場合

携帯電話、PHSで受信ができない。

5 6 9 8 11 16 18 19 21 23

ISDN環境で正しく動作しない。

3 5 6 8 9 10 11 13 19 22 23

ADSL環境で正しく動作しない。

5 6 8 9 11 14 19 23

FAX情報サービスが利用できない。

1 2 3 4 5 6 8 9 10 11 19 25

STARFAXステーションに関するトラブルシューティング

●STARFAXステーションが起動できない場合

「モデムが見つかりません」のメッセージが表示される。	5 8 10 14 19 26 27 28
「STARFAX SSサーバーが応答しません」のメッセージが表示される。	29
「サポートされていないパソコンーモデム間の通信速度です」のメッセージが表示される。	30
「COMポートを使用できません」のメッセージが表示される	5 6 8 26 31

STARFAXマネージャに関するトラブルシューティング

電話帳がなくなった。	32 33 34
ログが開けない。	34
表示／編集が起動しない。	34

STARFAXビューアに関するトラブルシューティング

ビューアが起動しない。	34
-------------	----

FAXモデム共有機能に関するトラブルシューティング

「STARFAX SSサーバーが応答しません」のメッセージが表示される。	29
旧STARFAX製品とFAXモデム共有機能を使用できるか。	35

インターネットFAXに関するトラブルシューティング

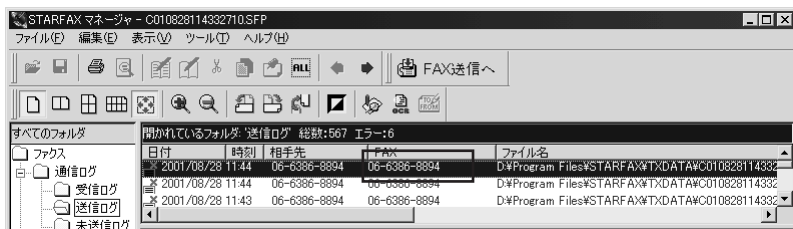
インターネットFAXで自動送信されない。	36 37
----------------------	-------

その他のトラブルシューティング

STARFAXメニューが登録できない。	38
受信した原稿の用紙サイズ通りプリントアウトできない。	39 40

サポートNo. 1

入力されたFAX番号に間違いがないことを確認してください。
「STARFAXマネージャ」－「送信ログ」の「FAX」項目で番号を確認してください。



サポートNo. 2

1. 「STARFAX環境設定」プログラムを起動します。
2. 「モデム設定」タブの「電話オプション」－「ダイヤル方法」で、[トーン]もしくは[パルス]が正しく設定されていることを確認します。
3. 「外線発信番号」に不要な番号が入力されていないか確認します。



ISDN回線を使用している場合は、「トーン」に設定します。



「外線発信番号」は、「0」発信など、外線発信番号が必要な回線を利用している場合に、入力する項目です。「0」発信などが不要な場合は空欄にしてください。



詳しくは本マニュアル16ページをご覧ください。

サポートNo. 3

ISDN回線を使用している場合、TA/ルータの「アナログポート」ごとに、「TEL用」、「TEL/FAX」用と個別の設定になっている場合があります。「TEL」用の設定ではFAXの送受信ができませんので、必ず「TEL/FAX」用の設定になっている「アナログポート」をご利用ください。TA/ルータの設定については各TA/ルータメーカーにお問い合わせください。

サポートNo. 4

1. 「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「送受信設定」タブを起動します。
2. 「送信設定」の「話し中を検出する」のチェックをはずします。
3. 「送信設定」の「発信音を検出する」のチェックをはずします。



サポートNo. 5

1. 「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「モデム設定」タブを起動します。
2. 「モデムの詳細設定」をクリックします。
3. 「フロー制御設定」の「ソフトフローにて初期化する」にチェックを入れます。
4. 「モデムイニシャルコマンド」から「+fclass=1」を選択します。



サポートNo. 6

1. 「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「モデム設定」タブを起動します。
2. 「モデムの詳細設定」をクリックします。
3. 「送信能力」、「受信能力」の「通信速度」を「9600」以下に設定します。
4. 「送信能力」、「受信能力」の「圧縮方式」を「MH」に設定します。
5. 「送信能力」、「受信能力」の「最小伝送時間」を「40」に設定します。
6. 「送信能力」の「エラー訂正機能を利用する (ECM)」のチェックをはずします。
7. 「特殊設定」を「TN」に設定します。



電話帳に登録している相手先の場合、「STARFAXマネージャ」－「電話帳」から「編集」メニューの「電話帳の編集」を起動させて、「高度な設定」をクリックすることで、「通信速度」、「圧縮方式」、「エラー訂正機能を利用する (ECM)」の設定を行うことができます。



携帯電話、PHSの場合は、「通信速度」を「4800」以下にしてみてください。

サポートNo. 7

送信先がファクシミリ専用機ではなく、留守番電話機能を持つFAX/電話兼用機の場合、FAX受信が開始される前の音声ガイダンスが流れている間にタイムアウトが発生する場合があります。本来、モデムの機種によって待ち時間の最大値が決まっていますが、相手先電話番号の後ろに「, (英語半角のカンマ)」を付けることで、相手の信号を待つことができます。カンマ1つにつき約2秒間の待ち時間を延長できます。通常5～10個つけると良いようですが、相手先によって数を調整してください。



電話帳の編集

会社名:	メガソフト株式会社		
所属名:	STARFAXサポートセンター		
役職名:			
氏名:	サポート担当者		
読み:	めがそふと	敬称:	宛
国番号:	日本 (81)	電話番号:	6386-2043
市外局番:	06	FAX番号:	6386-8894
市:	564-0053	通信経路:	
住所1:	大阪府吹田市江の木町1-38		
住所2:	西谷東急ビル		
備考:			
キーワード:			

短縮ダイヤル設定(S)... グループの設定(G)... 高度な設定(H)...

OK キャンセル



モデムの種類によっては、カンマによるポーズ機能が有効でないものもあります。ご利用のモデムメーカーにご確認ください。

サポートNo. 8

ご利用中のFAXモデム、通信ポートの再認識を行ってください。

A. 通信ポートとモデムの接続設定 (デバイスドライバ) を削除する

Windows「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」を選択します。



システムアイコンを
ダブルクリックします。

「デバイスマネージャ」タブをクリックします。



お持ちのモデム名を選択し、[削除] ボタンをクリックし、モデムの接続設定を削除します。



通信ポートをダブルクリックします。
認識されなかったポートは、削除してください。

B. 再度、通信ポートとモデムの接続設定 (デバイスドライバ) の組み込みを行う



「ハードウェア」アイコンをダブルクリックします。
「ハードウェアウィザード」ダイアログが表示されます。
画面の表示に従って [次へ] ボタンをクリックします。

処理が終了したら、モデムの自動認識を行います。



「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムウェアウィザード」ダイアログが表示されます。
画面の表示に従って、モデムの自動認識を行って
ください。

※これらの操作は、一般的なモデム/モデムポートの再認識
方法ですが、パソコンやモデムの仕様によっては、別途の
方法が必要なことがあります。

実施に不安がある場合、パソコン及びモデムメーカーへご
確認ください。

FAXモデムをSTARFAXに再設定する方法は本マニュアル
16ページをご覧ください。

サポートNo. 9

FAX送信を行っている時にFAXの信号にノイズが入っていると考えられます。電圧の高い電線などの傍にモジュラーケーブルを引いているとノイズが入りやすくなります。モジュラーケーブルを短くするか、モジュラーケーブルの引き方を変えてください。

ISDN回線でご利用の場合はTA/ルータとモデムとの間のモジュラーケーブルを長く引きすぎると、ノイズが入る場合があります。モジュラーケーブルを短くするか、モジュラーケーブルの引き方を変えてください。

詳しくはNTTもしくは、配線工事業者にお問い合わせください。

サポートNo. 10

TA/ルータなどでワイヤレスなどのTA/ルータがありますが、ワイヤレスなどをご利用の場合は、無線でデータを送っていますので、シビアなタイミングのやり取りを行っているFAX通信では、データの劣化やワイヤレスの通信による、タイミングのずれなどで、FAX送信が行えなくなる可能性があります。できるだけFAX通信ではワイヤレスを使用しないようにしてください。

サポートNo. 11

送出レベルを調整することで、より強い信号を送りますと、ノイズなどが入っている回線環境でも、より安定したFAX通信が行えるようになります。



送出レベルは法令上有資格者が変更することになっています。NTTやモデムメーカーなどに送出レベルを調整する方法をお問い合わせください。

サポートNo. 12

X2Compatible型モデムで、異なったサイズの下稿を混在させてFAX送受信すると、エラーになることがあります。これはモデムのスペック上の問題となりますので、STARFAXプログラムでは調整できません。

サポートNo. 13

STARFAXはFAXモデム専用のアプリケーションのため、直接TA/ルータは使用できません。モデムの「ラインポート」とTA/ルータの「アナログポート」をモジュラーケーブルで接続し、「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「モデム設定」タブでパソコンに接続されているFAXモデムを選択してください。

接続については本マニュアル4ページをご覧ください。

TA/ルータの設定については各TA/ルータメーカーにお問い合わせください。

サポートNo. 14

ADSL環境において、いくつかの通信機器でSTARFAX2002の動作確認が取れております。しかし、ADSL環境においてFAX通信が正常に実行できるかどうかは、STARFAX2002ではなく、ご利用になられるFAXモデムとADSL用通信機器の兼ね合いに依存しています。

※STARFAXでは、必ずアナログ電話回線用FAXモデムが必要です。

つまり、ADSL用通信機器の方で、通常のアナログ回線同様にFAX通信の品質を保証しているかどうかと、同品質においてFAXモデムが従来どうりの通信機能を発揮できるかどうか、及びその両者の機械的な接続ができるかどうかに依存しています。

上記のことは、STARFAX側では制御できません。

また、同環境上にある通信接続ソフトとの競合に関しましても、弊社では確認が取れません。従いまして、お客様の環境においてFAX通信が正常に実行できるかどうかは、ご利用になられるADSL通信機器のメーカー、及びFAXモデムのメーカーへお問い合わせください。

TA/ルータの設定については各TA/ルータメーカーにお問い合わせください。

ADSLモデム/スプリッタ/FAXモデムの設定については各ADSLモデム/スプリッタ/FAXモデムメーカーにお問い合わせください。

接続については本マニュアル3ページをご覧ください。

サポートNo. 15

「電話帳」を使用して送信する際に、「発信元」と「送信先」の市外局番が同じ番号である場合、プログラム側で自動的に「市外局番」をダイヤルせずに送信します。

この時、「送信先」が、「発信元」と「同じ市外局番」で「異なった都市」に存在する場合、NTTが局内で信号を転送する関係上「市外局番」がダイヤルされていないと送信できません。

従って、「同じ市外局番」の「異なった都市」へ「電話帳」を使用して送信する場合、「電話帳」への登録をする場合、「FAX番号：」欄の番号も市外局番から入力することで送信が可能です。

例) [市外局番：06] [FAX番号：06-6386-8894]

電話帳の編集

会社名: メガソフト株式会社

所属名: STARFAXサポートセンター

役職名:

氏名: サポート担当者

読み: めがそふと 敬称: 宛

国番号: 日本 (81) 電話番号: 6386-2043

市外局番: 06 FAX番号: 06-6386-8894

市: 664-0053 通信経路:

住所1: 大阪府吹田市江の木町1-38

住所2: 西谷東急ビル

備考:

キーワード:

短縮ダイヤル設定(S)... グループの設定(G)... 高度な設定(H)...

OK キャンセル

サポートNo. 16

CdmaOneの場合は、モデムの規格がClass2.0規格のモデムとなっておりますので、「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「モデム設定」タブの「モデムの詳細設定」－「クラス設定」で「Class2.0 機能を使用する」にチェックを入れてください。



「モデムイニシャルコマンド」で「+fclass=1」を選択している場合は、空欄にしてください。



サポートNo. 17

FAXはシビアな通信を行っていますので、FAX送信中にCPUを他のアプリケーションで多量に使用しますと、FAX送信の処理が著しく遅れ、通信のタイミングが合わなくなり、エラーを起こす場合があります。FAX送信中は必要のないアプリケーションをできるだけ終了し、ハードディスクへの書き込みや読み込みをできるだけ控えてください。定期的に、システムをチェックするようなアプリケーションや、ウイルスをチェックするアプリケーションが常駐していますと定期的にCPUを使用し、FAX通信の妨げになりますので、終了してください。

サポートNo. 18

携帯電話やPHSの場合は、有線ではありませんので、ノイズが混入しやすくなります。携帯電話やPHSでのFAX通信を行う際は、通信の妨害になるものが比較的少ない環境で、携帯用、もしくは、PHS用のアンテナの傍で通信を行う事をお勧めします。

サポートNo. 19

ご利用のモデムがFAX通信機能を搭載したFAXモデムであることをご確認ください。FAX機能を搭載しているかどうかは、モデムメーカーにご確認ください。

サポートNo. 20

NTT DoCoMoのPHSをご利用の場合はPTE経由で送信する必要があります。送信方法は以下の通りです。

1. 「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「モデム設定」タブの「ダイヤル方法」を「パルス」に設定します。



2. 送信の際の電話番号は次のように設定します。

[PTEの番号] * [FAX番号] #32

例：大阪のPTE（06－6467－2555）を使用して、メガソフトのFAX（06－6386－8894）へFAX送信する場合。

0664672555*0663868894#32

「#32」はFAX用PTE局が、PIAFSの32K通信でプロトコル変換を行うため、32Kで通信を行うようにするための命令です。NTT DoCoMoの32K通信機種の場合は「#32」が必要ありません。各地のPTE局の電話番号やPTEにつきましては、NTTにお問い合わせください。



PTEとは「プロトコル変換装置」の略で、デジタル信号をアナログモデム信号に変換したり、ISDN64K信号に同期させる装置です。PTEにつきましてはNTTにお問い合わせください。

サポートNo.21

PHSはFAXを受信させるためのサービスをしている交換局がないため、PHSでの受信は行えません。



携帯電話ではFAXを受信させるためのサービスをしている交換局があるので、携帯電話によるFAX受信ができます。

サポートNo.22

TA/ルータ側の設定でFAX信号をFAXモデムが接続されているアナログポートに振り分ける設定になっている必要があります。STARFAXステーションが起動していますと、STARFAXステーションはFAXモデムとの通信を定期的に行い、FAXモデムが信号を受信するのを待っている状態です。FAXモデムにFAX信号が入ってこなければ、STARFAXは受信することができません。TA/ルータの設定については各TA/ルータメーカーにお問い合わせください。

サポートNo.23

「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「送受信設定」タブの「受信設定」で「自動受信する」にチェックを入れてください。



「受信までのコール回数」が「0」回になっていると、自動受信ができません。

サポートNo. 24

「STARFAX環境設定」－「通信経路」の「通信経路の設定」で「インターネットFAXを使用する」設定になっていないにも関わらず、インターネットFAX送信を行っている状態です。インターネットFAX送信をする場合は、インターネットFAXの設定をしてください。

インターネットFAXの設定に関しては本マニュアル130ページをご覧ください。インターネットFAX送信をしない場合、インターネットFAXの設定をはずしてください。インターネットFAXの設定をはずしているにも関わらず、現象が発生する場合は、「電話帳」の「通信経路」を確認してください。

不要な文字が入力されていたり、「インターネット」が選択されていると、インターネットFAX送信を行おうとします。

インターネットFAX送信を行わない場合は、空欄にしてください。



メールアドレスなどを登録しておきたい場合は「備考」欄などに記入してください。

サポートNo. 25

FAX情報サービスから聞こえる音声はモデムのスピーカを使用しています。モデムによっては、音声をはっきり聞き取れないものや、スピーカがなく、音声を聞けないものがあります。ご利用のモデムが音声を正しく聞き取れるものか確認し、FAX情報サービスのアナウンスの指示に従って操作を行ってください。

FAXモデムについては各FAXモデムメーカーにお問い合わせください。

FAX情報サービスの利用方法は、本マニュアル60ページをご覧ください。

サポートNo.26

パソコンが赤外線ポートを持っている機種の場合で、赤外線ポートの設定が「無効」状態になっている場合、赤外線ポートを「有効」にしてください。逆に現在の設定が「有効」状態になっている場合、「無効」状態にしてください。詳しくはパソコンメーカーにご確認ください。

サポートNo.27

「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「モデム設定」タブの「モデム/ポートの選択」でモデムが接続されているポートを直接選択してください。



サポートNo. 28

Class 1 と 2 の両機能を備えているモデムにおいて、ごくまれに「Class 2 機能」の設定をしなければ、作動できない場合があります。

「STARFAX環境設定」－「ローカルモデム設定」－「モデム設定」タブの「モデムの詳細設定」－「クラス設定」で「Class 2 機能を使用する」にチェックを入れてください。



「モデムイニシャルコマンド」で「+fclass=1」を選択している場合は、空欄にしてください。



サポートNo.29

1. FAXモデム共有機能を使用する際は、「STARFAXサーバーマネージャ」が必ず起動している必要があります。

Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAXサーバーマネージャ] を選択します。



2. サーバー機側では「サーバー用KEYID」および、接続されている「クライアント用KEYID」の両方が登録されている必要があります。

登録は、Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] - [STARFAX TOOLS] - [ライセンス登録] を選択します。すでに登録されていてエラーになる場合は一度削除して再登録してください。



3. FAXモデム共有機能にて使用する「共有フォルダ」の設定は必ず、「フルアクセス」になっている必要があります。

※「共有フォルダ」の「フルアクセス」設定はWindowsの機能です。

4. 現在、使用していないパソコンがクライアントとして登録されている場合は、「STARFAXサーバーマネージャ」から使用していないパソコンの履歴を削除してください。

削除の方法は以下の通りとなります。

サーバー機からWindows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX2002] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAXサーバーマネージャ] を選択します。

「通信ログ」が「送信リスト」になっていることを確認し、下のログから現在クライアントとして使用していないパソコン名をクリックして、[編集] - [削除] を選択してください。

この操作を繰り返し、現在、クライアントとして使用していないパソコン名を全て削除してください。

5. sfwsebl.exeの実施。(WindowsNT環境でご使用中の場合のみ)

サーバー機でWindowsNTを使用中の場合、「sfwsebl.exe」コマンドを実行してください。

通常はC:\Program Files\MEGASOFT\STARFAX2002の中にあります。

※クライアント側では実行の必要はありません。

なお、このコマンドを実行する際は、STARFAXのプログラムを終了してから行ってください。

また、再起動はサーバー機、クライアント機の順番に行います。



6. sfwsc.exeの実施。(Windows2000環境でご使用中の場合のみ)

Window2000にSTARFAX2002を導入している全てのパソコンに対し、sfwsc.exeを実行してください。(サーバー機、クライアント機ともに実行します。)

前提としてSTARFAX2002のインストールがadministratorで実施されているものとします。administrator権限でログインし、STARFAXがインストールされているフォルダ内の [sfwsc.exe] を実行してください。

通常はC:\Program Files\MEGASOFT\STARFAX2002の中にあります。



※なお、LAN上でモデムを共有する「FAXモデム共有機能」を利用する必要がある場合は「STARFAX環境設定」－「通信経路設定」から「FAXモデム共有を使用する」のチェックをはずせば、エラーメッセージは表示されなくなります。

詳しくは本マニュアル151ページをご覧ください。

サポートNo. 30

Windows2000（及びWindowsNT/XP）をOSとして使用されている場合、「ボーレートの設定」を行う必要があります。

これは、Windows2000で「STARFAX」という名前のLocalPortを追加設定する作業です。この設定作業をしていないと、「サポートされていないパソコンーモデム間の通信速度です」のエラーが発生します。

設定方法はSTARFAX2002ユーザーマニュアルの「プリンタドライバ [MEGA-SOFT STARFAX] 再登録方法」をご覧ください。

各OSの記載箇所は、本マニュアルの159ページでご確認ください。

サポートNo. 31

通信ポートを使用する他のアプリケーションが起動している場合、STARFAXは通信ポートを使用できませんので、通信ポートを使用するアプリケーションを終了してください。逆にSTARFAXステーションが起動している場合、通信ポートを使用する他のアプリケーションは使用できなくなります。タスクトレイに常駐している場合も通信ポートを使用していますので、ご確認ください。



ウィルスをチェックするアプリケーションの中には通信ポートを使用するアプリケーションもありますので、ウィルスをチェックするアプリケーションが起動している場合も終了してください。

サポートNo. 32

電話帳作成時に保存を行っていない。電話帳を作成しましたら、必ず保存を行ってください。電話帳ファイルに保存を行っていない場合、「STARFAXマネージャ」を終了する際に、保存を促すメッセージが表示されますので、必ず保存を行ってください。

サポートNo. 33

「新規作成」などを行ったなどの理由で、新規の画面になったものと思われます。「STARFAXマネージャ」の「ファイル」メニューより、「開く」で、作成された電話帳を開きなおしてください。

サポートNo. 34

解決策として、ビデオカードのドライバのアップデートが必要です。

この現象は、以下のようなプログラムの流れで発生します

STARFAXからビデオカードのドライバに画像表示の要求を出した後、ドライバからWindowsに画像の描画を要求します。

しかし、Windowsが、画像表示に必要なメモリ（通常リソースエリアのメモリ）をビデオカードのドライバの描画用に確保することができない場合、エラーを返します。そのエラーをビデオカードのドライバはSTARFAXにそのまま返すため、このような現象が出ます。

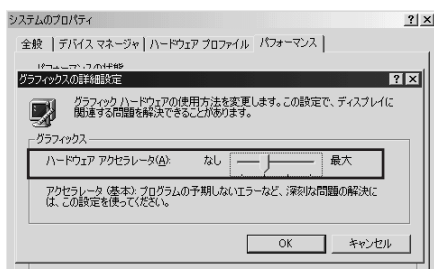
以前から同様の問題がありましたが、その時点での最新ドライバでは正常化せず、その後提供された最新版を適応して改善されることもあり、必ずしも現時点で提供されている最新版ドライバで改善されるとは限りません。

最新版ドライバに関しましては、パソコンメーカー、及び、ビデオカードメーカーへお問い合わせください。

現時点で提供されている最新版ドライバで改善されない場合、一時的な回避策として、Windowsのハードウェアの「アクセラレータ」設定を低いレベルに調整することで回避できることもあります。

下記2項目の設定調整を行ってください。

1. 「コントロールパネル」－「システム」－「パフォーマンス」－「グラフィックスの詳細設定」の「ハードウェアアクセラレータ」の利用度を「最大」ではなく、「なし」の一つ上ぐらいに調整します。



2. 画面解像度またはカラーモードを落とします。

ただし、この方法は、根本的な原因であるビデオカードのドライバ側での改善がなされてはいませんので、あくまで回避策にすぎません。

最終的にはビデオカードのドライバ側での改善が必要となります。

また、辞書ソフトをインストールした環境でも、同様の現象が発生する場合があります。ご利用の辞書ソフトの最新バージョンがございましたら、最新版をインストールすることで、現象が改善される場合があります。

サポートNo. 35

旧STARFAX製品をサーバーにし、STARFAX2002をクライアントにすることはできますが、STARFAX2002から、カラーFAX送信を行おうとすると、旧STARFAX製品はカラー対応しておりませんので、エラーとなります。旧STARFAX製品をサーバーにし、STARFAX2002をクライアントにする場合は、カラー送信を行わないようにしてください。また、STARFAX2002はSTARFAX99 Enterpriseの後継製品ではありませんので、STARFAX99 Enterpriseのゲートウェイ機能はありません。

サポートNo. 36

「インターネットFAX設定」の「メール送受信動作」が「手動」になっている場合は「自動」にしてください。

詳しくは本マニュアル143ページをご覧ください。

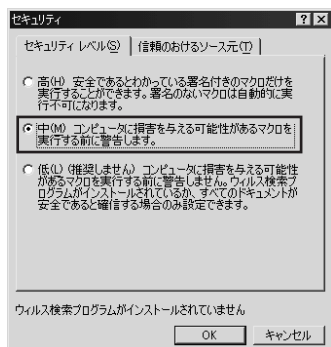
サポートNo. 37

Outlook2002やOutlook2000にSR-1のセキュリティアップデートを施したものがSTARFAXのようなプログラムからメール機能呼び出されたとき、セキュリティのため、警告メッセージが表示され、処理が一旦中断されます。そのため、インターネットFAXを完全に自動処理することはできません。

詳しくは本マニュアル132ページをご覧ください。

サポートNo. 38

Wordを立ち上げ、Wordのメニューでマクロのセキュリティ レベルを「中」に設定してください。次回、Wordメニューを起動した時に、マクロを有効にするかどうか、ダイアログが表示されますので、有効にしてください。



詳しくは本マニュアル84ページをご覧ください。

サポートNo. 39

「画像表示」の設定がA4では無い設定になっています。

「STARFAX環境設定」－「共通設定」－「画像表示」タブをクリックしてください。「画像表示」タブを開きましたら、「設定するモジュール」を「送信原稿表示」にあわせて、「基準の用紙サイズ」でA4をクリックしてください。次に「設定するモジュール」を「送付状表示」にあわせて、「基準の用紙サイズ」でA4をクリックしてください。同じく、「設定するモジュール」を「通信ログの画像表示」にあわせて、「基準の用紙サイズ」でA4をクリックしてください。設定が終わりましたら、「適用」－「OK」をクリックしてください。



A4になっている場合はB4やA3など別のサイズを一度選択してから、A4をクリックし直してください。

サポートNo. 40

受信した原稿を「STARFAXビューア」で起動し、「STARFAXビューア」の「ファイル」メニューより、印刷を行ってください。「STARFAXビューア」から印刷を行っても、縮小される場合は、「STARFAXビューア」の「ファイル」メニューより、「印刷プレビュー」を起動し、「拡大」、「縮小」を何度か、クリックして、「印刷」を開始してください。

サポートNo. 41

携帯電話やPHSでのカラー送信は対応していません。

サポートNo. 42

相手ファクシミリ機がカラー対応ファクシミリでない可能性があります。
相手ファクシミリ機がカラー対応ファクシミリであるか確認してください。

サポートNo. 43

FAXモデム共有機能でサーバーがSTARFAX2002でない可能性があります。
STARFAX2000以前のSTARFAXシリーズはカラー原稿を扱うことができませんので、STARFAX2002でカラー原稿を作成しても、サーバーがSTARFAX2002でなければ、カラー原稿を送信することはできません。
FAXモデム共有機能でカラー送信する場合は、原稿を作成するクライアントだけでなく、サーバー機もSTARFAX2002をインストールしてください。

メッセージリスト

STARFAXステーションや送信ログ、受信ログに表示される主なメッセージのリストです。

番号	メッセージ
	正常に通信が終了しました
	ダイヤルします
18	電話番号が異常です
19	登録されている発信元電話番号が異常です
48	相手機がファインモードを持っていません
126	通信処理中に例外エラー（126）が発生しました
127	処理を中断しました。次の操作を受け付け可能です
128	通信処理中に例外エラー（128）が発生しました
134	発信音を検出できません
136	ダイヤル前に呼出音を検出しました
161	アプリケーションからの要求または応答がありません
177	DIS又はDTC受信できませんでした
178	TCF送出後の応答がありません
179	TCF送出後無効な応答を受信しました
180	相手機がTCFを受け付けません
181	メッセージ送出後の応答がありません
182	メッセージ送出後無効な応答を受信した
183	電話接続後の継続ができなかった
184	T1がタイムアップしました
185	T2がタイムアップしました
186	無効な命令を受信した
187	通信処理を通信中断要求により中断した
188	相手機がオペレータの介在を要求してきた
189	度重なるエラーにより送信を諦めました
190	度重なるエラーで相手機が送信を諦めました
193	データ信号速度が違います（当方V.29 相手V.27）
194	データ信号速度が違います（当方V.27 相手V.29）
195	相手機が受信指定されていない
196	相手機が送信指定されていない
197	バイナリデータ転送の機能が相手機にありません
198	相手機はV.29のみ使用可能です
199	メッセージの送信でデータ転送が間に合いませんでした

番号	メッセージ
200	メッセージの受信でデータ転送が間に合いませんでした
201	メッセージの受信の1走査線当りのデータが確定しませんでした
202	メッセージの受信でメッセージキャリアが消滅しました
203	メッセージデータの受信を開始できませんでした
209	応答信号受信中にフレームの受信ができず信号キャリアが消えません
210	応答信号受信中にデータエラーがあり信号キャリアが消えません
211	応答信号受信中にDCN信号を受信した
212	命令信号受信中にフレームの受信ができず信号キャリアが消えません
213	命令信号受信中にデータエラーがあり信号キャリアが消えません
214	命令信号受信中にDCN信号を受信しました
215	TCF送信中に送信抜けエラーがありました
216	TCF受信中に受信抜けエラーがありました
217	TCF受信で受信データにエラーが多い
218	不要な受信キャリアがあり信号を送出できません
219	CTC送出後の応答がありません
220	CTC送出後無効な応答を受信しました
221	RR送出後の応答がありません
222	RR送出後無効な応答を受信しました
223	T5がタイムアップしました
224	EOR送出後の応答がない
225	EOR送出後無効な応答を受信した
226	RNR送出後無効な応答を受信した
248	相手ファクシミリからの応答がありません
249	TCF送出後FTTばかり受信しました
252	ダイヤルできませんでした
253	モデムとの通信ができません
254	相手先が電話に出ません

番号	メッセージ
255	話し中です
	通信エラーが発生しました。エラーコード×××
	COMポートを使用できません
	サポートされていないパソコン-モデム 間の通信速度です
	モデムが見つかりません
	CLASS1 FAXモデムが接続されていません
	CLASS2 FAXモデムが接続されていません
	このPCでは使用できないモデムです
	モデムの反応がありません
	モデムに無効なコマンドを使用しました
	FAX端子がありません
	無効なドライブ名が指定されました
	送信する原稿ファイルが見つかりません
	指定されたフォルダが見つかりません
	ファイルを作成できません
	ファイルを開けません
	ドライブの準備が出来ていません
	ディスクの空き容量が足りません
	ファイルを読み込めません
	ファイルを書き込めません
	ファイルにデータがありません
	ディスクが書き込み禁止です
	サポートできないファイル形式です
	FAXファイルではありません
	TIFFファイルではありません
	TIFFファイルのタグ読み込みに失敗しました
	サポートできない形式のTIFFファイルです
	バージョンの古い共通ライブラリ (SFWDRV32.DLL) が存在します
	共通ライブラリ (SFWDRV32.DLL) でエラーが発生しました
	タイマー不足で処理が続行できません
	メモリ不足で処理が続行できません

[illegible]

[illegible]

STARFAX2002体験版ユーザーズマニュアル

発行日：2001年11月 初版

発行者：メガソフト株式会社

〒564-0053

大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

MEGASOFT®